

令和7年度
本校スクーリングの
しおり・授業概要

Himeji University

目 次

はじめに	1
I. スクーリングとは	1
II. 開講科目	2
1. スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧	2
◆令和5年度以降入学生用／令和4年度1年次入学生・科目等履修生用	3
◆令和元・2・3年度入学生用／令和4年度3年次編入学生用	4
◆平成30年度入学生用／平成28・29年度1年次入学生・科目等履修生用	5
◆図書館司書・司書教諭	6
III. 開講日程	7
1. スクーリング実施時期	7
2. 授業時間帯	7
3. スクーリング時間割	8
令和7年度 本校1期	8
令和7年度 本校2期	10
令和7年度 本校3～6期	12
IV. 受講申請の方法	15
① 申請方法 学修サポートサイト（UniVision）による申請	16
1. 受講申請の流れ	16
2. 学修サポートサイト（UniVision）による申請受付期間について	17
② 申請方法 OCR提出による申請	20
1. 受講申請の流れ	20
2. OCR提出による受講申請の受付期間	21

3. OCR提出による受講申請時の提出書類	21
①受講料納入届	21
〔受講料納入届の記入方法〕	22
②スクーリング受講申請票	24
〔スクーリング受講申請票の記入方法〕	25
③ その他提出書類について 学修サポートサイト(UniVision)による申請、OCR提出による申請共通(該当者のみ提出)	27
①健康調査書	27
②上司宛スクーリング依頼状(礼状)送付願	27
③各種申込書	28
a) 諸経費納入整理票(3連綴り)	28
b) 旅客運賃割引証交付願(正科生のみ)	28
c) 実習用通学証明書(正科生のみ)	28
V. スクーリングについて	29
1. 受講方法	29
〔正科生に関する留意事項〕	29
〔教員免許取得希望者に関する留意事項〕	29
2. 卒業との関連について	29
3. 受講準備	30
4. 受講にあたっての注意事項	30
5. 単位認定試験について	30
6. 授業時間について	31
7. 気象警報による休講措置について	31
8. 交通費および宿泊費について	32
9. 授業中の心得について	32
10. 結果通知について	32
11. 購入本の準備について	33
12. 欠席届の提出について	34
〔欠席届の提出方法〕	34
13. 「遠隔(オンライン)」スクーリング受講について	36

VI. 持参品について	39
VII. 学内生活に関する事項	40
1. 校舎内の出入りについて	40
2. スクーリング中の通学方法について	40
3. 学生証の携帯について	40
4. 図書館の利用について	40
5. 掲示板	41
6. ピアノの使用について	41
7. 健康管理室について	41
8. 体育館について	41
9. 貴重品の取扱いについて	41
10. 食堂・売店について	42
11. 本校スクーリング中の窓口業務の取扱いについて	42
12. 学内での喫煙について	42
13. 健康管理上の注意事項について	42
VIII. 教育(養護)実習事前・事後指導スクーリングについて	43
1. 履修方法	43
2. 教育(養護)実習事前・事後指導スクーリングの流れ	44
3. 「教育(養護)実習事前・事後指導」(事後指導スクーリング) 開講日程および受講申請受付期間(OCR提出による申請)	44
IX. 教職実践演習のスクーリング開講日程および申請について	45
1. 「教職実践演習」について	45
2. 「教職実践演習」の履修の流れについて	45
3. 「教職実践演習」スクーリング開講日程 および受講申請受付期間(OCR提出による申請)	46
4. 実習との関連について	46
5. 修了・卒業との関連について	46

X. 「音楽表現(ピアノ)／保育の表現技術(ピアノ)／こどもと音楽表現 I (ピアノ)」	
スクーリング日程及び申請について	47
1. 「音楽表現(ピアノ)／保育の表現技術(ピアノ)／こどもと音楽表現 I (ピアノ)」	
履修の流れについて	47
2. 「音楽表現 (ピアノ) ／保育の表現技術 (ピアノ)」	
スクーリング開講日程および受講申請受付期間	48
3. 「音楽表現(ピアノ)／保育の表現技術(ピアノ)／こどもと音楽表現 I (ピアノ)」の受講申請方法(OCRによる受講申請)	49
4. 「音楽表現(ピアノ)／保育の表現技術(ピアノ)／こどもと音楽表現 I (ピアノ)」の実技試験について	50
令和7年度授業概要について.....	52
XI. 各種手続き用紙について.....	131

はじめに

この冊子は、令和7年度に開講する本校スクーリングについて説明したものです。よく理解して間違いや勘違いのないように、実り多いスクーリングとなるよう心がけてください。

なお、スクーリングの申請は、手続期間を厳守していただきます。期間前、期間後の申請は、理由の如何にかかわらず「期間外の申請」となり受付しませんので、あらかじめご了承ください。

また、この「スクーリングのしおり」で理解できない点や問題点が生じた場合は、通信教育事務課へお尋ねください。

I. スクーリングとは

通信教育は、自宅においてテキストで学習をする通信授業と姫路大学に通学して本学の指定する教員による授業を受講する面接授業の「スクーリング」があります。

スクーリングは、1単位7.5コマ（1.5日）と2単位15コマ（3日）の2つの形式で実施されます。（こどもと音楽表現Ⅰ（ピアノ）／保育の表現技術（ピアノ）／音楽表現（ピアノ）は第1段階、第2段階の2回に分けて開催されます。）

本学では夏期（8月～9月）と春期（2月～3月）を中心に「集中講義」方式で時間割を編成しています。

スクーリングは、教職員ならびに学生相互の交流を通して人格の形成を図るという意図が含まれていますので、単に自宅（宿舎）と大学の往復に終始するのみではなく、授業以外の時間も大いに活用して、自己の研鑽に努める等、実りの多い学園生活を送るよう努力してください。

Ⅱ．開 講 科 目

1. スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧

令和7年度に開講するスクーリング科目は、入学年度によるカリキュラムの違いから、科目名や受講可能な科目が異なります。そのため、「スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧」は入学年度別に記載しておりますので、下記の表を参考に、各自受講可能な科目を確認してください。

《スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧参照ページ一覧》

入 学 年 度	ページ一覧
令和5年度以降入学生 令和4年度入学生（1年次入学生・科目等履修生）	p. 3
令和元・2・3年度入学生 令和4年度入学生（3年次編入学生）	p. 4
平成30年度入学生 平成28・29年度入学生（1年次入学生・科目等履修生）	p. 5
図書館司書・司書教諭	p. 6

注 意

※「スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧」に記載のない科目は、受講することができません。

◆スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧

【令和5年度以降入学学生用／令和4年度1年次入学生・科目等履修生用】

	科目コード	スクーリング科目	日数	コマ数	履修方法 (印刷R,直接S)	スクーリング 受講料(円)	備 考
一 年 次 科 目	10010	情報処理技術Ⅰ(基礎)	1.5	7.5	S	7,000	
	10020	スポーツ(実技)	3.0	15.0	S	8,000	
	24096	音楽表現(ピアノ)第1段階	1.0	5.0	S	6,000	
	24096	音楽表現(ピアノ)第2段階	1.0	5.0	S	6,000	
	24097	音楽表現(声楽)	1.5	7.5	S	7,000	
	24098	言語表現	1.5	7.5	S	7,000	
	24100	造形表現	1.5	7.5	S	7,000	
	24101	身体表現	1.5	7.5	S	7,000	
	34008	音楽	1.5	7.5	R・S	7,000	
	34089	図画工作	1.5	7.5	R・S	7,000	
	34094	体育	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	30111	こどもと表現Ⅰ	1.5	7.5	S	7,000	
	30112	こどもと表現Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000	
	30113	こどもと表現Ⅲ	1.5	7.5	S	7,000	
	50022	看護学Ⅰ	1.5	7.5	R・S	7,000	
	40053	こどもの理解と援助	1.5	7.5	S	7,000	
	40058	乳児保育Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000	
40060	社会的養護Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000		
二 年 次 科 目	10025	芸術論	1.5	7.5	R・S	7,000	
	10035	外国語総合Ⅰ	1.5	7.5	S	7,000	
	10036	外国語総合Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000	
	20046	教育心理学	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20090	特別支援演習	1.5	7.5	S	7,000	
	30091	保育内容(環境Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30092	保育内容(健康Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30093	保育内容(人間関係Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000	
	31095	保育内容(言葉)	1.5	7.5	S	7,000	※③
	30099	保育内容(表現)	1.5	7.5	S	7,000	
	30096	保育内容(環境Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30097	保育内容(健康Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30098	保育内容(人間関係Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000	
	20085	教育実習事前・事後指導(幼稚園)事前指導	1.5	7.5	S	7,000	※②
	20085	教育実習事前・事後指導(幼稚園)事後指導	1.0	2.0	S	0	※②
	50018	養護概説	1.5	7.5	R・S	7,000	
	50023	看護学Ⅱ	1.5	7.5	R・S	7,000	
	40033	こどもの食と栄養	1.5	7.5	R・S	7,000	
	40059	こどもの健康と安全	1.5	7.5	S	7,000	
	40041	保育実習論Ⅰ ※①	3.0	15.0	S	14,000	事後レポート有
40042	保育実習論Ⅱ ※①	1.5	7.5	S	7,000	事後レポート有	
40043	保育実習論Ⅲ ※①	1.5	7.5	S	7,000	事後レポート有	
三 年 次 科 目	14018	英語コミュニケーションⅡ	1.5	7.5	S	7,000	※③
	20094	国語科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	20020	社会科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	20021	算数科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	20022	理科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20023	生活科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	20024	家庭科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③
	20025	音楽科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20026	図工科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20027	体育科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20095	外国語(英語)指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20086	教育実習事前・事後指導(小学校)事前指導	1.5	7.5	S	7,000	※②
	20086	教育実習事前・事後指導(小学校)事後指導	1.0	2.0	S	0	※②
	50020	養護実習事前・事後指導(事前指導)	1.5	7.5	S	7,000	※②
	50020	養護実習事前・事後指導(事後指導)	1.0	2.0	S	0	※②
	30088	書写	1.5	7.5	S	7,000	
	54024	看護演習	1.5	7.5	S	7,000	
	40061	子育て支援	1.5	7.5	S	7,000	
	四 年 次 科 目	10011	情報処理技術Ⅱ(応用)	1.5	7.5	S	7,000
20093		教職実践演習	1.5	7.5	R・S	7,000	
20045		教職実践演習(養護)	1.5	7.5	R・S	7,000	

※①…1年次入学生対象科目

※②…事前および事後のレポート提出有。事前指導は受講料7,000円、事後指導は受講料0円です。

※③…入学年度によって履修方法が異なります。必ず入学年度を確認してください。

◆スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧

【令和元・2・3年度入学生用／令和4年度3年次編入学生用】

	科目コード	スクーリング科目	日数	コマ数	履修方法 (印刷R, 面接S)	スクーリング 受講料(円)	備 考	
一 年 次 科 目	10010	情報処理技術Ⅰ(基礎)	1.5	7.5	S	7,000		
	10020	スポーツ(実技)	3.0	15.0	S	8,000		
	20096	保育の表現技術(ピアノ)第1段階	1.0	5.0	S	6,000		
	20096	保育の表現技術(ピアノ)第2段階	1.0	5.0	S	6,000		
	20097	保育の表現技術(声楽)	1.5	7.5	S	7,000		
	20098	保育の表現技術(言語)	1.5	7.5	S	7,000		
	20100	保育の表現技術(造形)	1.5	7.5	S	7,000		
	20101	保育の表現技術(身体)	1.5	7.5	S	7,000		
	30105	音楽Ⅱ(ピアノ)	1.5	7.5	S	7,000		
	30106	音楽Ⅲ(声楽)	1.5	7.5	S	7,000		
	30107	音楽Ⅳ(器楽)	1.5	7.5	S	7,000		
	30090	図画工作Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000		
	34094	体育	1.5	7.5	R・S	7,000	※③	
	50022	看護学Ⅰ	1.5	7.5	R・S	7,000		
	40053	こどもの理解と援助	1.5	7.5	S	7,000		
	40058	乳児保育Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000		
	40060	社会的養護Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000		
	二 年 次 科 目	10025	芸術論	1.5	7.5	R・S	7,000	
		10035	外国語総合Ⅰ	1.5	7.5	S	7,000	
		10036	外国語総合Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000	
20046		教育心理学	1.5	7.5	R・S	7,000		
20090		特別支援演習	1.5	7.5	S	7,000		
30091		保育内容(環境Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000		
30092		保育内容(健康Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000		
30093		保育内容(人間関係Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000		
31095		保育内容(言葉)	1.5	7.5	S	7,000	※③	
30099		保育内容(表現)	1.5	7.5	S	7,000		
30096		保育内容(環境Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000		
30097		保育内容(健康Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000		
30098		保育内容(人間関係Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000		
20099		保育の表現技術(合奏)	1.5	7.5	S	7,000		
20085		教育実習事前・事後指導(幼稚園)事前指導	1.5	7.5	S	7,000	※②	
20085		教育実習事前・事後指導(幼稚園)事後指導	1.0	2.0	S	0	※②	
50018		養護概説	1.5	7.5	R・S	7,000		
50023		看護学Ⅱ	1.5	7.5	R・S	7,000		
40033		こどもの食と栄養	1.5	7.5	R・S	7,000		
40056		保育総合演習	1.5	7.5	S	7,000		
40059	こどもの健康と安全	1.5	7.5	S	7,000			
40041	保育実習論Ⅰ ※①	3.0	15.0	S	14,000	事後レポート有		
40042	保育実習論Ⅱ ※①	1.5	7.5	S	7,000	事後レポート有		
40043	保育実習論Ⅲ ※①	1.5	7.5	S	7,000	事後レポート有		
三 年 次 科 目	14018	英語コミュニケーションⅡ	1.5	7.5	S	7,000	※③	
	20094	国語科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③	
	20020	社会科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③	
	20021	算数科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③	
	20022	理科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000		
	20023	生活科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③	
	20024	家庭科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	※③	
	20025	音楽科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000		
	20026	図工科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000		
	20027	体育科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000		
	20095	外国語(英語)指導法	1.5	7.5	R・S	7,000		
	20086	教育実習事前・事後指導(小学校)事前指導	1.5	7.5	S	7,000	※②	
	20086	教育実習事前・事後指導(小学校)事後指導	1.0	2.0	S	0	※②	
	50020	養護実習事前・事後指導(事前指導)	1.5	7.5	S	7,000	※②	
	50020	養護実習事前・事後指導(事後指導)	1.0	2.0	S	0	※②	
	30088	書写	1.5	7.5	S	7,000		
	50024	看護演習	3.0	15.0	S	14,000		
	40061	子育て支援	1.5	7.5	S	7,000		
	四 年 次 科 目	10011	情報処理技術Ⅱ(応用)	1.5	7.5	S	7,000	
		20093	教職実践演習	1.5	7.5	R・S	7,000	
20045		教職実践演習(養護)	1.5	7.5	R・S	7,000		

※①…1年次入学生対象科目

※②…事前および事後のレポート提出有。事前指導は受講料7,000円、事後指導は受講料0円です。

※③…入学年度によって履修方法が異なります。必ず入学年度を確認してください。

◆スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧

【平成30年度入学生用 / 平成28・29年度1年次入学生・科目等履修生用】

	科目コード	スクーリング科目	日数	コマ数	履修方法 (印刷R, 面接S)	スクーリング 受講料(円)	備 考
一年次科目	10010	情報処理技術Ⅰ(基礎)	1.5	7.5	S	7,000	
	10020	スポーツ(実技)	3.0	15.0	S	8,000	
	30035	こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)第1段階	1.0	5.0	S	6,000	
	30035	こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)第2段階	1.0	5.0	S	6,000	
	30090	図画工作Ⅱ	1.5	7.5	S	7,000	
	50013	看護学演習Ⅰ	1.5	7.5	R・S	7,000	
二年次科目	20046	教育心理学	1.5	7.5	R・S	7,000	
	30091	保育内容(環境Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30096	保育内容(環境Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30092	保育内容(健康Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30097	保育内容(健康Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30093	保育内容(人間関係Ⅰ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30098	保育内容(人間関係Ⅱ)	1.5	7.5	S	7,000	
	30099	保育内容(表現)	1.5	7.5	S	7,000	
	40033	こどもの食と栄養	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20085	教育実習事前・事後指導(幼稚園)事前指導	1.5	7.5	S	7,000	※②
	20085	教育実習事前・事後指導(幼稚園)事後指導	1.0	2.0	S	0	※②
	40041	保育実習論Ⅰ ※①	3.0	15.0	S	14,000	事後レポート有
	40042	保育実習論Ⅱ ※①	1.5	7.5	S	7,000	事後レポート有
40043	保育実習論Ⅲ ※①	1.5	7.5	S	7,000	事後レポート有	
50018	養護概説	1.5	7.5	R・S	7,000		
三年次科目	20022	理科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20025	音楽科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20026	図工科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20027	体育科指導法	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20086	教育実習事前・事後指導(小学校)事前指導	1.5	7.5	S	7,000	※②
	20086	教育実習事前・事後指導(小学校)事後指導	1.0	2.0	S	0	※②
	30088	書写	1.5	7.5	S	7,000	
	50014	看護学演習Ⅱ	1.5	7.5	R・S	7,000	
	50020	養護実習事前・事後指導(事前指導)	1.5	7.5	S	7,000	※②
	50020	養護実習事前・事後指導(事後指導)	1.0	2.0	S	0	※②
四年次科目	10011	情報処理技術Ⅱ(応用)	1.5	7.5	S	7,000	
	20084	教職実践演習(幼・小)	1.5	7.5	R・S	7,000	
	20045	教職実践演習(養護)	1.5	7.5	R・S	7,000	

※①…1年次入学生対象科目

※②…事前および事後のレポート提出有。事前指導は受講料7,000円、事後指導は受講料0円です。

◆スクーリング開講科目・科目コード一覧(養成課程)【図書館司書・司書教諭】

	科目コード	スクーリング科目	日数	コマ数	履修方法 (印刷R, 遠隔S)	スクーリング 受講料(円)	備 考
図書館 司書	70003	図書館情報技術論	1.5	7.5	R・S	0	スクーリング受講料 は、授業料に含まれ ているため納入は不 要です。
	70008	情報サービス演習	1.5	7.5	R・S	0	
	70009	図書館情報資源概論	1.5	7.5	R・S	0	
	70011	情報資源組織演習	1.5	7.5	R・S	0	
司書 教諭	70020	情報メディアの活用	1.5	7.5	R・S	0	

※養成課程に所属している学生のみスクーリングを受講することができます。

Ⅲ．開 講 日 程

1. スクーリング実施時期

本学を会場とする「本校スクーリング」は、2つの時期で開講しています。(講義内容に違いはありません。) 各自の職場や家庭の事情などを考慮して都合のよい日程を選んで受講申請をしてください。時期によって受講申請期間が異なりますので、よく確認して手続きを行ってください。

また、入学の時期とスクーリングの受付期間は必ずしも連動していません。従って、入学の時期が遅くなった場合は、希望のスクーリングに間に合わないことになります。このような場合には、次回以降のスクーリングを受けるよう準備してください。

こちらの事項をよく読んで間違いのないようにしてください。

本 校	時 期	スクーリング開講期間
	1 期	令和7年8月1日(金)～9月30日(火)
	2 期	令和8年2月1日(日)～3月31日(火)

※「教職実践演習」のスクーリングの開講日程は、p.12、p.46に記載しています。

※「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)」「保育の表現技術(ピアノ)」「音楽表現(ピアノ)」のスクーリングの開講日程はp.12、p.48に記載しています。

※申請方法により受付期間が異なります。ご注意ください。

2. 授業時間帯

① 授業時間

次の時間割によって授業を行い、午前・午後各授業をそれぞれ2.5コマとします。

	時 間 帯
午前授業	9:00～13:00
午後授業	14:00～18:00
全日授業	9:00～18:00

② 各自の都合で早退を申し出ても、個人による授業時間の短縮は一切認めません。

スクーリングによる単位の取得は、所定の時間の授業を受けて、スクーリング終了後に実施する単位認定試験を受験し合格することが必要です。

③ 時間割は、諸事情により変更する場合がありますので、予めご承知おきください。

なお、変更する場合は、学修サポートサイト(UniVision)内で通知します。

3. スクーリング時間割

令和7年度 本校1期

日程	1年次		1年次-2		2年次		2年次-2		日程
	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	
8月1日(金)	こどもと表現Ⅱ				養護概説				8月1日(金)
8月2日(土)									8月2日(土)
8月3日(日)	科目試験								
8月4日(月)					保育の表現技術(合奏)				8月4日(月)
8月5日(火)									8月5日(火)
8月6日(水)	こどもと表現Ⅲ		看護学演習Ⅰ/看護学Ⅰ				保育実習論Ⅰ		8月6日(水)
8月7日(木)					保育内容(健康Ⅰ)				8月7日(木)
8月8日(金)									
8月9日(土)									
8月10日(日)									
8月11日(月)									
8月12日(火)									
8月13日(水)									
8月14日(木)									
8月15日(金)									
8月16日(土)									
8月17日(日)									
8月18日(月)									
8月19日(火)		こどもと表現Ⅰ							8月19日(火)
8月20日(水)	音楽Ⅳ(器楽)				こどもの食と栄養				8月20日(水)
8月21日(木)	音楽								8月21日(木)
8月22日(金)									8月22日(金)
8月23日(土)							こどもの健康と安全		8月23日(土)
8月24日(日)					教育心理学				8月24日(日)
8月25日(月)									8月25日(月)
8月26日(火)	保育の表現技術(言語)/言語表現				外国語総合Ⅰ				8月26日(火)
8月27日(水)	体育/体育(RS)		社会的養護Ⅱ						8月27日(水)
8月28日(木)					芸術論		保育内容(健康Ⅱ)		8月28日(木)
8月29日(金)									8月29日(金)
8月30日(土)	図画工作		保育の表現技術(声楽)/音楽表現(声楽)						8月30日(土)
8月31日(日)									8月31日(日)
9月1日(月)	音楽Ⅰ/音楽Ⅲ(声楽)		身体表現		看護学Ⅱ				9月1日(月)
9月2日(火)					保育内容(言葉)				9月2日(火)
9月3日(水)	スポーツ(実技)								9月3日(水)
9月4日(木)					保育実習論Ⅱ				9月4日(木)
9月5日(金)					保育内容(人間関係Ⅰ)				9月5日(金)
9月6日(土)									9月6日(土)
9月7日(日)									9月7日(日)
9月8日(月)					保育内容(環境Ⅱ)				9月8日(月)
9月9日(火)	こどもの理解と援助								9月9日(火)
9月10日(水)					保育内容(表現)				9月10日(水)
9月11日(木)									9月11日(木)
9月12日(金)					保育総合演習				9月12日(金)
9月13日(土)	情報処理技術Ⅰ(基礎)				外国語総合Ⅱ				9月13日(土)
9月14日(日)									9月14日(日)
9月15日(月)	乳児保育Ⅱ				保育内容(環境Ⅰ)				9月15日(月)
9月16日(火)									9月16日(火)
9月17日(水)	造形表現/保育の表現技術(造形)								9月17日(水)
9月18日(木)									9月18日(木)
9月19日(金)									9月19日(金)
9月20日(土)									9月20日(土)
9月21日(日)									9月21日(日)
9月22日(月)					保育実習論Ⅲ				9月22日(月)
9月23日(火)									9月23日(火)
9月24日(水)					保育内容(人間関係Ⅱ)				9月24日(水)
9月25日(木)					特別支援演習				9月25日(木)
9月26日(金)									9月26日(金)
9月27日(土)									9月27日(土)
9月28日(日)	音楽Ⅱ/音楽Ⅱ(ピアノ)				教育実習事前・事後指導(幼稚園)事前指導				9月28日(日)
9月29日(月)									9月29日(月)
9月30日(火)									9月30日(火)

授業時間	午前 9:00~13:00	午後 14:00~18:00	全日 9:00~18:00
実施方法	遠隔授業		対面授業

日程	3年次		3年次-2		4年次		図書館司書		図書館司書教諭		日程
	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	
8月1日(金)											8月1日(金)
8月2日(土)	算数科指導法										8月2日(土)
8月3日(日)	科目試験										
8月4日(月)	家庭科指導法										8月4日(月)
8月5日(火)											8月5日(火)
8月6日(水)	理科指導法										8月6日(水)
8月7日(木)											8月7日(木)
8月8日(金)											
8月9日(土)											
8月10日(日)											
8月11日(月)											
8月12日(火)											
8月13日(水)											
8月14日(木)											
8月15日(金)											
8月16日(土)											
8月17日(日)											
8月18日(月)											
8月19日(火)			国語科指導法								8月19日(火)
8月20日(水)	英語コミュニケーションⅡ										8月20日(水)
8月21日(木)											8月21日(木)
8月22日(金)											8月22日(金)
8月23日(土)											8月23日(土)
8月24日(日)									情報メディアの活用		8月24日(日)
8月25日(月)	体育科指導法										8月25日(月)
8月26日(火)							情報資源組織演習				8月26日(火)
8月27日(水)	音楽科指導法										8月27日(水)
8月28日(木)	生活科指導法										8月28日(木)
8月29日(金)											8月29日(金)
8月30日(土)	外国語(英語)指導法										8月30日(土)
8月31日(日)											8月31日(日)
9月1日(月)											9月1日(月)
9月2日(火)											9月2日(火)
9月3日(水)	社会科指導法										9月3日(水)
9月4日(木)					看護演習(1単位)						9月4日(木)
9月5日(金)					養護実習事前指導						9月5日(金)
9月6日(土)	図工科指導法										9月6日(土)
9月7日(日)											9月7日(日)
9月8日(月)											9月8日(月)
9月9日(火)								情報サービス演習			9月9日(火)
9月10日(水)											9月10日(水)
9月11日(木)							図書館情報資源概論				9月11日(木)
9月12日(金)											9月12日(金)
9月13日(土)					旧カリ 看護演習(2単位)						9月13日(土)
9月14日(日)											9月14日(日)
9月15日(月)	子育て支援										9月15日(月)
9月16日(火)											9月16日(火)
9月17日(水)						情報処理技術Ⅱ(応用)					9月17日(水)
9月18日(木)											9月18日(木)
9月19日(金)											9月19日(金)
9月20日(土)											9月20日(土)
9月21日(日)											9月21日(日)
9月22日(月)	教育実習事前・事後指導(小学校)事前指導										9月22日(月)
9月23日(火)											9月23日(火)
9月24日(水)											9月24日(水)
9月25日(木)											9月25日(木)
9月26日(金)											9月26日(金)
9月27日(土)	書写										9月27日(土)
9月28日(日)											9月28日(日)
9月29日(月)					予備 看護演習(1単位)			図書館情報技術論			9月29日(月)
9月30日(火)											9月30日(火)

令和7年度 本校2期

日程	1年次		1年次-2		2年次		2年次-2		日程
	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	
2月1日(日)	こどもと表現 I				看護概説				2月1日(日)
2月2日(月)									2月2日(月)
2月3日(火)	看護学演習 I / 看護学 I								2月3日(火)
2月4日(水)	こどもの理解と援助				芸術論				2月4日(水)
2月5日(木)									2月5日(木)
2月6日(金)	音楽								2月6日(金)
2月7日(土)	造形表現 / 保育の表現技術(造形)				保育内容(表現)				2月7日(土)
2月8日(日)									2月8日(日)
2月9日(月)	保育の表現技術(声楽) / 音楽表現(声楽)								2月9日(月)
2月10日(火)					外国語総合 I		保育実習論 I		2月10日(火)
2月11日(水)	保育の表現技術(身体) / 身体表現								2月11日(水)
2月12日(木)									2月12日(木)
2月13日(金)	図画工作						外国語総合 II		2月13日(金)
2月14日(土)					教育心理学				2月14日(土)
2月15日(日)	科目試験								
2月16日(月)	音楽Ⅳ(器楽)				保育内容(環境 I)				2月16日(月)
2月17日(火)									2月17日(火)
2月18日(水)							こどもの食と栄養		2月18日(水)
2月19日(木)					保育内容(健康 I)		保育の表現技術(合奏)		2月19日(木)
2月20日(金)					保育実習論Ⅲ				2月20日(金)
2月21日(土)									2月21日(土)
2月22日(日)									2月22日(日)
2月23日(月)	乳児保育Ⅱ				保育内容(言葉)		看護学Ⅱ		2月23日(月)
2月24日(火)	音楽Ⅱ / 音楽Ⅱ(ピアノ)		保育の表現技術(言語) / 言語表現						2月24日(火)
2月25日(水)									2月25日(水)
2月26日(木)	体育 / 体育(RS)								2月26日(木)
2月27日(金)	情報処理技術Ⅰ(基礎)				保育内容(人間関係Ⅰ)				2月27日(金)
2月28日(土)									2月28日(土)
3月1日(日)	音楽表現ピアノ								3月1日(日)
3月2日(月)	こどもと表現Ⅱ								3月2日(月)
3月3日(火)					特別支援演習				3月3日(火)
3月4日(水)									3月4日(水)
3月5日(木)					保育内容(健康Ⅱ)				3月5日(木)
3月6日(金)	社会的養護Ⅱ				保育内容(人間関係Ⅱ)				3月6日(金)
3月7日(土)									3月7日(土)
3月8日(日)									3月8日(日)
3月9日(月)									3月9日(月)
3月10日(火)					保育実習論Ⅱ		保育総合演習		3月10日(火)
3月11日(水)	スポーツ(実技)								3月11日(水)
3月12日(木)									3月12日(木)
3月13日(金)	卒業式								
3月14日(土)									3月14日(土)
3月15日(日)									3月15日(日)
3月16日(月)					保育内容(環境Ⅱ)				3月16日(月)
3月17日(火)	こどもと表現Ⅲ								3月17日(火)
3月18日(水)									3月18日(水)
3月19日(木)									3月19日(木)
3月20日(金)									3月20日(金)
3月21日(土)									3月21日(土)
3月22日(日)									3月22日(日)
3月23日(月)					教育実習事前・事後指導(幼稚園)事前指導				3月23日(月)
3月24日(火)									3月24日(火)
3月25日(水)					こどもの健康と安全				3月25日(水)
3月26日(木)	音楽Ⅰ / 音楽Ⅲ(声楽)								3月26日(木)
3月27日(金)									3月27日(金)
3月28日(土)									3月28日(土)
3月29日(日)									3月29日(日)
3月30日(月)									3月30日(月)
3月31日(火)									3月31日(火)

授業時間	午前 9:00~13:00	午後 14:00~18:00	全日 9:00~18:00
実施方法	遠隔授業		対面授業

日程	3年次		3年次-2		4年次		図書館司書		図書館司書教諭		日程
	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	
2月1日(日)	家庭科指導法										2月1日(日)
2月2日(月)											2月2日(月)
2月3日(火)	社会科指導法										2月3日(火)
2月4日(水)											2月4日(水)
2月5日(木)											2月5日(木)
2月6日(金)	外国語(英語)指導法										2月6日(金)
2月7日(土)											2月7日(土)
2月8日(日)	教育実習事前・事後指導(小学校)事前指導										2月8日(日)
2月9日(月)	図工科指導法										2月9日(月)
2月10日(火)							図書館情報技術論				2月10日(火)
2月11日(水)	算数科指導法										2月11日(水)
2月12日(木)											2月12日(木)
2月13日(金)											2月13日(金)
2月14日(土)											2月14日(土)
2月15日(日)	科目試験										2月15日(日)
2月16日(月)											2月16日(月)
2月17日(火)	英語コミュニケーションⅡ										2月17日(火)
2月18日(水)											2月18日(水)
2月19日(木)											2月19日(木)
2月20日(金)											2月20日(金)
2月21日(土)	養護実習事前・事後指導(事前指導)						図書館情報資源概論				2月21日(土)
2月22日(日)											2月22日(日)
2月23日(月)	音楽科指導法								情報メディアの活用		2月23日(月)
2月24日(火)	生活科指導法										2月24日(火)
2月25日(水)											2月25日(水)
2月26日(木)	理科指導法										2月26日(木)
2月27日(金)											2月27日(金)
2月28日(土)											2月28日(土)
3月1日(日)											3月1日(日)
3月2日(月)							情報資源組織演習				3月2日(月)
3月3日(火)	国語科指導法										3月3日(火)
3月4日(水)											3月4日(水)
3月5日(木)											3月5日(木)
3月6日(金)	体育科指導法										3月6日(金)
3月7日(土)							情報サービス演習				3月7日(土)
3月8日(日)											3月8日(日)
3月9日(月)	看護演習(1単位)										3月9日(月)
3月10日(火)											3月10日(火)
3月11日(水)											3月11日(水)
3月12日(木)											3月12日(木)
3月13日(金)	卒業式										3月13日(金)
3月14日(土)											3月14日(土)
3月15日(日)											3月15日(日)
3月16日(月)						情報処理技術Ⅱ(応用)					3月16日(月)
3月17日(火)	予備 看護演習(1単位)										3月17日(火)
3月18日(水)											3月18日(水)
3月19日(木)	子育て支援										3月19日(木)
3月20日(金)											3月20日(金)
3月21日(土)											3月21日(土)
3月22日(日)											3月22日(日)
3月23日(月)											3月23日(月)
3月24日(火)	書写										3月24日(火)
3月25日(水)											3月25日(水)
3月26日(木)											3月26日(木)
3月27日(金)											3月27日(金)
3月28日(土)											3月28日(土)
3月29日(日)											3月29日(日)
3月30日(月)											3月30日(月)
3月31日(火)											3月31日(火)

令和7年度 本校3～6期

日程	1年次		3年次		4年次		日程
	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	午前授業	午後授業	
7月5日(土)					養護実習事後指導		7月5日(土)
7月6日(日)					教職実践演習(養護)		7月6日(日)
7月12日(土)					教育実習事後指導		7月12日(土)
7月13日(日)					教職実践演習(幼・小)		7月13日(日)
7月27日(日)		音楽表現(ピアノ)					7月27日(日)
11月1日(土)					養護実習事後指導		11月1日(土)
11月2日(日)					教職実践演習(養護)		11月2日(日)
11月8日(土)					教育実習事後指導		11月8日(土)
11月9日(日)					教職実践演習(幼・小)		11月9日(日)
3月1日(日)		音楽表現(ピアノ)					3月1日(日)

授業時間	午前 9:00~13:00	午後 14:00~18:00	全日 9:00~18:00
実施方法	遠隔授業		対面授業

申請手続きの前の確認事項

●履修登録は済んでいますか？

履修登録をしていない科目はスクーリングの申請ができません。初回の履修登録は履修登録用紙（OCR用紙）を使用してください。2回目以降の履修登録（履修科目の追加）は、履修科目変更願を使用してください。

●スクーリング受講ができる科目ですか？

入学年度によってカリキュラムが異なりますので、スクーリングの受講ができる科目とできない科目があります。pp.3～6の開講科目一覧でよく確認してください。

●配当年次に達していますか？

正科生のスクーリングは学年毎に開講科目が設定されており、現在の学年より上の学年の科目を受講することはできません。しかし、下の学年の科目を受講することは可能です。科目等履修生は、配当年次に関係なく、履修登録している科目のスクーリングを受講することができます。

●受講希望のスクーリング科目（複数）は、日程が重複していませんか？

受講希望をしているスクーリング科目が複数ある場合は、必ず開講日程を確認し、日程および時間が重複していないか確認してください。

重複してスクーリング受講申請をした場合、日程が重複している科目のみ申請受付ができません。（重複していないその他の科目は、受付をします。）

日程および時間が重複しており、受付ができなかった科目については、学修サポートサイト（UniVision）にて通知をします。OCRによる受講申請の場合、通知により、訂正したスクーリング受講申請票は、受付期間内（消印有効）であれば受付ができますが、期間外に届いた申請票は、いかなる理由であっても受付をしません。

●本当にスクーリング受講申請をしなければいけない科目ですか？

既に合格をしているスクーリング科目は、受講することができません。スクーリング受付期間前に、科目別履修状況表、学修サポートサイト（UniVision）で履修状況を確認し申請をしてください。間違えて合格済みのスクーリング科目の申請を行った場合、返金できない場合がありますのでご注意ください。

●**教育（養護）実習前に必ず修得しなければならない科目があるのを知っていますか？**

教育(養護)実習を行うためには、指定された科目を修得しなければなりません。各自入学年度の学習(修)便覧を確認し、計画的に学習を進めてください。なお、指定された科目が定められた期日までに修得できなかった場合、実習は延期をすることになります。詳細は、入学年度の学習(修)便覧を確認してください。

●**図書館司書・司書教諭のスクーリング科目の受講料は不要です。**

スクーリング受講料は、授業料に含まれているため納入は不要です。

学修サポートサイト（UniVision）による申請が可能です。また OCR による受講申請の場合、「スクーリング受講申請票」のみ提出し、「受講料納入届」の提出は不要です。

●**印刷・面接科目について**

「印刷・面接」科目は、指定がなければ、レポートの作成とスクーリング受講のどちらを先に学習しても構いません。但し、それぞれが合格しなければ、単位が認められません。

Ⅳ. 受講申請の方法

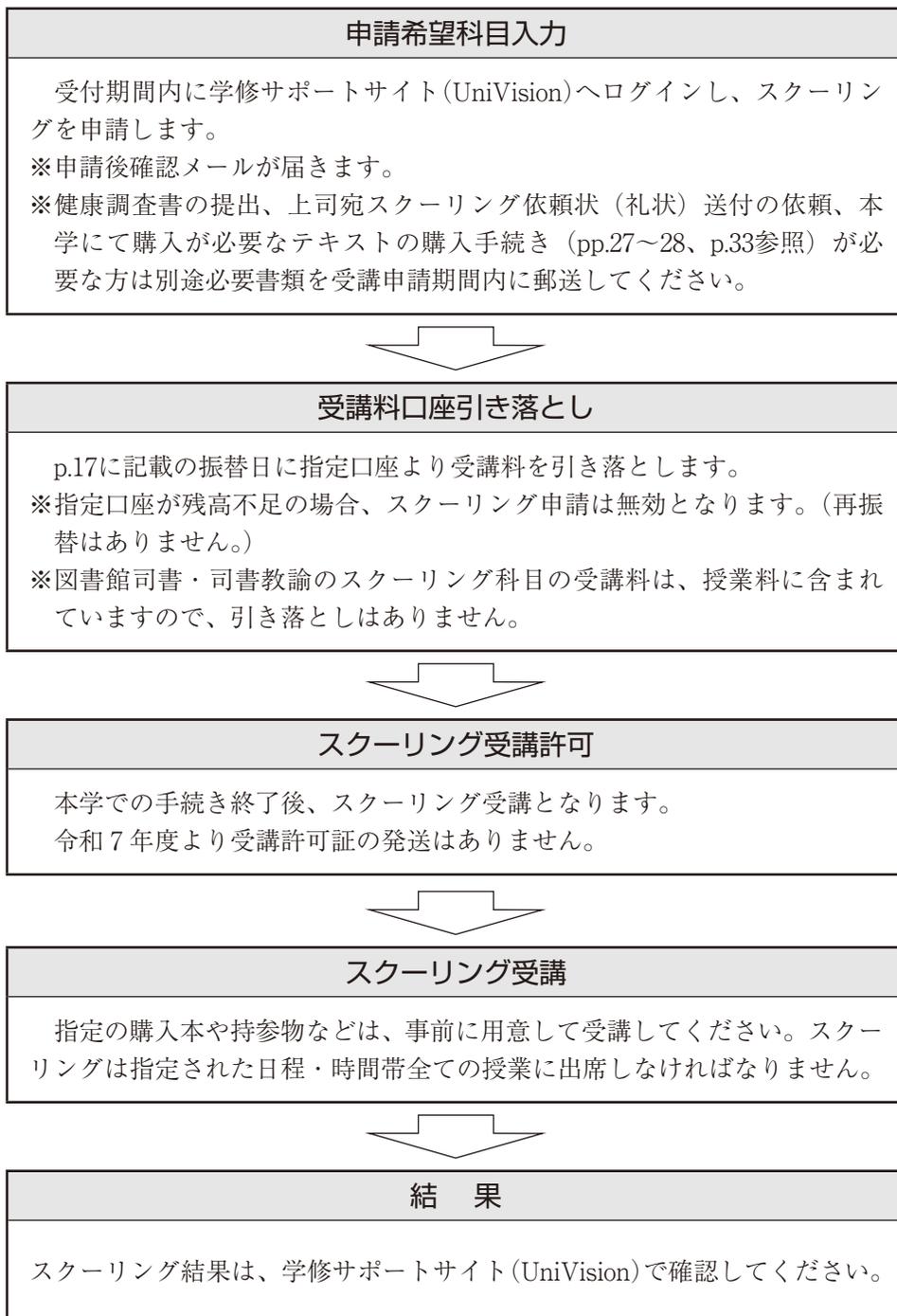
スクーリングは学修サポートサイト (UniVision) による申請、OCR 提出による申請の 2 種類の方法で受講申請が可能です。申請期間はそれぞれの申請方法に対して設けられていますので、ご確認ください。なお、学修サポートサイト (UniVision) による申請での受講料の支払いは「口座振替」となります。詳細については pp.16 ~ 19 をご確認ください。

注意事項

- ・学修サポートサイト (UniVision) による申請は期日までに口座登録を行っている方が対象です。各期決められた期日までに口座登録をしていない場合、学修サポートサイト (UniVision) による申請は行えませんのでご注意ください (申請は無効となります)。
- ・学修サポートサイト (UniVision) による申請、OCR 提出による申請それぞれに申請期間が定められています。

1 申請方法 学修サポートサイト (UniVision) による申請

1. 受講申請の流れ



2. 学修サポートサイト (UniVision) による申請受付期間について

	科目名	実施日	受講申請期間 (OCR)	受講申請期間 (WEB)	引き落とし日	口座登録用紙 提出期限(必着)
本校 1期	下記以外の科目	令和7年 8月1日(金) ～9月30日(火)	令和7年 6月16日(月) ～6月25日(水)	令和7年 6月1日(日) ～6月10日(火)	令和7年 6月23日(月)	令和7年 5月23日(金)
本校 2期	下記以外の科目	令和8年 2月1日(日) ～3月31日(火)	令和7年 12月1日(月) ～12月10日(水)	令和7年 11月1日(土) ～11月10日(月)	令和7年 11月27日(木)	令和7年 10月27日(月)
本校 3期	養護実習事前・事後指導 (事後指導)	令和7年 7月5日(土) 9:00～12:00	令和7年 5月23日(金) ～6月3日(火)	令和7年 4月27日(日) ～5月14日(水)	令和7年 5月27日(火)	令和7年 4月25日(金)
	教職実践演習(養護)	令和7年 7月5日(土) 14:00～18:00 令和7年 7月6日(日) 9:00～18:00				
	教育実習事前・事後指導 (幼稚園) 事後指導 教育実習事前・事後指導 (小学校) 事後指導	令和7年 7月12日(土) 9:00～12:00				
	教職実践演習/教職実践演習 (幼・小)	令和7年 7月12日(土) 14:00～18:00 令和7年 7月13日(日) 9:00～18:00				
本校 4期	養護実習事前・事後指導 (事後指導)	令和7年 11月1日(土) 9:00～12:00	令和7年 9月25日(木) ～10月6日(月)	令和7年 8月23日(土) ～令和7年 9月9日(火)	令和7年 9月23日(火)	令和7年 8月22日(金)
	教職実践演習(養護)	令和7年 11月1日(土) 14:00～18:00 令和7年 11月2日(日) 9:00～18:00				
	教育実習事前・事後指導 (幼稚園) 事後指導 教育実習事前・事後指導 (小学校) 事後指導	令和7年 11月8日(土) 9:00～12:00				
	教職実践演習(幼・小) / 教職実践演習	令和7年 11月8日(土) 14:00～18:00 令和7年 11月9日(日) 9:00～18:00				
本校 5期	音楽表現(ピアノ) 第1段階/第2段階 保育の表現技術(ピアノ) 第1段階/第2段階	令和7年 7月27日(日) 9:00～18:00	令和7年 6月12日(木) ～6月23日(月)	令和7年 5月7日(水)～ 5月26日(月)	令和7年 6月5日(木)	令和7年 5月2日(金)
本校 6期	音楽表現(ピアノ) 第1段階/第2段階 保育の表現技術(ピアノ) 第1段階/第2段階	令和8年 3月1日(日) 9:00～18:00	令和7年 11月23日(日)～ 12月10日(水)	令和7年 10月24日(金) ～11月3日(月)	令和7年 11月27日(木)	令和7年 10月27日(月)

※再振替はありません。

学修サポートサイト (UniVision) によるスクーリング受講申請の手続きについて
 メニュー [総合学習情報] → [スクーリング申請] タブをクリックします。

総合学習情報

2015/02/10 14:51

学籍番号	C11310001	氏名	弘徳 太郎C11310001(コウトク タロウ)
所属	教育学部 こども未来学科(G通信教育課程) 保育士養成コース	学年・学生種別	3年 正科生(1年次入学)
カリキュラムコード	2013500	学籍状態	在学

個別のお知らせ 履修状況 レポート課題状況 スクーリング状況 **スクーリング申請** 科目試験状況 科目試験申請 退学状況

■ 申請可能スクーリング科目一覧

選択	科目コード	科目名
<input type="radio"/>	10020	スポーツ(実技)
<input type="radio"/>	20060	中等教科教育法(社会) I
<input type="radio"/>	30061	ソルフェージュ

■ 申請済みスクーリング科目一覧

選択	科目コード	科目名	申請年月日	変更期限	開催期間	開催場所	スクーリング費
<input type="radio"/>	30028	こどもと音楽表現 II (声楽)	2014/12/16	2015/03/31	2015/02/21 ~ 2015/02/22	本学	7,000
<input type="radio"/>	40040	保育相談支援	2014/12/16	2015/03/31	2015/02/13 ~ 2015/02/14	本学	7,000

合計申請済みスクーリング費: 14,000円

[スクーリング申請 (タブ)]

申請可能スクーリング科目一覧の表示項目は以下のとおりです。

項目	説明	備考
選択	スクーリング申請する場合に対象の科目コードを選択します。	
科目コード	申請可能な科目コードが表示されます。	
科目名	申請可能な科目名が表示されます。	

申請済みスクーリング科目一覧の表示項目は以下のとおりです。

項目	説明	備考
選択	スクーリングの取消をする場合に対象のスクーリングコードを選択します。	
科目コード	申請したスクーリングの科目コードが表示されます。	
科目名	申請したスクーリングの科目名が表示されます。	
申請年月日	申請したスクーリングの申請年月日が表示されます。	
変更期限	申請したスクーリングの変更期限が表示されます。	
開催期間	申請したスクーリングの開催期間が表示されます。	
開催場所	申請したスクーリングの開催場所が表示されます。	
スクーリング費	申請したスクーリングのスクーリング費が表示されます。	

合計申請済みスクーリング費: 申請済みのスクーリング費の合計金額が表示されます。

申請：

- ①申請したいスクーリングコードを選択し、[申請] ボタンをクリックすると、スクーリング申請確認画面が表示されます。

■ スクーリング申請					
選択	スクーリングコード	科目名	開催期間	開催場所	スクーリング費
<input checked="" type="checkbox"/>	100200000002A1	スポーツ(実技)	2015/02/17～2015/02/19	本学	8,000

[スクーリング申請確認]

- ②申請したいスクーリングを選択し、[申請] ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。申請する場合は、[OK] ボタンをクリックします。スクーリングの申請が完了すると、申請結果画面が表示されます。[スクーリング申請状況画面へ戻る] ボタンをクリックすると、スクーリング申請（タブ）に戻ります。申請を取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。
- ③ [戻る] ボタンをクリックすると、スクーリング申請（タブ）に戻ります。
※各期定められた申請期間内に受講申請が可能です。

申請取消：

- ①申請済みスクーリング科目一覧の申請を取り消したいスクーリングを選択し、[取消] ボタンをクリックします。スクーリング取消確認画面が表示されます。

■ スクーリング取消確認	
スクーリングコード	100200000002A1
科目名	スポーツ(実技)
申請年月日	2015/02/10
開催期間	2015/02/17～2015/02/19
開催場所	本学
スクーリング費	8,000

[スクーリング取消確認]

- ② [取消実行] ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。申請を取り消す場合は、[OK] ボタンをクリックします。スクーリングの取り消しが完了すると、取消結果画面が表示されます。[スクーリング申請状況画面へ戻る] ボタンをクリックすると、スクーリング申請（タブ）に戻ります。取り消しを取りやめる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。
- ③ [戻る] ボタンをクリックすると、スクーリング申請（タブ）に戻ります。
※学修サポートサイト（UniVision）による受講申請期間内のみ取消が可能です。

学修サポートサイト（UniVision）による受講申請の注意事項

●再振替日はありません。

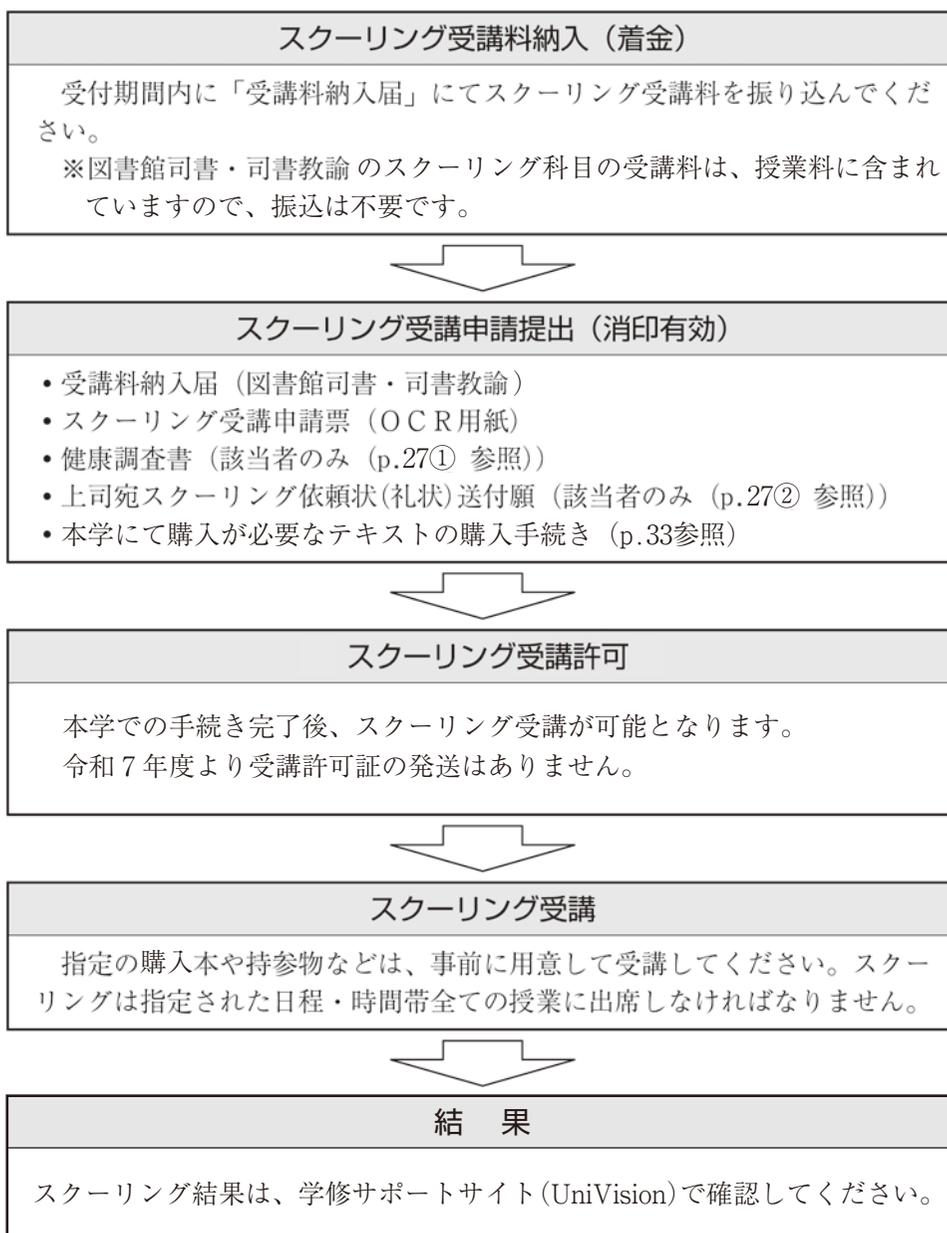
申請終了後、p.17に記載の「口座振替日」に指定の口座より引き落としとなります。「口座振替日」に指定口座が残高不足の場合、再振替は行いません。その場合、受講料未払いとなり、スクーリングの申請は無効となり、受講できません。

●受講申請期間外の変更はできません。

受講科目の変更は学修サポートサイト（UniVision）受講申請期間内に行ってください。申請期間を過ぎた場合は変更ができません。申請期間最終日以降に欠席（変更）を希望する場合は欠席届の提出により手続き（pp.34～35）を行ってください。（手数料1,000円を差し引いた額を返金いたします。）

2 申請方法 OCR提出による申請

1. 受講申請の流れ



【注 意】

- 振込は受付期間内（着金）に行ってください。受付期間より早くとも遅くとも申請受付はできません。
- 書類の不備・不足等があった場合は、受付ができませんので返却いたします。その際の連絡方法は、学修サポートサイト(UniVision)とし、原則電話連絡はいたしません。

2. OCR提出による受講申請の受付期間

本 校	時 期	スクーリング受講申請受付期間
	1 期	令和7年6月16日(月)～6月25日(水)
	2 期	令和7年12月1日(月)～12月10日(水)
備 考	上記の期間内に、スクーリング受講料の納入が着金し、「受講料納入届(※1)」と「スクーリング受講申請票」が大学に到着していなければなりません。(受付期間の前・後に入金をしないでください。スクーリング申請が受理できません。) 期間外の申請は、理由の如何を問わず受付をしません。 <u>受付は締切日の消印有効です。</u>	

- ※1 納入方法によっては、受講料納入届以外にも提出しなければならない書類があります。pp.21～23を参照し、不備のないよう手続きを行ってください。
- ※2 「教職実践演習」の受講申請詳細についてはpp.45～46を参照してください。
- ※3 「こどもと音楽表現I(ピアノ)/保育の表現技術(ピアノ)/音楽表現(ピアノ)」の受講申請詳細についてはpp.47～51を参照してください。

3. OCR提出による受講申請時の提出書類

OCR提出によるスクーリング受講申請の場合、受講を希望するスクーリングの申請期間内に、次の書類を本学へ提出してください。スクーリング受講申請票を提出する際は、封筒に「スクーリング受講申請票在中」と朱書きしてください。

OCR提出による受講申請時の提出書類一覧		
①受講料納入届 (諸経費の納入方法をよく確認してください)	pp.21～23参照	納入方法により提出書類が異なります。
②スクーリング受講申請票	pp.24～25参照	OCR用紙

① 受講料納入届

スクーリング受講料は「スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧」(pp.3～6)を参照し、「受講料納入届」を使用して、納入してください。受講科目と受講料をよく確認して、同一日時に複数科目の申請を行わないよう気をつけてください。なお、受付期間外の振込は一切認めません。

受講料納入届は、実施期ごとに1枚使用してください。実施期の異なる科目を1枚で納入しないでください。

〔受講料納入届の記入方法〕

受講料納入届

(大学へ提出してください)

学籍番号	整理番号	31101xxxxx	①
フリガナ	学部学科	教育学部こども未来学科	
氏名	電話番号		
住所			

①大学へ提出
※ATMやインターネットで振り込んだ場合も提出してください。

受講料 (納入項目に記し、科目数・金額欄に必要な受講料を記入してください。)				
チェック欄	項目	受講料	科目数	金額
	スクーリング受講料	6,000円	科目	円
	スクーリング受講料	7,000円	科目	円
	スクーリング受講料	8,000円	科目	円
	スクーリング受講料	14,000円	科目	円
	地方スクーリング受講料	7,500円	科目	円
	地方スクーリング受講料	11,000円	科目	円
合 計				円

【本人確認手続きについて】平成19年1月14日から本人確認手続きに関する法令の改正により、本人確認書類の提示が必要となりましたので、現金振込の際は、本振込用紙とともに、振込の手続きを行う方の本人確認書類（運転免許証、健康保険証など）をご用意の上、銀行窓口をご利用ください。

(本人控)

振込金受領証

ご依頼日	令和 年 月 日	振込先	三井住友銀行 なでしこ支店 普通 No.2390020	②
金額		受取人	学校法人 弘徳学園 (姫路大学 通信教育事務課)	
手数料		学籍種別	スクーリング受講料	
上記のとおり領収いたしました。 金融機関の領収書(振込金受領証)をもって本学の領収証としますので、本書は大切に保管してください。				

②本人控え
※納入方法に関わらず、大学に送付せずにご自身で保管してください。

(文書扱不可) 電信図

振込依頼書

お 引 換 の 必 ず お 印 を 打 印 し て く だ さ い。	ご依頼日	令和 年 月 日	勘定項目	
	振込先	三井住友銀行 なでしこ支店 普通 No.2390020		金額
	受取人	フリガナ	ガク) コウトクガクエン	手数料
	氏名	学校法人 弘徳学園 (姫路大学 通信教育事務課)		内訳
	整理番号	31101xxxxx		現金
	フリガナ			当店券
氏名			③	
住所				

③銀行用
※ATMやインターネットで振り込んだ場合は手元に残ります。

※コピーした受講料納入届は使用できません。また、一度使用した受講料納入届(整理番号)は使用できませんので、振込ごとに新しい受講料納入届を使用してください。

(お手元がない場合は補助教材の追加申込を行ってください)。

※各期の受付期間内に過不足なく振込をしてください。受付期間前の振込、受付期間終了後の振込は一切認めません。

※図書館司書・司書教諭のスクーリング科目を受講する場合、受講料の納入は不要です。「スクーリング受講申請票」のみ提出してください。

【諸経費の納入方法】

受講料の納入方法によって、提出書類が異なります。ATMやインターネットで振込をした場合は「受講料納入届」以外にも必要となる書類があります。

■ 銀行窓口で振込む場合 ■

1. 受講料納入届に必要な事項を記入し、銀行窓口にて手続きを行ってください。
2. 受講料納入届の整理番号（10桁）を氏名の前に必ず打電するよう手続きをしてください。
3. 銀行の受領印が押された受講料納入届の①（大学へ提出用）（p.22参照）とスクーリング受講申請票（OCR用紙）と共に受付期間内に提出してください。

■ ATMで振込む場合 ■

1. 受講料納入届に必要な事項を記入した上で振込を行ってください。
2. 必ず受講料納入届の整理番号（10桁）と氏名を打電してください。
3. ATMから発行される利用明細のコピー（原本は本人控えとしてお持ちください）と、振込に使用した受講料納入届の①（大学へ提出用）（p.22参照）をスクーリング受講申請票（OCR用紙）と共に受付期間内に提出してください。

■ インターネットで振込む場合 ■

1. 受講料納入届を記入した上で振込を行ってください。
2. 必ず受講料納入届の整理番号（10桁）と氏名を打電してください。
3. 振込完了後の確認画面を印刷したものと受講料納入届の①（大学へ提出用）（p.22参照）をスクーリング受講申請票（OCR用紙）と共に受付期間内に提出してください。振込画面のメール送付は受付できません。

※どの納入方法でも「受講料納入届」(①大学へ提出用)は必ず提出してください。

②本人控え、③銀行用は大学へ提出する必要はありません。

※提出書類に不備・不足がある場合は受付ができません。

※振込整理番号・氏名の打電がない場合も受付ができません。

諸経費納入の際の注意点

- 申請書類の提出は消印有効ですが、受講料の納入は受付期間内に着金していなければ受付ができませんので注意してください。
- 振込整理番号と氏名の打電を忘れずに行ってください。打電が無い場合は申請受付ができない場合があるので注意してください。
- 銀行で発行される「振込金領収書」をもって、本学の領収書にかえますので、大事に保管してください。
- 図書館司書・司書教諭のスクーリング受講料は、授業料に含まれていますので、スクーリング受講料は不要です。

② スクーリング受講申請票

下記の表、スクーリング受講申請票記入方法 (p.25)、スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧 (pp. 3～6) を参考に、スクーリング受講申請票を作成してください。

①スクーリング	本校と地方のどちらのスクーリングを受講するかを区分します。	本校 「0」
②実施期	スクーリングをどの実施期に受講するかを区分します。受講申請票は受講期ごとに1枚作成してください。	1期 「01」 4期 「04」 2期 「02」 5期 「05」 3期 「03」 6期 「06」
③学籍番号	学籍番号を記入してください。	
④氏名(フリガナ)	氏名およびフリガナを記入してください。	
⑤所属	該当者のみ記入してください。	
⑥電話番号	昼間に連絡をとることが出来る番号を記入してください。	
⑦振込票整理番号	受講料納入届にある整理番号を記入してください。	
⑧クラス	今年度、クラス分けはありません。すべて「A」と記入してください。	
⑨教 程	「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)／保育の表現技術(ピアノ)／音楽表現(ピアノ)」を受講する場合のみ記入してください。(こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)／保育の表現技術(ピアノ)／音楽表現(ピアノ)以外の科目では記入しないこと)	こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)／ 保育の表現技術(ピアノ)／ 音楽表現(ピアノ) 第一段階 「1」 第二段階 「2」
⑩科目コード	受講する科目コードは間違いのないよう記入してください。 入学年度により、コードが異なる場合がありますのでよく確認してください。	pp. 3～6 「スクーリング開講科目・科目コード・受講料一覧」参照
⑪科 目 名	科目コードに対応した科目名を記入してください。	
⑫受 講 料	各科目の受講料を記入してください。	
⑬会場コード ⑭会 場 名	会場コードと会場名を記入してください。	姫路大学 「00000」
⑮合 計	受講料の合計金額を記入してください。過不足のないよう、確認してください。	

○スクーリング受講申請票 (OCR用紙) およびスクーリング受講料納入届が不足した場合は、補助教材の追加申込を行ってください。補助教材がお手元に届くまで、補助教材追加申込が本学に到着してから約1週間程度かかります。受付期間に間に合うよう前もって請求してください。

○スクーリング受講申請票 (OCR用紙) およびスクーリング受講料納入届はコピーしたものは無効ですので注意してください。

〔スクーリング受講申請票の記入方法〕

- スクーリング受講申請票はOCR方式です。記入が不正確であれば電算機での判読ができません。そのため、受講申請手続きをしても受講できない場合があります。記入後、必ず確認してください。
- 記入にあたっては、HB以上の鉛筆を使用し正確に記入してください。ボールペンや万年筆は使用しないでください。また、誤って記入した部分を消す場合は、消しゴムであとが残らないようきれいに消してください。
- 枠には数字を正確に記入してください（申請票下部の数字記入例を参照してください）。
- スクーリング受講申請票は、実施期ごとに1枚作成してください。（実施期の異なる科目を1枚の申請票に記入しないでください。）

A 7 1

スクーリング受講申請票

姫路大学 通信教育課程

本校：「0」 ①

学籍番号を記入 ③

「受講料納入届」にある整理番号を記入 ⑦

すべて「A」と記入
こどもと音楽表現Ⅰ（ピアノ）／保育の表現技術（ピアノ）／音楽表現（ピアノ）のみ、段階を記入
科目コードを記入
科目名を記入

実施期を記入 ②

氏名、フリガナを記入 ④

該当者のみ記入 ⑤

電話番号を記入 ⑥

会場コードを記入
本校「00000」

会場名を記入
「姫路大学」

受講料を記入

合計金額を記入 ⑮

No.	クラス	段階	科目コード	科目名	会場コード	会場名	受講料
1	8	9	10	11	13	14	12
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

⑮ 合計

（記入にあたっての注意）

①この帳票はコンピュータで処理するため、折ったり、汚したりしないこと。

②黒鉛筆（HB以上）で記入すること。

③実施期・クラス・科目コード・科目名・会場コード・会場名・受講料は、スクーリングのしおりを参照し、正確に記入すること。

④段階は、「こどもと音楽表現Ⅰ（ピアノ）」の第1段階を受講する場合は「1」を、第2段階を受講する場合は「2」を記入すること。その他の科目を受講する場合は空欄にすること。

記入例 **0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 C**

受	付	処	理

折り曲げ厳禁

OCR提出による受講申請の際の注意事項

スクーリング受講申請の手続きについて

- 受講申請受付期間は厳守です。

受付期間内（受付期間の最終日の消印有効）にスクーリング受講料の納入が完了（着金）し、「受講料納入届」と「スクーリング受講申請票」が本学に到着していなければ受付はできません。書類の不備・不足等があった場合も受付はできませんので返却いたします。その際の連絡方法は、学修サポートサイト(UniVision)での通知とし電話連絡はいたしませんので、余裕をもって申請をしてください。

※納入方法によっては、受講料納入届以外にも提出しなければならない書類があります。pp.21～23を参照し、不備のないよう手続きを行ってください。なお、受付期間前の納入も認めておりません。

- 納入金額に間違いがないかよく確認してください。

受講料については、pp. 3～6を参照して、間違いのないよう納入してください。

納入額に誤りがある場合、提出書類が受付期間内に本学に到着していても、受付は保留となります。受付期間内に所定の金額を納入してください。

3 その他提出書類について 学修サポートサイト (UniVision) による申請、OCR提出による申請共通 (該当者のみ提出)

学修サポートサイト (UniVision) による申請を行った方で、下記の書類の提出が必要な方は、受講申請期間内に郵送で提出してください。OCRによる申請を行う方は他の申請書類と共に提出してください。

① 健康調査書

特に持病のある方や妊娠中の方など、事前に状況を連絡いただいた方が良い方は、スクーリング申請とともに提出してください。

スクーリング期間中はハードなスケジュールとなりますので、健康な方であっても体調を崩すことがあります。特に事情のある人は、医師の診断を受けた上でスクーリングを受講してください。健康調査書作成に当たっては、過去に入院・発作・その他を起こしたことがあります、心配のある方は報告してください。

なお、妊娠中の方が運動や実技を伴う科目を受講することは認めておりません。また、講義科目であっても、産前6週間、産後8週間の期間に該当する場合も受講は認めておりません。

② 上司宛スクーリング依頼状(礼状)送付願

働きながら学ぶ通信教育生がスクーリングに出席するためには、その期間仕事を休まなければなりません。このことに対する各職場の理解は年毎に向上しているとはいうものの、このために休暇を取ることに困難な場合があります。

本学では、このような状況を少しでも改善し、1人でも多くの学生が受講できるよう、職場の上司に対してスクーリングの意義とその必要性を説明し、受講についての特別の理解と援助を求める依頼状を用意しています。

依頼状を希望する人は、本冊子の巻末にある「上司宛スクーリング依頼状(礼状)送付願」に手数料の郵便定額小為替と諸経費納入整理票に返信用封筒(宛名明記、切手添付)を添えて、受講手続きと同時に通信教育事務課まで申請してください。依頼状に加えて礼状を希望する人は、手数料の郵便定額小為替と諸経費納入整理票に返信用封筒2通(宛名明記、切手添付)を添えて申請をしてください。

なお、依頼状・礼状の発行には日数を要します。余裕をもって申請をしてください。礼状は受講申請した全てのスクーリングが終了した後の発行となります。

③ 各種申込書

a) 諸経費納入整理票（3連綴り）

授業概要に「本学にて購入手続」と記載のあるテキストは市販されていないため、「諸経費納入整理票」にて本学で購入手続をしてください。手続については、p.33を参照し各自購入手続を行ってください（スクーリング受付期間内に必ず手続を行ってください）。

なお、購入本は本学では購入できませんので書店にて購入してください。書店にて取り寄せになる場合もありますので、余裕を持って購入を済ませておいてください。

購入本によっては、他の科目の配本テキストとして指定されている場合があります。授業概要および配本テキストをよく確認した上で手続を行ってください。

b) 旅客運賃割引証交付願（正科生のみ）

スクーリングに出席するためにJR線を利用する場合、居住地の最寄駅から会場の最寄駅までの片道が100km以上の場合に限り、学生運賃割引証（学割証）を発行いたします。手続については学習（修）便覧を参照し、学習（修）便覧巻末の様式集、または本学ホームページ掲載の「旅客運賃割引証交付願」にて申込をしてください。

※ スクーリング受講申請受付期間内に、申込をしてください。受付期間外の提出は、学生運賃割引証（学割証）を発行することができません。

c) 実習用通学証明書（正科生のみ）

利用にあたっては、居住地の最寄駅から会場の最寄駅までの1ヵ月定期券とします。ただし、有効期間が1ヵ月であっても、スクーリング参加日のみの利用となり、参加日以外に利用することはできません。手続については学習（修）便覧を参照し、巻末および本学ホームページ掲載の「実習用通学証明書発行願」にて申込をしてください。

※ スクーリング受講申請受付期間内に、申込をしてください。

V. スクーリングについて

1. 受講方法

正科生のスクーリングは4年間の履修計画に基づいて学年別に開講科目を決めています。したがって、正科生は学年別に配当されている科目を受講することになります。

ただし、前の学年で履修すべき科目が未申請、未修得である場合は次の学年で受講することができます。たとえば、1年次配当科目のスクーリングに出席できなかった場合に、次の年次で受講することができます。なお、科目等履修生は配当年次に関係なく受講することができます。また、日程が重複している場合は、どちらか一方のみの科目しか受講することができません。

〔正科生に関する留意事項〕

1年次入学生は30単位以上、3年次編入生は15単位以上のスクーリング単位が卒業要件として必要となります。

また、卒業の3ヵ月前までに必要な単位が揃っていない場合は、卒業ができませんので計画的に受講してください。

〔教員免許取得希望者に関する留意事項〕

教員免許取得希望者は、それぞれの免許ごとに必修科目がありますので、入学年度のカリキュラムをよく確認して履修してください。

2. 卒業との関連について

〔令和7年9月卒業予定（正科生）の方〕

令和7年9月卒業予定の方は、令和7年度本校スクーリングを受講することができません。（令和7年度本校3期スクーリング（7月）をのぞく）

〔令和8年3月卒業予定（正科生）の方〕

令和8年3月卒業予定の方は、令和7年度本校1期スクーリング（8月～9月）、令和7年度本校4期スクーリング（11月）が最終となります。

〔令和8年9月卒業予定（正科生）の方〕

令和8年9月卒業予定の方は、令和7年度本校2期スクーリング（2月～3月）、令和8年度本校3期スクーリング（7月（予定））が最終となります。

3. 受講準備

各科目の授業概要を確認し、購入本や持参品等の準備をしてください。購入本は受講前に必ず一読してください。また、配本されているテキストがある場合は必ず持参してください。(印刷・面接科目の配本テキストも同様です。)配本テキストも受講前に一読し事前学習をしてください。

また、科目によっては体育館シューズやリコーダーを持参しなければなりませんので、前もって準備をしてください。

4. 受講にあたっての注意事項

科目によっては1日(5コマ)、1.5日(7.5コマ)、3日(15コマ)と開講日数が異なりますが、いずれの場合も配当されている日数は全て受講しなければなりませんので、開講科目の予定する日数の一部だけに出席してもスクーリング単位を修得することはできません。個人の都合による授業時間の短縮はいかなる理由があっても一切認めません。

また、スクーリングを受講申請している方以外の方のスクーリングの受講は認められません。例) お子様と一緒に受講はできません。

5. 単位認定試験について

- (1) この試験は、各科目スクーリング終了後に行いますので、受講生は必ず全員受験してください。ただし、科目によっては、演習・実技や作品をもって「単位認定試験」にかえる場合があります。
- (2) 単位認定試験を受験する際には、必ず机の上に学生証(身分証明書)を呈示してください。ない場合は受験が認められませんので、必ず持参してください。
- (3) 答案用紙には、必ず科目名ならびに学籍番号と氏名を記入してください。
- (4) 面接科目および印刷・面接科目は、スクーリング終了後に行われる単位認定試験をもって科目試験にかえますので、改めて科目試験を受験する必要はありません。
- (5) 受講したスクーリング科目が不合格となった場合や欠席した場合は、その科目のスクーリングを改めて受講しなければなりません。

6. 授業時間について

	時 間 帯
午前授業	9：00～13：00
午後授業	14：00～18：00
全日授業	9：00～18：00

- (1) 定められた授業時間は全時間受講することが必要です。
- (2) 各教科の授業開始より30分以上の遅刻は「欠席」となりますので、時間に余裕を持って出席してください。早退は認めておりませんので、早退の場合は「欠席」となります。また、各教科の授業に30分以上にわたり出席できなかった場合も「欠席」扱いとなります。
- (3) 授業開始時には入室、着席しておいてください。遅刻になりそうな場合は通信教育事務課まで連絡してください。連絡のない遅刻については、受講が認められない場合があります。
- (4) 公共交通機関の遅れによって授業開始に間に合わなくなった場合は、通信教育事務課まで連絡してください。その場合、必ず遅延証明を提出してください。遅延証明の提出により、授業途中からの受講を認める場合があります。
- (5) 遠隔(オンライン)授業において、いかなる理由があろうとも通信が30分以上途切れた場合、また、長時間にわたって受講実態が確認できない場合、スクーリングは「欠席」扱いとなります。不具合により受講できないことに対し、補償(受講料の返金等)や再受講の対応は行っておりません。

7. 気象警報による休講措置について

○対面授業の場合

「対面」でスクーリングを受講する場合、スクーリング・ガイダンス当日に各会場所在地に以下の警報が発令された場合の取り扱いは下記の通りとします。なお、気象警報が発令された場合、電話連絡は行いませんので各自でご確認ください。

「暴風警報」、「大雨・洪水警報」

※「大雨・洪水警報」は、大雨警報および洪水警報が同時に発令されている場合に限ります。

◆午前(9時)からのスクーリング……午前7時時点

◆午後(14時)からのスクーリング……正午時点

上記の通り、警報が発令された場合、スクーリングは中止とします。(9時からのスクーリングは終日中止とします。) 振替等の措置については後日通知しますので、再度手続きを行ってください。

スクーリング会場所在地に警報が発令されていなくとも、自宅周辺に警報が発令され

ている場合や、指定する時間より早く自宅ならびに宿泊先を出発しなければならない場合もあると思いますが、決して無理をしないよう、安全を第一に考え行動してください。

講義中に警報が発令された場合もスクーリングは中止となります。この場合も、振替等の措置は後日連絡します。

○遠隔(オンライン)授業の場合

「遠隔(オンライン)」でスクーリングを実施する場合は前項の気象警報の発令にかかわらず、スクーリングを実施します。ただし、「来校し、本学の通信機器を使用して遠隔(オンライン) 授業を受講」する学生は事務にご相談ください。

8. 交通費および宿泊費について

- (1) 正科生のみ、学生運賃割引証および実習用通学証明書の発行が可能な場合があります。学習(修)便覧および本書の「その他提出書類について」(p.28)をよく確認し、申込を行ってください。
- (2) 宿泊施設の斡旋等はありません。
- (3) 気象警報、講師の体調不良等による休講およびスクーリング受講不許可になった場合の宿泊費・交通費等につきましては、本学では保障いたしかねますので、ご了承ください。

9. 授業中の心得について

- (1) 授業開始時には入室、着席しておいてください。
- (2) 授業中の私語は禁止します。
- (3) 授業中は携帯電話の電源を切ってください。
- (4) 受講態度の悪い者は受講を取り消し、即刻退室させることがあります(受講料は返金しません)。
- (5) 授業教室以外の教室には、許可なく入室しないでください。

10. 結果通知について

スクーリング終了後、印刷単位を含まない科目は、受講態度や単位認定試験の成績に基づき単位が認定されます。成績は下記の通り、〔S、A、B、C、D〕の記号で通知します。

結果がDの場合は不合格ですので、合格するまで再受講しなければなりません。(再受講の際は、再度申請手続きが必要です)。

スクーリング結果は、学修サポートサイト(UniVision)にて確認してください。

成績	素点	合否
S	100~90点	合格
A	89~80点	
B	79~70点	
C	69~60点	
D	59~0点	不合格

※成績に関するお問い合わせには応じることができません。

〔注意〕

印刷・面接科目は、スクーリング終了後に行われる単位認定試験をもって科目試験にかえますので、改めて科目試験を受験する必要はありません。

11. 購入本の準備について

- (1) 授業概要に購入本が記載されている場合、購入本を各自で購入する必要があります。本学図書館での借り出し、窓口での購入はできませんので、必ず事前に購入して持参してください。購入本を持参しない場合、スクーリングの受講が認められない場合があります。
- (2) 「本学にて購入手続き」のテキストは市販されていないため、スクーリング受講申請時に本学で購入手続きを行う必要があります。テキストによっては、他の科目の配本テキストに指定されているものもありますので、授業概要およびお手持ちの配本テキストをよく確認した上で手続きを行ってください。
- (3) 購入本は本学では購入できませんので書店にて購入してください。入手が難しい書籍もありますので、余裕をもって購入しておく必要があります。
- (4) 印刷・面接科目の配本テキストはスクーリング時に必ず持参してください（印刷単位が含まれる科目には、配本テキストがあります）。
- (5) 購入本・配本テキストは受講前に必ず一読した上でスクーリングを受講してください。

〔本学にて購入手続き時に必要な書類〕

スクーリング受講申請受付期間内に下記の書類を郵送してください。

※「本学にて購入手続き」のテキストのみ、本学で購入可能です。購入本は書店にて購入してください。

① 諸経費納入整理票 (3連続り)	「学習(修)便覧」巻末、「スクーリングのしおり・授業概要」巻末にあります。 本学ホームページより様式集のダウンロードが可能です。
② 普通為替・定額小為替	郵便局にて購入してください。 本学からの返金はできませんので、お釣りの出ないようにテキスト代金合計分を購入してください。

12. 欠席届の提出について

- ① 受講手続きが完了した後、欠席する場合は、必ず巻末の「スクーリング欠席届」を提出してください。
- ② 欠席届が所定期日までに提出された場合に限り、手数料1,000円を差し引いて返金します。(図書館司書・司書教諭のスクーリング科目の返金はありません。)

【欠席届の提出方法】

下記の方法によって受講科目初日の前日17:00までに欠席の連絡があった場合は、手数料1,000円を差し引いて、銀行振込にて返金を行います。内訳の通知はおこないませんので、各自欠席届の控えを保管してください。連絡方法・提出物・時間などをよく確認してください。

下記に記載している方法以外での欠席連絡は、返金対象となりませんので注意してください。

<p>郵送で スクーリングの欠席を連絡する場合</p>	<p>「<u>欠席届</u>」・「<u>納入経費返還願</u>」を郵送。 (受講科目初日の<u>前日17:00</u>までに通信教育事務課必着。) 【郵送先：〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町2042番2】</p>
<p>FAXで スクーリングの欠席を連絡する場合</p>	<p>「<u>欠席届</u>」をFAXにて送信。 (受講科目初日の<u>前日17:00</u>までに通信教育事務課必着。) FAX送信後、3日以内に「<u>欠席届</u>」の原本・「<u>納入経費返還願</u>」を郵送。 【FAX送信先：079-247-7394】</p>
<p>メールで スクーリングの欠席を連絡する場合</p>	<p>①学籍番号②氏名③欠席するスクーリングの科目名・日程をメールにて送信。(受講科目初日の<u>前日17:00</u>までに通信教育事務課必着。) メール送信後、7日以内に「<u>欠席届</u>」・「<u>納入経費返還願</u>」を郵送。 【メール送信先：kyoiku@koutoku.ac.jp】</p>

※「納入経費返還願」は記入誤りのないように正しく記入してください。誤記入により返金処理ができなかった場合、本学では責任を負いかねますのでご注意ください。

注意

- (1) スクーリング欠席届が期間外に通信教育事務課に到着した場合は、受理しません。

- (2) 欠席届の原本は、左記の定められた期間内に送付してください。原本がない場合、期日までに送付されない場合は、返金することはできません。
- (3) 納入経費返還願を必ず記入して提出してください。記入（提出）なき場合は返金しませんので十分注意してください。なお、同一期に2回以上欠席届を提出する場合、納入経費返還願は1通のみの提出でかまいません。（図書館司書・司書教諭のスクーリングを欠席する際は同封不要です。）
- (4) 電話での欠席連絡は返金対象となりません。
- (5) 返金については、各スクーリング実施期終了後に担当教員より成績報告票を受取り、欠席確認等の事務処理をした後となるため、返金が遅くなりますのでご了承ください。各スクーリング期間終了後、約2カ月程度かかります。
- (6) 一度受講申請を取り消した科目については、申請期間であっても同一スクーリング期間に再度申請を行うことはできません。（欠席届の取り下げはできません。）

〔納入経費返還願の記入方法〕

記入見本

スクーリング欠席用

納入経費返還願

さきに貴大学教育学部通信教育課程に経費を納入いたしましたが、このたび納入経費を返金くださるようお願い申し上げます。

学籍番号	C12345678		
フリガナ	ヒメジ ハナコ		
氏名	姫路 花子		
返還金の振込銀行 および口座番号	●●●●	銀行 信用金庫	●●●●
	普通預金（総合口座）		支店
	当座預金		いずれかに○印 口座番号 ●●●●●●●●
	フリガナ	ヒメジ ハナコ	
口座名義人	氏名	姫路 花子	
※本人名義でない口座の場合は続柄を記入してください。続柄：本人			

※口座名義および口座番号は間違いないよう記入してください。

令和 ● 年 ● 月 ● 日

姫路大学 教育学部
通信教育課程長 殿

住所 〒 671-0101
●●県●●市●●町××番×号

氏名 姫路 花子

電話番号 ●●●●-●●●●-●●●●

受付

普通預金（総合口座）、当座預金のいずれかに「○」を記入してください。

学籍番号・氏名を記載してください。

銀行名・支店名、口座番号、口座名義人（氏名・フリガナ）、口座名義人との続柄を記入してください。

住所、氏名電話番号を記入してください。

13. 「遠隔(オンライン)」スクーリング受講について

【遠隔授業申請について】

スクーリング受講申請期間内に右記二次元コードより遠隔授業受講申請フォーマットを入力してください。「遠隔授業」にて受講する全ての科目について入力が必要です。提出のない場合はスクーリングを受講することはできません。



【受講必要環境】 受講に必要なPC環境は下記の通りです。

OS：Windows10

※MacOSでも受講は可能ですが、操作方法等ご自身で確認してください。

アプリケーション：Word2016、Excel2016、Adobe Acrobat Reader DC（最新版）

※前後1つ程度のバージョン違いがあっても受講することは可能ですが、授業は原則上記のバージョンで行いますので、環境の違いに関する質問には授業内で回答することができない可能性があります。ご自身の受講環境で使用しているアプリケーションソフトの操作方法に読み替えて操作できるよう、事前に準備してください。

周辺機器：Webカメラ、マイク（周囲の環境により、イヤフォン）

【遠隔授業受講要件】

※①～⑥の条件を満たすことができる場合のみ学校以外の場所で遠隔授業の受講が可能です。1つでも満たすことができない項目がある場合、来校し大学の通信機器にて遠隔授業を受講してください。

- ①遠隔授業に使用する機器（パソコン・スマートフォン・タブレット等）は、カメラ・マイク・スピーカーの機能がすべて備わっており、使用が可能な状態である。
- ②長時間の受講に耐え得るネットワーク環境を準備できる。（通信速度制限のないWi-Fi等がある。）遠隔授業中は、1科目につき1日半以上にわたり、動画および音声の大量のデータのやりとりが行われます。
- ③オンライン授業を受講するためのツールやネットワークの設定に関する理解があること。本学では個別のツールの使用方法についてはお答えできませんので、使用するツールのことでわからないことがあれば、ご自身で調べてください。
- ④受講する科目に別途（追加で）受講要件、準備物（p.13～16参照）が定められている場合、その要件も満たすことができる。
- ⑤使用を予定しているツールのアプリを必要に応じてダウンロードしている。
- ⑥終日発言が可能な場所で遠隔授業を受講できる。

遠隔授業では、必要に応じて教員からの問いにマイクを使って回答していただきます。科目によっては楽器などを使用する必要もあります。①、②の条件を満たしていても、発言が自由にできない場所（図書館等）では受講できませんので、ご注意ください。

【受講環境が整わない場合】

自宅等で遠隔授業を受講する環境を整えることが難しい場合や特段の事情で学生本人が希望する場合来校し、大学の通信機器を使用して遠隔授業を受講していただくことが可能です。その場合、事前に大学へ遠隔授業受講申請フォーマットにて申請が必要となります。「遠隔授業受講申請フォーマット」にて申請をしていない科目については、大学の通信機器を使用して受講することはできませんのでご注意ください。

また、大学の通信機器を使用される場合でも Google Meet ならびに Google Classroom の使用方法は必ず確認しておいてください。

【担当教員オリエンテーションについて】

受講予定の科目に教員によるオリエンテーションがある場合、必ず受講してください。(対象者は受講者全員です。大学で受講される方もオリエンテーションの受講が必要です。受講しない場合、スクーリングの受講が認められませんので、ご注意ください。(当日の受講方法や事前課題等についての説明があります。))

【動作確認について】

大学以外の場所で遠隔授業の受講を予定している方は、スクーリング受講日当日と同じ環境での動作確認への参加を推奨します。希望者は以下の日程にご参加ください。(遠隔授業受講申請者全員、動作確認用の Google Classroom へ招待を行います。当日使用する URL は Google Classroom 内で発表します。) スクーリング当日、不具合等により受講できないことに対し、補償や再受講の対応は行いません。少しでも不安のある場合は必ず参加してください。

●動作確認実施日●

○ Google Meet ○

本校 1 期 [1] 令和 7 年 7 月 19 日 (土) 10:00~12:00

本校 2 期 [2] 令和 8 年 1 月 24 日 (土) 10:00~12:00

○ Zoom ○

本校 1 期 [1] 令和 7 年 7 月 19 日 (土) 10:00~12:00

本校 2 期 [2] 令和 8 年 1 月 24 日 (土) 10:00~12:00

【遠隔授業実施中の問い合わせについて】

個々の環境に起因する不具合、操作方法等における問い合わせについては回答できません。事前に使用環境、操作方法等をしっかりと確認しておいてください。教員に質問等がある場合は授業中に質問を行うか、事前に質問票や質問メール、Google Meet 内でのチャットを使用してください。

【遠隔授業連絡事項送信について】

遠隔授業に関する全ての連絡事項は、大学公式の Google メールアドレス (アカウン

ト) ならびに Google Classroom へ通知します。必ず確認してください。

【Google Classroomについて】

遠隔で実施する全ての科目について Google Classroom を作成、使用します。受講申請された方を授業開始日までに招待しますので必ず承認してください。授業中に使用する資料は教員が Google Classroom 内で提示します(一部の科目を除く)。また、スクーリング中に行う試験や提出物等も Google Classroom の「授業」機能等を使用して提出します(一部の科目を除く)。Google Classroom の使用方法を必ずご確認ください。

【授業URLについて】

授業で使用する URL は Google Classroom で発表しますので遠隔授業を受講される方は、招待メールを確認し、受講日当日までに Google Classroom へ必ず入室してください。スクーリング当日は授業開始時間の 5 分前を目安に Google Meet へ入室してください。

【欠席について】

各教科の授業開始時間より**30分以上の遅刻は「欠席」と**なります。また、授業の途中においても、いかなる理由があろうとも**通信が30分以上途切れた場合**また、長時間にわたって受講実態が確認できない場合、スクーリングは「欠席」扱いとなります。不具合により受講できないことに対し、補償(受講料の返金等)や再受講の対応はありません。

【遠隔授業受講時の制限、禁止事項】

- 1) 教職員と学生間のプライベートチャット、通話等による連絡
- 2) 相互に了解しない状態での学生同士の連絡
- 3) その他授業目的に合致しない行為
- 4) 学生による録音、録画、画面キャプチャ、スクリーンショット
- 5) 自身が学習する目的以外での、システム(コンテンツ)の利用

【遠隔授業受講における注意について】

対面授業において認められない行為は遠隔(オンライン)授業においても認められません

遠隔授業は、通常の対面授業を受講する心がまえで臨んでください。

遠隔(オンライン)授業は自宅など普段授業を受講する学校の教室とは別の場所で行うこととなりますが、大学の教室で受講する際と同じ心構えで受講してください。

Ⅵ. 持参品について

詳細については、授業概要に掲載しておりますので、ここでは基本的なことについて記載します。

授業に 関するもの	配本テキスト	印刷・面接科目の場合
	購入本（テキスト）	授業概要を確認し、各自事前に購入しておく必要があります。
	授業に必要な用具	<ul style="list-style-type: none"> • 筆記用具 • 「スポーツ（実技）」等の運動をする科目を受講する人は、運動に適した服装（トレーニングウェア）、運動靴（体育館用シューズ）を準備すること。 • その他科目によって必要なものについては、授業概要を参照してください。
各種手続き等 に関するもの	スクーリングのしおり	
	学生証（科目等履修生・特修生は身分証明書）	スクーリング受講および単位認定試験の際に必要なとなります。
	学生証（身分証明書）	
	スクーリング受講許可証	
日常に 関するもの	健康保険証	
	常備薬	
その他	教室は冷暖房完備ですが、感じ方には個人差がありますので各自温度調整できるもの（ひざかけ等）を用意してスクーリングに臨んでください。	

※本誌でいう「身分証明書」は、本学が科目群履修生、科目別履修生、特修生に対し発行したものをいいます。

Ⅶ. 学内生活に関する事項

1. 校舎内の出入りについて

夜間や日曜・祝日の校舎の警備は、警備会社に委託しているため、次の時間以外は校舎への出入りはできませんので注意してください。

		月～金曜	土 曜	日曜・祝日
スクーリング 期 間 中	入校開始時刻	8：00	8：00	8：00
	最終下校時刻	20：00	18：30	18：30
スクーリング 期 間 外	入校開始時刻	8：00	8：00	
	最終下校時刻	20：00	16：00	

※その他学内の行事等で変更する場合があります。

2. スクーリング中の通学方法について

原則、公共交通機関を利用してください。

自動車で通学をする場合は、必ず自動車入講許可証を守衛室で見せてから、学生用駐車場に駐車してください。(教職員用駐車場には駐車できません。)

駐車中は、入講許可証を車外から見える場所に置いてください。夜間の駐車はできませんので、自動車を学内に駐車したまま帰宅しないでください。

3. 学生証の携帯について

学生証(身分証明書)は、常に携帯することが必要です。特に、スクーリングの受講、科目試験の受験、乗車券の購入および検札の際等には呈示を求められますので、必ず携帯してください。スクーリング受講期間中に、在籍延期手続きのため本学へ学生証(身分証明書)を返却する場合は、事前にコピーをとってください。

4. 図書館の利用について

大学の授業は、単に講義を聞きテキストを学ぶだけでは充分とはいえません。それに関連した参考図書を広く読む必要があり、そのためにも図書館の利用が望まれます。

図書館の利用時間は次の通りです。

◎開館時間

月～金曜 9：00～20：00 土曜 9：00～16：00

※開館時間は学内の行事等により変更となる場合があります。スクーリング期間中の開館日時は、学修サポートサイト(UniVision)でお知らせします。

また、本学のホームページからも図書館の開館日時を確認できますので、確認してください。

5. 掲示板

スクーリング期間中の学生への連絡は、原則として掲示により行いますので、登校・下校の際は必ず新2号棟エントランスの電子掲示板を確認してください。

本学では、掲示した事柄はすべての学生に周知徹底したものとして扱い、掲示を見なかったために生じた不都合は本人の責任とします。

また、スクーリング当日は必ず掲示を確認し、各自初日集合場所に移動してください。スクーリング中の移動教室については、教員の指示に従ってください。

外部からの電話に対する呼出しはできません。

6. ピアノの使用について

スクーリング受講期間中、練習のために大学のピアノを使用するにあたっては、練習室の関係で多数の学生の希望を同時に満たすことができません。使用時間を1人1日につき30～60分間として、できるだけ多くの学生がピアノを使用できるよう心がけてください。(希望者は、新2号棟4階のピアノレッスン室使用管理簿に必要事項を記載し、使用してください。空いている部屋を使用してください。)

7. 健康管理室について

学内には健康管理室を設けていますが、スクーリング期間中、保健師が不在場合があります。したがって、スクーリング中の健康には十分留意してください。特に、持病のある学生は体調を整えてスクーリングに臨んでください。

また、「健康保険証」を全員必ず持参してください。「健康保険証」を忘れて通院した場合は実費支払いとなります。なお、「健康保険証」のコピーは使用できませんので、留意してください。

8. 体育館について

体育館では、必ず運動靴(体育館用シューズ・上履き)を使用してください。

「運動のできる服装」など、服装に指定がある科目のスクーリングを受講する場合は、事前に指定された服装に着替えた状態で、集合場所に入室してください。

9. 貴重品の取扱いについて

貴重品は各自責任をもって保管または携帯してください。教室等に放置することはないでください。貴重品の紛失・盗難等につきましては、本学では一切責任を負いかねます。

10. 食堂・売店について

スクーリング期間中は原則営業していますが（土日祝のぞく）、一部営業のない日もありますので、営業日および営業時間については、掲示板で確認してください。営業のない日にスクーリングを終日受講する際は、昼食を持参してください。

11. 本校スクーリング中の窓口業務の取扱いについて

受付時間 8：30～18：20

土曜・日曜・祝日は担当者の出勤を当番制にしていますので、願い出や相談はできるだけ平日を利用してください。

なお、データの印刷・コピー・文房具の貸し出しには対応できません。データの印刷やコピーは情報処理室およびコピー機等をご利用ください。文房具は売店をご利用ください。

12. 学内での喫煙について

学内での喫煙は決められた喫煙所をお願いします。

13. 健康管理上の注意事項について

- (1) 保健・衛生に心がけ、生水・生ものはできるだけ飲食しないでください。また、常に手洗い・うがいをするよう心がけてください。
- (2) 健康調査書（本誌巻末）の提出について

特に持病のある方や妊娠中の方など、事前に状況を連絡いただいた方が良い人は、スクーリング受講申請書類とともに提出してください。

スクーリング期間中はハードなスケジュールとなりますので、健康な方であっても体調を崩すことがあります。特に事情のある人は、医師の診断を受けた上でスクーリングを受講してください。

なお、妊娠中の方が運動や実技が伴う科目を受講することは認めておりません。また、講義科目であっても、産前6週間、産後8週間の期間に該当する場合も受講は認めておりません。

また、健康調査書作成に当たっては、過去に入院・発作・その他を起こしたことがあれば、報告してください。

VIII. 教育(養護)実習事前・事後指導 スクーリングについて

平成28年度以降の入学生（平成29年度3年次編入生を除く）は、教育（養護）実習事前指導スクーリングおよび事後指導スクーリングの受講が必要です。

1. 履修方法

【教育(養護)実習事前指導】 スクーリング（本校1期、本校2期）

実習を実施するにあたって、事前にスクーリングを受講してください。スクーリングを受講するためには、受講申請受付期間内に申請が必要です。

スクーリングは、事前に配本されるテキストをよく読み臨んでください。また、スクーリングで課される課題について、スクーリング終了後2週間以内にレポートを作成してください。（レポート評価票は、「教育実習（小学校）事前指導レポート」「教育実習（幼稚園）事前指導レポート」「養護実習事前指導レポート」と記入してください）。2週間を過ぎて提出された場合は受付しません。その場合は再受講となります。

【教育(養護)実習事後指導】 スクーリング（本校3期、本校4期）

実習終了後、直近で実施されるスクーリングを受講してください。スクーリングを受講するためには、受講申請受付期間内に申請が必要です。なお、受講料はかかりませんので、納入手続きは不要です。

※スクーリング受講時、実習簿を持参してください。

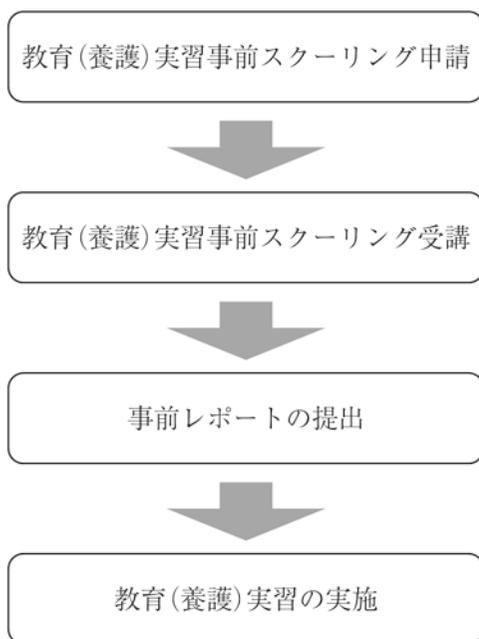
【教育(養護)実習事後指導レポートの作成方法】

- 本学のレポート作成のルールに従って作成し、実習簿と合わせて提出してください。設題が2つある場合でも1つにまとめて提出してください。
- 各科目名には「教育実習（小学校）事後指導レポート」「教育実習（幼稚園）事後指導レポート」「養護実習事後指導レポート」と記入してください。
- 各レポート設題についてはレポート設題集に掲載していますので、確認してください。

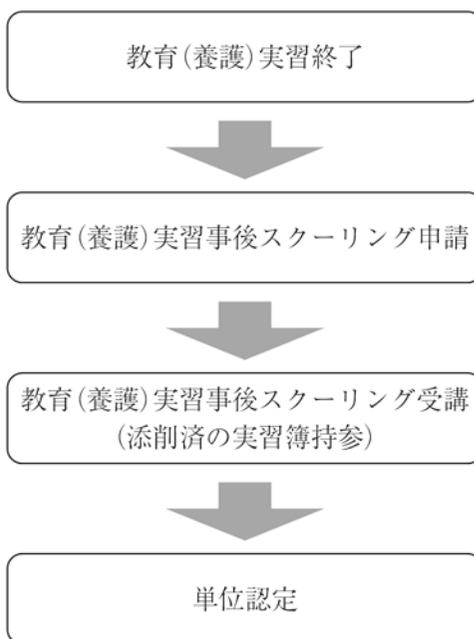
※上記の教育(養護)実習事前指導および事後指導の両方が合格し、「教育(養護)実習事前・事後指導」の成績が確定となります。

2. 教育(養護)実習事前・事後指導スクーリングの流れ

○事前スクーリングの流れ



○事後スクーリングの流れ



※上記の教育(養護)実習事前指導および事後指導の両方が合格し、「教育(養護)実習事前・事後指導」の成績確定となります。

3. 「教育(養護)実習事前・事後指導」(事後指導スクーリング)

開講日程および受講申請受付期間 (OCR提出による申請)

	科目名	実施方法	日程	受付期間(有効期限)
本校3期	養護実習事前・事後指導 (事後指導)	対面	令和7年7月5日(土) 9:00~12:00	令和7年5月23日(金) ~6月3日(火)
	教育実習事前・事後指導(幼稚園)事後指導 教育実習事前・事後指導(小学校)事後指導	対面	令和7年7月12日(土) 9:00~12:00	
本校4期	養護実習事前・事後指導 (事後指導)	対面	令和7年11月1日(土) 9:00~12:00	令和7年9月25日(木) ~10月6日(月)
	教育実習事前・事後指導(幼稚園)事後指導 教育実習事前・事後指導(小学校)事後指導	対面	令和7年11月8日(土) 9:00~12:00	

※受講を希望する日程の受付期間内に「スクーリング受講申請票」を提出してください。

※学修サポートサイト(UniVision)による受講申請手続はpp.16~19をご確認ください(申請期間が異なります)。

Ⅸ. 教職実践演習のスクーリング開講日程 および申請について

1. 「教職実践演習」について

【概要】

教職実践演習は、当該演習を履修する者の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するものです。

教職課程での様々な活動を通じて学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され形成されたかについて、姫路大学が目指す教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するものであり、いわば免許課程全体を通じた「学びの軌跡の集大成」としています。学生はこの科目を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待されます。

【履修方法】

「教職実践演習」の履修方法は、印刷・面接授業です。スクーリング1.5日とレポートの提出を行い、どちらも合格で単位の修得となります。

2. 「教職実践演習」の履修の流れについて

- ① 教育(養護)実習の終了・履修カルテの作成 (履修カルテは在学(籍)中、学習の進捗に応じて随時作成してください。)
- ↓
- ② スクーリングの受講申請
- ↓
- ③ スクーリングの受講
※履修カルテを作成・持参していない場合、スクーリングは受講できません。
- ↓
- ④ レポートの提出
※スクーリング終了後2週間以内に提出
「教職実践演習」のレポートについては、スクーリングの受講・合格が確定した方のみ、レポートの採点が可能になります。スクーリングを欠席・不合格となった場合は、次回のスクーリングを受講し、レポートの提出が必要となります。
- ↓
- ⑤ ③と④の合格で単位認定

3. 「教職実践演習」スクーリング開講日程および受講申請受付期間 (OCR提出による申請)

	科目名	実施方法	日程	受付期間(有効期限)
本校3期	教職実践演習(養護)	対面	令和7年7月5日(土)14:00~18:00 令和7年7月6日(日)9:00~18:00	令和7年5月23日(金) ~6月3日(火)
	教職実践演習/ 教職実践演習(幼・小)	対面	令和7年7月12日(土)14:00~18:00 令和7年7月13日(日)9:00~18:00	
本校4期	教職実践演習(養護)	対面	令和7年11月1日(土)14:00~18:00 令和7年11月2日(日)9:00~18:00	令和7年9月25日(木) ~10月6日(月)
	教職実践演習/ 教職実践演習(幼・小)	対面	令和7年11月8日(土)14:00~18:00 令和7年11月9日(日)9:00~18:00	

上記受付期間内にスクーリング受講料の納入が着金し、「受講料納入届」と「スクーリング受講申請票」が大学に到着していなければ受付できません。(受付期間の前・後に入金しないでください。スクーリングの申請が受理できません。)

納入方法によっては、受講料納入届以外にも提出しなければならない書類があります。pp.21~23を参照し、不備のないよう手続きを行ってください。

受付締切は受付期間最終日の消印有効です。期間外の申請は理由を問わず受付ができません。
※学修サポートサイト(UniVision)による受講申請手続はpp.16~19をご確認ください(申請期間が異なります)。

4. 実習との関連について

教職実践演習の開講日までに実習が終了する見込みの場合、受講受付期間内に必ず受講申請を行ってください。受講申請受付期間に実習が終了している必要はありません。いかなる場合であっても、受講申請期間終了後の受講申請は受付ができませんので、ご注意ください。

また、教職実践演習の受講には実習簿が必ず必要となりますので、実習終了が教職実践演習開講直前になる予定の方は、本学までご連絡ください。

5. 修了・卒業との関連について

教職実践演習が本学で受講する最終の科目となる方は、下記をご確認ください。

- ・教職実践演習受講後、修了予定の科目群履修生

教職実践演習の成績が確定したことを確認してから、修了または在籍延期の手続きを行ってください。在籍延期料の振込後、教職実践演習の合格発表があり、修了の手続きを行っても、一度振り込まれた在籍延期料は返金できませんので、ご注意ください。

- ・教職実践演習受講後、卒業予定の正科生

卒業に関する手続きにつきましては、教職実践演習を受講および合格する見込みで、各期限内に行ってください。詳しくは、しらせぎ通信をご確認ください。

なお、教職実践演習を欠席および不合格となった場合、卒業は不可となりますので、ご注意ください。

X. 「音楽表現(ピアノ)」/「保育の表現技術(ピアノ)」/「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)」スクーリング日程及び申請について

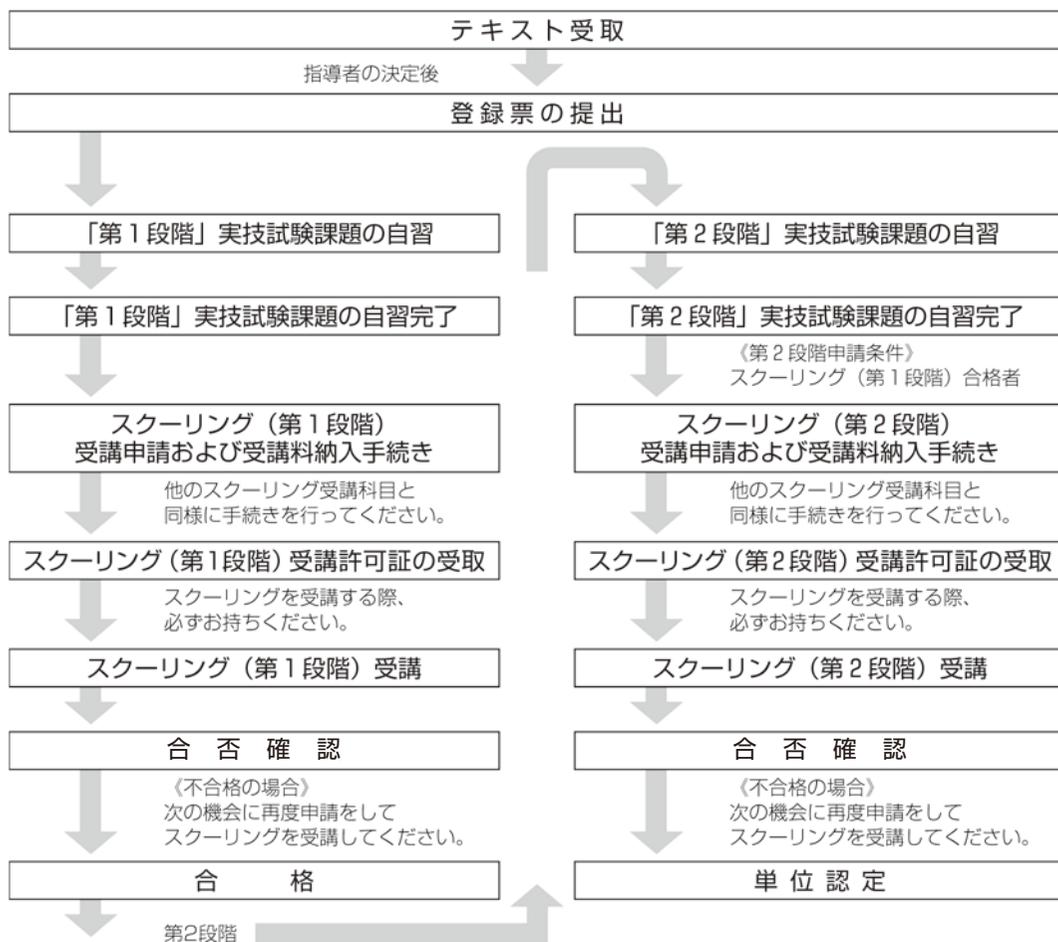
1. 「音楽表現(ピアノ)」/「保育の表現技術(ピアノ)」/「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)」の履修の流れについて

「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)」/「保育の表現技術(ピアノ)」/「音楽表現(ピアノ)」については、段階(グレード)制をとっています。スクーリング受講前に登録票の提出が必要になるほか、第1段階に合格しなければ、第2段階を受講することができません。

下記の履修の流れをよく確認した上で手続きを行ってください。

令和元年度より、学習報告書の提出は不要となっています。

音楽表現(ピアノ)/保育の表現技術(ピアノ)/こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)履修の流れ



2. 「音楽表現（ピアノ）／保育の表現技術（ピアノ）」スクーリング開講日程および受講申請受付期間

	科目名	実施方法	日程	受付期間（有効期限）
本校5期	音楽表現（ピアノ） 第1段階/第2段階 保育の表現技術（ピアノ） 第1段階/第2段階	対面	令和7年7月27日（日） 9:00～18:00	令和7年6月12日（木） ～6月23日（月）
本校6期	音楽表現（ピアノ） 第1段階/第2段階 保育の表現技術（ピアノ） 第1段階/第3段階	対面	令和8年3月1日（日） 9:00～18:00	令和7年11月23日（日） ～12月10日（水）

第1段階と第2段階は同日に開講します。（同じ受講者が同日に第1段階、第2段階を受講することはできません。）

上記受付期間内にスクーリング受講料の納入が完了し、「受講料納入届」と「スクーリング受講申請票」が大学に到着していなければ受付できません。（受付期間の前・後に入金しないでください。スクーリングの申請が受理できません。）

納入方法によっては、受講料納入届以外にも提出しなければならない書類があります。pp.21～23を参照し、不備のないよう手続きを行ってください。

受付締切は受付期間最終日の消印有効です。期間外の申請は理由を問わず受付ができません。

※学修サポートサイト（UniVision）による受講申請手続はpp.16～19をご確認ください（申請期間が異なります）。

音楽表現（ピアノ）／保育の表現技術（ピアノ）の受講申請をする前に

① 第1段階を受講する方

●登録票は提出しましたか？

スクーリング受講申請受付期間の締切日（消印有効）までにテキスト巻末とじ込みの登録票の提出がない場合は受付ができません。早めの準備をお願いします。

② 第2段階を受講する方

●第1段階は合格していますか？

第1段階を合格しない限り第2段階を受講する資格がありません。

また、ピアノ経験者であっても、第1段階を合格しなければ、第2段階を受講することはできません。

3. 「音楽表現(ピアノ)」／「保育の表現技術(ピアノ)」／「こどもと音楽表現 I (ピアノ)」の受講申請方法(OCRによる受講申請)

「こどもと音楽表現 I (ピアノ)」／「保育の表現技術 (ピアノ)」／「音楽表現 (ピアノ)」を受講するには、各実施期ごとに定められている受付期間内に受講申請を行ってください。申請に必要な書類は下記を参照してください。(受付期間より早くとも遅くとも受理できませんので注意してください。)

「音楽表現 (ピアノ)」／「保育の表現技術 (ピアノ)」／「こどもと音楽表現 I (ピアノ)」スクーリング受講申請時の提出書類一覧	
①受講料納入届(OCR提出による受講申請) (諸経費の納入方法をよく確認してください)	pp.21～28参照
②スクーリング受講申請票(OCR提出による受講申請)	
③健康調査書 (該当者のみ)	
④上司宛スクーリング依頼状(礼状)送付願 (該当者のみ)	
⑤各種申込書(該当者のみ) (諸経費納入整理票(3連綴り)・旅客運賃割引証交付願など)	
⑥登録票(第1段階受講時のみ)	テキスト巻末とじ込み

※学修サポートサイト(UniVision)にて申請される場合はpp.16～19をご確認ください。

学修サポートサイト(UniVision)にて申請される際は⑥の登録票のみ郵送してください(③④⑤は該当者のみ郵送してください)。

「こどもと音楽表現 I (ピアノ)」／「保育の表現技術(ピアノ)」／「音楽表現(ピアノ)」については、段階(グレード)制をとっています。第1段階スクーリング受講前には登録票の提出が必要になるほか、第1段階に合格しなければ、第2段階を受講することができません。

また、①～⑤の提出書類は他のスクーリング受講申請(OCRによる受講申請)と同じ方法です。さらに⑥の登録票の提出が必要になります。

第1段階を申請する場合は「登録票」が必要です。こちらは記入でき次第、受付期間前に提出しても構いませんが、受付期間内(消印有効)に提出がない場合はスクーリングの受講申請は受理できません。

なお、第2段階は「第1段階」を合格済みでなければ受講申請ができません。第1段階の結果を待たずに次の受講申請をした場合は、申請は無効となります。受講料は原則返金できませんので、必ず「第1段階」の結果を確認してから受講申請をしてください。

提出書類に不備・不足がある場合は受付ができません。また、振込整理番号・氏名の打電がない場合も受付ができませんのでご注意ください。

4. 「音楽表現(ピアノ)」／「保育の表現技術(ピアノ)」／「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)」の実技試験について

「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)」／「保育の表現技術(ピアノ)」／「音楽表現(ピアノ)」は、スクーリング授業の中で実技試験を行います。試験課題曲は段階ごとに指定して行います。

「音楽表現(ピアノ)」／「保育の表現技術(ピアノ)」／ 「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)」事前課題

第 1 段階		第 2 段階	
課題①	リズム打ち 3題	課題①	初見視奏(単旋律)に向けた学習
課題②	ピアノ曲 3曲	課題②	律動曲 3曲
課題③	弾き歌い曲 3曲	課題③	弾き歌い曲 5曲

※ 課題①リズム打ち (3題) テキストp.58の(1)(2)(3)

注意

各段階とも、課題①～③の実技試験課題を修得し、スクーリングにて演奏すること。但し、すべての実技試験課題曲について、楽譜を見ながら演奏してもよいこととする。また、楽曲中の反復(リピート)記号については、省略をせず指示通りに演奏するよう注意すること。

I. スクーリング使用テキストについて

いずれの学生も「保育の表現技術(ピアノ) 平成31年4月1日発行」のテキストを持参し、スクーリングに出席すること。

但し、スクーリング中の実技試験において、これまで見慣れている「こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)」のテキストを見ながら演奏することは認めます。

II. スクーリング「第1段階」の実技試験について

課題①リズム打ち(3題)

テキスト「保育の表現技術(ピアノ)」初版p.58掲載の(1)(2)(3)

課題②ピアノ曲（3曲）

バイエル78番（Beyer78）、バイエル94番（Beyer94）、バイエル96番（Beyer96）の3曲の中から当日指定。

テキスト別 掲載ページ			
課題②ピアノ曲	保育の表現技術 (ピアノ) 初版	こどもと音楽表現 I (ピアノ) 第2・第3版	こどもと音楽表現 I (ピアノ) 初版
バイエル78番	83ページ	27ページ	33ページ
バイエル94番	91ページ	29ページ	36ページ
バイエル96番	92・93ページ	34ページ	38ページ

課題③弾き歌い（3曲）

テキストのうち「ハッピー・バースデー・トゥー・ユー(ト長調)」「バスごっこ(ハ長調)」「かたつむり(ハ長調)」の3曲の中から当日指定。

*伴奏スタイルは問わない。コード伴奏で演奏してもよい。

但し、指定の調で演奏すること。必ず前奏をつけて演奏すること。配本テキスト p.101の説明を読んで取り組んでください。

Ⅲ. スクーリング「第2段階」の実技試験について

課題①初見視奏（単旋律）

課題①は初見課題につき事前の課題曲発表はしない。またテキストにも掲載していない。この課題に臨む準備として、テキスト「保育の表現技術(ピアノ)」初版p.59掲載のピアノ初見視奏教材を自習しておくこと。

課題②律動曲（3曲）

テキスト「保育の表現技術(ピアノ)」初版に掲載の「マーチ」(p.102)、「スキップ」(p.103)、「ワルツ」(p.104)の3曲の律動曲の中から当日指定。

*子供との音楽活動を想定した練習を行うこと。

課題③弾き歌い（5曲）

テキストのうち「ハッピー・バースデー・トゥー・ユー(ト長調)」「バスごっこ(ハ長調)」「かたつむり(ハ長調)」「お化けなんてないさ(ト長調)」「やぎさんゆうびん(ニ長調)」の5曲の中から当日指定。

*第1段階で学習した内容を踏まえて第2段階の弾き歌い課題の学習を行うこと。伴奏スタイルは問わない。コード伴奏で演奏してもよい。但し、指定の調で演奏すること。

令和7年度授業概要について

はじめに

令和7年度に本校スクーリングで開講する科目の授業概要とその使用テキスト、購入本や持参品を案内しています。みなさんの学習がより効率的にすすめられるよう、かつ理解を深めることを目的として制作しています。

注 意

1. 印刷・面接科目のテキストは、履修登録後配本されたテキストも使用します。
2. **購入本は各自購入してください。**購入本に指定されている書籍には、一般書店ではなかなか入手が難しい書籍もありますので、前もって購入しておく必要があります。
3. 授業内容・事前課題・持参品等について質問がある場合は、質問メールにてお問い合わせください。
4. 実施方法は状況により変更となる場合があります。その際、UniVision内等で通知します。

授業概要の見方

授業概要には、スクーリング当日に使用するテキスト・購入本・持参品・事前課題・実施方法が記載されています。下記の見方を参考に、各科目の受講の準備を進めてください。

科目名	《科目名》	担当教員	《教員名》
科目コード	00000	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン） or 対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

配本されているテキストがある場合は必ず持参してください。

書店やインターネットにて購入してください。入手が難しい書籍もありますので、前もって購入しておく必要があります。

姫路大学発行のテキストは、本学通信教育事務課で発売します。巻末の「諸経費納入整理票」・「販売価格の郵便小為替」をスクーリング申請受付期間中に本学へ提出してください。

《授業計画》

《テキスト・購入本》

購入本（テキスト）：「書籍名」 著者名 （出版社名） 金額

配本テキスト・購入本の詳細が記載されています。こちらを参考に購入の手続きを行ってください。他の科目のテキストが、購入本として指定されている場合があります。お持ちのテキストをよく確認した上で購入してください。

《事前課題》

配本テキストのpp. 4～10までを弾けるようにしておくこと。

事前課題があれば記載しています。特に記載がなくとも、配本テキストのある科目は、熟読した上でスクーリングを受講してください。

《学生持参品》

○ソプラノリコーダー
(100円ショップで購入したものは不可)

テキスト・購入本の他に持参品を記載しています。特に記載がなくとも、筆記用具・ノートは必ず持参してください。また、体育などの科目は、動きやすい服装・体育館シューズ・タオルや飲み物なども持参してください。

《学生に対する評価》

受講態度、単位認定試験を総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：
2. 実務経験の内容：

— 共通教育科目 —

• 情報処理技術Ⅰ（基礎）	57
• 情報処理技術Ⅱ（応用）	58
• スポーツ（実技）	59
• 芸術論	60
• 英語コミュニケーションⅡ	61
• 外国語総合Ⅰ	62
• 外国語総合Ⅱ	63

— 教職科目 —

• 教育心理学	65
• 国語科指導法	66
• 社会科指導法	67
• 算数科指導法	68
• 生活科指導法	69
• 家庭科指導法	70
• 外国語（英語）指導法	71
• 理科指導法	72
• 音楽科指導法	73
• 図工科指導法	74
• 体育科指導法	75
• 特別支援演習	76

— 実習関係科目 —

• 教育実習事前・事後指導（幼稚園）	77
• 教育実習事前・事後指導（小学校）	78
• 養護実習事前・事後指導	79
• 教職実践演習（幼・小）／教職実践演習（幼・小・中・高）／教職実践演習	80
• 教職実践演習（養護）	81
• 保育実習論Ⅰ	82
• 保育実習論Ⅱ	83
• 保育実習論Ⅲ	84

— 教科科目・幼稚園教職科目 —

• 保育内容（環境Ⅰ）	85
• 保育内容（環境Ⅱ）	86
• 保育内容（健康Ⅰ）	87
• 保育内容（健康Ⅱ）	88
• 保育内容（人間関係Ⅰ）	89
• 保育内容（人間関係Ⅱ）	90
• 保育内容（表現）	91
• 保育内容（言葉）	92
• 保育の表現技術（造形）／造形表現	93
• 体育	94
• 図画工作Ⅱ ※令和4年度3年次編入生・令和3年度以前入学生対象	95
• 音楽Ⅲ（声楽）	96
• 音楽Ⅱ（ピアノ）	97
• 音楽Ⅳ（器楽）	98
• 保育の表現技術（言語）／言語表現	99
• 保育の表現技術（合奏）	100
• こどもと音楽表現Ⅰ（ピアノ）／保育の表現技術（ピアノ）／音楽表現（ピアノ）第1段階	101
• こどもと音楽表現Ⅰ（ピアノ）／保育の表現技術（ピアノ）／音楽表現（ピアノ）第2段階	102
• 保育の表現技術（声楽）／音楽表現（声楽）	103
• 保育の表現技術（身体）／身体表現	104
• 書 写	105
• 図画工作 ※令和5年度以降入学生・令和4年度1年次入学生・令和4年度科目等履修生対象	106
• 音 楽	107

— 領域科目 —

• こどもと表現Ⅰ	109
• こどもと表現Ⅱ	110
• こどもと表現Ⅲ	111

— 養護・保育等科目 —

• 看護学Ⅰ	113
• 看護学Ⅱ	114
• 乳児保育Ⅱ	115
• こどもの食と栄養	116
• 社会的養護Ⅱ	117
• 養護概説	118
• 看護演習（1単位）	119
• 看護演習（2単位）	120
• こどもの理解と援助	121
• 保育総合演習	122
• こどもの健康と安全	123
• 子育て支援	124

— 養成課程 —

• 図書館情報技術論	125
• 情報サービス演習	126
• 図書館情報資源概論	127
• 情報資源組織演習	128
• 情報メディアの活用	129

共通教育科目

科目名	ページ
情報処理技術Ⅰ（基礎）	57
情報処理技術Ⅱ（応用）	58
スポーツ（実技）	59
芸術論	60
英語コミュニケーションⅡ	61
外国語総合Ⅰ	62
外国語総合Ⅱ	63

科目名	情報処理技術 I (基礎)	担当教員	津下 哲也
科目コード	10010	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔(オンライン)		

《授業の到達目標及びテーマ》

ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどの操作演習及び情報処理技術に関する講義を通して、教育現場において必要とされる基礎的なコンピュータ活用能力の習得と情報処理に関する基礎的な知識の習得を目標とします。

《授業計画》

1. ハードウェアとソフトウェアの概要
コンピュータの基本要素、OS、ファイルシステム、オフィスツール
2. タイピングトレーニング
タイピングソフトの紹介とタイパタッチの演習
3. ワープロソフトの基本操作と演習
起動終了、レイアウト、配置、表作成、図形、業務文書作成
4. 表計算ソフトの基本操作と演習
起動終了、画面構成、オートフィル、セル調整、相対・絶対参照、表計算基礎、関数基礎、グラフ
5. プレゼンテーションソフトの基本操作と演習
プレゼンテーション資料の作成演習
6. 情報ネットワークとセキュリティ
ネットワーク方式、セキュリティ管理・対策、関連法規
7. 業務とクラウドソフトウェア
Google Tools, forms, site, drive、共有、業務利活用、Canva
8. テクノロジーと社会の変化及びデータ・AIの活用
第4次産業革命、Society5.0、データ駆動型社会、IoT、AI、ロボット、社会での利活用、生成AI

《テキスト・購入本》

購入本：【図解】AI時代の教師が知っておきたいIT・情報リテラシー 校務DXに必要な基礎知識 株式会社インプレス 1,870円(税込み)

参考図書：今すぐ使えるかんたん Word & Excel & PowerPoint 2021 技術評論社 1,650円(税込み)

《事前課題》

パソコンの起動と終了、マウス操作やキーボード入力などの基本的な操作を習得しておいてください。

事前のオンライン面談(オリエンテーション)で、パソコン環境、インターネット環境、ソフトウェア環境の確認を行いますので、ご参加下さい。

《学生持参品》

講義では、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトを使います。

ワープロソフト(Microsoft社のWord または Google社の「ドキュメント」)

表計算ソフト(Microsoft社のExcel または Google社の「スプレッドシート」)

プレゼンテーションソフト(Microsoft社のPowerPoint または Google社の「スライド」)

それぞれ、Microsoft社またはGoogle社のいずれかのソフト、及びそれらが操作できるパソコン(カメラ付き)とインターネット環境を準備してください。(Google社の3つのソフトは、通信教育Gmailアカウントを使うことで、オンライン上で、無料で使えるようになっています。)

講義の実施は原則オンラインですが、環境が整わない、操作にとっても不安がある等、事情がある場合には、本学に来学し、情報処理教室のPC環境にて受講することも可能です。来学を希望される場合、通信事務室まで事前に個別にご相談ください。

《学生に対する評価》

提出課題、学習態度、実技試験をもとに総合的に評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：岡山県公立小学校にて20年間教諭として勤務。情報主任としてICT機器を活用した授業作りや校務の情報化を推進。

科目名	情報処理技術Ⅱ（応用）	担当教員	津下 哲也
科目コード	10011	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

情報に関する諸理論、数理、データ活用及び人工知能利活用に関する理解を深めるとともに、情報処理技術に関する知識と技術を実際の問題解決場面に活用する演習を通して、情報処理技術の応用力を身に付けることを目標とします。

《授業計画》

1. 情報技術とデータの利活用
調査・実験データ、1次・2次データ、構造化・非構造化データ、量的・質的データ
2. データベースの理論と演習
データベースの考え方 データベースの紹介と演習
3. データ分析の理論
データの分布、平均と分散・標準偏差、相関と因果、標本と母集団
4. データ分析の演習
グラフ化、箱ひげ図・散布図、度数分布表、ヒストグラム、結果分析
5. 情報に関する諸理論
デジタル化（画像・音声・動画）、進数、論理回路
6. プログラミング基礎
プログラミング教育、ビジュアルプログラミング、テキストコーディングの初歩
7. データ・AI利活用のための技術
特化型AIと汎用型AI、AI技術と社会
8. 生成AIの活用
教育における生成AIの活用（授業、校務）

《テキスト・購入本》

課題資料を用意します。

《事前課題》

パソコンを使った文字入力、数値入力などの基本操作ができるようにしておいてください。

表計算ソフト（Microsoft社のExcelまたはGoogle社のスプレッドシート）の起動終了、数値入力、数値の合計や平均など簡単な関数の利用、といった、基本操作を経験しておいてください。

事前のオンライン面談（オリエンテーション）で、パソコン環境、インターネット環境、ソフトウェア環境の確認を行いますので、ご参加下さい。

《学生持参品》

講義及びパソコンを使った演習を行いますので、動作がある程度スムーズに動くパソコン（カメラ付き）とインターネット環境を準備してください。講義の実施は原則オンラインですが、環境が整わない、操作にとっても不安がある等、事情がある場合には、本学に来学し、情報処理教室のPC環境にて受講することも可能です。来学を希望される場合、通信事務室まで事前に個別にご相談ください。

《学生に対する評価》

提出課題、学習態度、実技試験をもとに総合的に評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：岡山県公立小学校にて20年間教諭として勤務。情報主任としてICT機器を活用した授業作りや校務の情報化を推進。

科目名	スポーツ（実技）	担当教員	東 祐希
科目コード	10020	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

スポーツをとおして学生生活を豊かにし、生涯にわたってスポーツの楽しさを享受し、自己のライフステージや心身の状況に適したスポーツを生活に取り入れ、豊かなライフスタイルを形成する能力を身につける。

《授業計画》

1. 授業ガイダンス
2. 集団スポーツ（バレーボール）技術練習を中心に進める
3. 集団スポーツ（バレーボール）技術練習を中心に進める
4. 集団スポーツ（バレーボール）戦術練習を中心に進める
5. 集団スポーツ（バレーボール）戦術練習を中心に進める
6. 集団スポーツ（バレーボール）ゲームを中心に進める
7. 集団スポーツ（バレーボール）ゲームを中心に進める
8. 授業ガイダンス（個人スポーツ選択制の説明及び希望する種目を選択する）
9. 個人スポーツ選択制（卓球、バドミントン）技術練習を中心に進める
10. 個人スポーツ選択制（卓球、バドミントン）技術練習を中心に進める
11. 個人スポーツ選択制（卓球、バドミントン）戦術練習を中心に進める
12. 個人スポーツ選択制（卓球、バドミントン）戦術練習を中心に進める
13. 個人スポーツ選択制（卓球、バドミントン）ゲームを中心に進める
14. 個人スポーツ選択制（卓球、バドミントン）ゲームを中心に進める
15. まとめ・評価

《テキスト・購入本》

特になし

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

運動できる服装、屋内シューズ

《学生に対する評価》

受講態度及び小レポート課題を総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	芸術論	担当教員	杉山 雄一 井上 龍彦
科目コード	10025	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

古今の芸術作品の鑑賞・解説を通して芸術に親しみ、芸術と自己との関係についても考えながら、幅広い芸術的教養を身につける。

音楽分野においては、音楽作品が生まれた背景、つまり歴史的、社会的、民族的要因について理解を深め、また絵画と音楽との関係についても考察しながら授業を進める。美術分野においては、絵画、彫刻、建築等の変遷や作家の生きた時代背景なども含めて、理解を深める。また、自分と美術の関係についても考察してもらう。

《授業計画》

1. 学問と音楽について
2. 歴史と音楽について
3. 社会・民族と音楽について
4. 美術と音楽について
5. 美術・造形分野について
6. 美術の変遷（画像等で作品等を鑑賞）
7. 現代の美術表現について
8. 自分と芸術（美術）について

《テキスト・購入本》

参考図書：『CD付徹底図解 クラシック音楽の世界』田村和紀夫、新星出版社

参考図書：『芸術とは何か 千住博が答える147の質問』千住博、祥伝社

参考図書：『図画工作I』井上龍彦、姫路大学教育学部通信教育課程

その他：プリント配布

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

筆記用具

《学生に対する評価》

受講態度（20%）、課題への取り組み、筆記物、小問題等（80%）を勘案し、総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【井上】1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：短大（生活と美学、生活デザイン等）、大学（デッサン、造形理論等）、高校兼任講師（工芸）

【杉山】1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：大阪シンフォニカー（現大阪交響楽団）首席ヴィオラ奏者、明石フィルハーモニー管弦楽団演奏委員として勤務経験有。高等学校教員非常勤講師（音楽科）として勤務経験有。

※入学年度によって履修方法が異なります。入学年度の開講科目一覧を確認してください。

科目名	英語コミュニケーションⅡ	担当教員	和田 憲明
科目コード	14018	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

本講座は、英語コミュニケーションⅠを履修した後、次の段階の英語コミュニケーション能力を育成するための講座です。英語コミュニケーションⅠで身に付けた基礎的な英語力を土台として、さらに発展的な英語力を身に付けるとともに、4技能を統合的に発展させることを通して、さらに高度な英語コミュニケーション能力を身につけるように学習を進めます。本スクーリングでは、まず英語力の基本となる読解力を育成し、英文の内容把握、基礎文法を定着させるための英作文、ディクテーションを用いたリスニング・ライティング、会話やその会話を基にしたディスカッションなどを通してより高度な英語コミュニケーション能力を身につけます。

テーマは、日本とアメリカにおける様々な文化の違いが取り上げられています。グローバルな視点で文化について考えてみましょう。

《授業計画》

1. Cherry Blossoms
2. Capital Cities
3. Movies
4. Transportation
5. Advertisements
6. Education
7. Loan Words
8. Review

《テキスト・購入本》

- ・購入本：『Basically America, Basically Japan』 Charles L. Clark 他（2010），南雲堂（1,900円＋税）

《事前課題》

- ・購入本の上記の授業計画1.～5のLessonの本文を読み理解しておくこと。
- ・意味のわからない単語や表現はできるだけ調べておくこと。

《学生持参品》

- ・英和・和英辞典（電子辞書、オンライン検索可）

《学生に対する評価》

- ・受講態度（発表態度）、授業中課題、単位認定試験等により総合的に評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：中学校英語科教員

科目名	外国語総合Ⅰ	担当教員	和田 憲明
科目コード	10035	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

近年のグローバル社会では、英語で意思疎通を図る力や自分の意見や考えを正確に伝える力を身につけることが求められています。この授業は、TOEIC レベルの英語のリスニング能力とリーディング能力を育成することを目標とします。

本講座の到達目標は以下の通りです。

1. TOEIC 500点以上に必要な語彙や文法事項を習得し、
2. 読解力を身につけるとともに、
3. リスニング練習を通して、さまざまな英語を聞き取ることができるようになる。

《授業計画》

以下の項目の面接授業を通して、TOEIC レベルの英語のリスニング能力とリーディング能力を身につけます。

1. Going Overseas
2. Going Shopping
3. Talking about Food and Health
4. Enjoying Sports and Entertainment
5. Preserving Nature
6. Giving Directions
7. Listening Exercises
8. Reading Exercises

《テキスト・購入本》

スクーリング当日資料を配布します。

《事前課題》

TOEIC について調べるとともに、いくつかの問題に挑戦してみましょう。

《学生持参品》

英和辞書（電子辞書、オンライン検索可）

《学生に対する評価》

受講態度、授業課題および単位認定試験等により総合的に評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：中学校英語科教員

科目名	外国語総合Ⅱ	担当教員	和田 憲明
科目コード	10036	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

近年のグローバル社会では、英語で相手の意思や考えを正しく理解する力を身につけることが求められています。

この授業は、外国の映画のシナリオの聞き取りや音読練習および映画鑑賞を通して、実際のコミュニケーション場面で使用されるさまざまな英語表現を身につけるとともに、映画を通して異文化や外国の人々のものの考え方を理解することを目標とします。

本講座の到達目標は以下の通りです。

1. 外国映画のシナリオを聞き取ることができる。
2. 外国映画を通して外国の文化や歴史を理解することができる。

《授業計画》

以下の項目の学習によって、映画を通して異文化や外国の人々のものの考え方を理解する力を養います。

1. Roman Holiday (1)
2. Roman Holiday (2)
3. Anne of Green Gables (1)
4. Anne of Green Gables (2)
5. Anne of Green Gables (3)
6. The Great Dictator (1)
7. The Great Dictator (2)
8. 映画から学ぶ言語と文化

《テキスト・購入本》

スクーリング当日資料を配布します。

《事前課題》

映画の時代背景について事前に調べておくと、より映画の内容を理解することができるでしょう。

《学生持参品》

英和辞書（電子辞書、オンライン検索可）

《学生に対する評価》

受講態度、授業課題および単位認定試験等により総合的に評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：中学校英語科教員

教職科目

科目名	ページ
教育心理学	65
国語科指導法	66
社会科指導法	67
算数科指導法	68
生活科指導法	69
家庭科指導法	70
外国語（英語）指導法	71
理科指導法	72
音楽科指導法	73
図工科指導法	74
体育科指導法	75
特別支援演習	76

科目名	教育心理学	担当教員	日湯 淳子
科目コード	20046	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

人間は、社会の中で教育に助けられながら自己の潜在能力を顕在化し、成人に向かって質的・量的に、より高次の段階へ変化し発達する。したがって、各個人の潜在能力を十分に発揮できるような効果的な教育的支援を行うことが教育にたずさわる者の使命である。そのため、教育心理学の専門的かつ実践的な知識を身につけることが重要であり、必須の課題となる。そこで本授業では、「発達」と「学習」の分野を中心として、発達理論、学習理論など教育心理学の基本事項について学習し、基礎的な知識への理解を深め、さらに、動機づけや学習意欲を高める支援や、社会への適応に関する問題について考える力を身につけ、個々の子どもの心身の発達に応じた、より効果的な保育・教育についての実践力を養うことを目的とする。

《授業計画》

1. 教育心理学概論 認知の発達
2. 記憶の発達
3. 学習理論
4. 動機づけ
5. 学習指導方法
6. 学習評価法
7. 発達課題
8. 配慮が必要な子どもの支援のあり方

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『教育心理学』
適宜、プリントを配布する

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

受講態度、および試験等により総合的に評価する

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：政令指定都市や市の保健福祉課子育て支援係にて、乳幼児健診等の心理相談・発達相談心理士、公的機関の教育相談員のスーパーバイザー、小中学校のスクールカウンセラー等の経験あり

※入学年度によって履修方法が異なります。入学年度の開講科目一覧を確認してください。

科目名	国語科指導法	担当教員	森岡 勇記
科目コード	20094	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本	本学にて購入手続き	
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

新学習指導要領を踏まえ、国語の授業を実践する上で必要な知識や指導力の育成を図る。

《到達目標》

- ・新学習指導要領「国語」の目標と内容を理解する。
- ・教材の特質を理解し、アクティブラーニング(主体的・対話的で深い学び)を取り入れながら、学習指導案(板書計画を含む)が作成できる。
- ・模擬授業の実践を通して、授業者に求められる資質を形成する。

《授業計画》

1. 面接授業の目標と内容の確認
新学習指導要領のポイント
2. 教材研究・授業研究の進め方
3. 学習指導案の作成
4. 模擬授業の工夫
5. 模擬授業の実施
6. 模擬授業の振り返り
7. 授業評価のあり方
授業者の役割
8. 面接授業のまとめ
単位認定試験

《テキスト・購入本》

配本テキスト：小学校学習指導要領解説 国語編(平成29年7月 文部科学省)

配本テキスト：国語科内容論×国語科指導法(辻村敬三著 東洋館出版社)

配本テキスト：国語 四下 はばたき(光村図書)

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

受講態度、模擬授業の取り組み方、単位認定試験等により総合的に評価する。

《連絡事項》

「国語科指導法(20094)」は印刷・面接科目です。担当は以下の通りです。

印刷(レポート)：長谷 浩也

面接(スクーリング)：森岡 勇記

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

※入学年度によって履修方法が異なります。入学年度の開講科目一覧を確認してください。

科目名	社会科指導法	担当教員	和田 幸司
科目コード	20020	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

小学校社会科教育の理論と実践について、①社会科授業の構想、②学習指導案の作成、③模擬授業の実施、④授業改善案作成、の4つの視点から学修する。

（到達目標）

- ・学習指導要領に示された小学校社会科の目標や内容を理解している。
- ・具体的な授業場面を想定した授業設計を行うことができる。

《授業計画》

- 第1回：社会科授業における学習指導案作り
- 第2回：社会科の教材研究と授業作り
- 第3回：社会科の授業研究の方法と実践
- 第4回：模擬授業（1）中心資料と補助資料
- 第5回：模擬授業（2）発問と板書
- 第6回：模擬授業（3）ICTの活用
- 第7回：授業改善案の発表（1）授業改善案の検討
- 第8回：授業改善案の発表（2）報告・討議

《テキスト・購入本》

配本テキスト：【令和4年度以前入学生】

『社会科教育のルネサンス』（原田智仁編著、保育出版社）

【令和3年度1年次入学生・令和5年度入学生以降】

『初等社会科教育の理論と実践』（原田智仁編著、教育情報出版）

購入本：『新編 新しい社会』（東京書籍）3年、4年、5年上・下、6年歴史編・政治国際編
（購入本は教科書取扱店にて購入する必要があります。時間を要しますので早めに注文をしましょう）

※模擬授業で使用するため、必ず購入してください。

《事前課題》

購入本から模擬授業を行う単元を事前に検討しておきましょう

《学生持参品》

配本テキスト、購入本、USBメモリ

《学生に対する評価》

授業態度・学習指導案・単位認定試験の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：兵庫県公立小学校教諭の経験有。

※入学年度によって履修方法が異なります。入学年度の開講科目一覧を確認してください。

科目名	算数科指導法	担当教員	榎並 雅之
科目コード	20021	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本	本学にて購入手続き	
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

算数科の目標及び内容の理解とその指導法の検討及び実践的理解が目標となる。

〈到達目標〉

1. 学習指導要領に挙げられた目標及び内容を理解している。
2. 算数科における授業の構成を理解し、目標及び評価を意識した学習指導案を作成し、模擬授業において具現化することができる。
3. 小学校算数科におけるICT機器を含めた教具、学習形態等を理解し、情報通信技術を授業構成に活用しようとしている。

《授業計画》

1. 算数科指導法の実践における指導上の留意点の検討
2. 「数と計算」領域（四則計算）における指導方法の実践的な検討
3. 「数と計算」領域（数の拡張及び性質）における指導方法の実践的な検討
4. 「測定」領域（外延量）における指導方法の実践的な検討
5. 「変化と関係」領域（内包量）における指導方法の実践的な検討
6. 「図形」領域における指導方法の実践的な検討
7. 「データの活用」領域における指導方法の実践的な検討
8. 指導法の総括（模擬授業を通して顕在化された事項の検討）

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『小学校学習指導要領解説 算数編』（平成29年6月 文部科学省）

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

- ・ 模擬授業に際しての学習指導案の内容及び模擬授業の内容による評価
- ・ 事後検討会における発言及び考察の内容及び参加状況による評価
- ・ 単位認定試験による算数科指導法の基礎理論の習得度の評価

以上の内容をもとに総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：公立中学校及び国立大学附属小学校において教諭として勤務

※入学年度によって履修方法が異なります。入学年度の開講科目一覧を確認してください。

科目名	生活科指導法	担当教員	阿曾 奈生
科目コード	20023	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

- ① 生活の目標や内容、趣旨とともに全体的な構造を理解する。
- ② 指導計画作成の意味や学習指導の進め方について理解するとともに、学習指導案を作成し、模擬授業において楽しく分かる授業の具体化に努めることができる。
- ③ ICT機器の活用を含めた教具、具体物を授業構成に生かすことができる。

《授業計画》

- ① オリエンテーション
- ② 生活科の実践における指導上の留意点
- ③ 単元例における指導方法の実践（体験的な学びを意識した授業、ICTを活用した授業等）
- ④ 発問・板書計画、評価
- ⑤ 学習指導案の作成および検討
- ⑥ 模擬授業
- ⑦ 模擬授業のまとめとふり返り
- ⑧ 2日間の学びのふり返りとまとめテスト

《テキスト・購入本》

令和6年度以前入学：配本テキスト『生活科指導法』

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 生活編』（文部科学省）

令和7年度以降入学：『生活科・総合的学習事典』日本生活科・総合的学習教育学会【編】 溪水社

『どきどき わくわく あたらしい せいかつ 上』東京書籍

『あしたへ ジャンプ 新しい 生活 下』東京書籍

《事前課題》

- ・特になし

《学生持参品》

- ・授業内で使うはさみやのりなどは用意しています。
もしヨーグルトやプリンなどの空き容器があれば持参してください。

《学生に対する評価》

- ・まとめテスト（30%）：目標①について関して2日間の授業をもとにした記述問題
- ・学習指導案（30%）：目標②について自分が決めた単元の指導案を作成
- ・模擬授業（20%）：目標②③について上記の指導案にもとづいて模擬授業を実施
- ・実践的態度等（20%）：目標①②③について授業中のワーク（ペア、グループ）、ふり返り（3回）

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：あり
2. 実務経験の内容：小学校教諭として勤務経験あり

※入学年度によって履修方法が異なります。入学年度の開講科目一覧を確認してください。

科目名	家庭科指導法	担当教員	大曲 美佐子
科目コード	20024	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

1. 年間学習指導計画（カリキュラム）の作成
2. 学習指導要領に基づく学習教材の開発及び活用
3. 適切な評価活動
4. 模擬授業の指導計画案作成及び授業実践

小学校家庭科は、実践的・体験的な学習を通して、生活に必要な基礎的・基本的な知識と技能を習得させることにある。家庭科指導法では、学生の指導力と評価力を高めることを目標として、学習指導案及び評価規準の作成を取り入れた実践力を育成する。さらに、児童が興味関心を持つ学習教材の開発・活用及び情報機器の活用、児童の自己肯定感を高めるコメント力など新たな指導方法に取り組む指導者としての資質・能力を身に付ける。

《授業計画》

1. 小学校家庭科改訂の趣旨及び年間カリキュラムの作成・検討：ICT、情報機器の活用
2. 「A 家族・家庭生活」の学習教材：実践的・体験的な学習教材の活用
3. 「B 衣食住の生活」の学習教材：家庭科教育と防災教育との関連性
4. 「B 衣食住の生活」の学習教材：手縫いした作品の評価活動
5. 「B 衣食住の生活」の学習教材：食生活における課題：アクティブ・ラーニング
6. 「C 消費生活・環境」の学習教材の活用
7. 学習指導案の検討
8. 模擬授業

《テキスト・購入本》

配本テキスト：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 家庭編（文部科学省）

※令和4年度1年次入学生、令和5年度1年次入学生、令和6年度以降入学生は配本されませんので文部科学省のホームページより、PDFデータをご確認ください。

配本テキスト：わたしたちの家庭科5・6年（開隆堂）

《事前課題》

レポート（設定課題に基づくもの）で作成した学習指導案

《学生持参品》

同上（紙面に印刷した学習指導案を持参すること。）

《学生に対する評価》

授業中の課題内容、課題試験など総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：私立高校及び国公立中学校において家庭科教諭または教官として30年間、教鞭をとってきた

科目名	外国語(英語)指導法	担当教員	和田 憲明
科目コード	20095	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔(オンライン)		

《授業の到達目標及びテーマ》

小学校における「外国語活動」及び「外国語」の学習・指導・評価に必要な基本的な知識及び指導技術を身につけます。

本講座の到達目標は以下の通りです。

1. コミュニケーション活動を通じた意味のあるやり取りを行う重要性を理解し、指導に生かすことができる。
2. 題材の選定、教材研究の仕方について理解し、適切に題材選定や教材研究ができる。

《授業計画》

以下の項目の面接授業を通して、小学校における外国語指導法について学習します。また後半のマイクロ・ティーチングを通して、授業の実際について深く学びます。

1. 教材・教具の活用法、評価の意義と評価法
2. 授業過程と指導案の作成
3. 授業づくり(教材研究、ALTとのTT指導、授業の振り返り)
4. 授業映像の視聴
5. 模擬授業の授業計画・授業準備
6. 模擬授業の授業準備・授業実演
7. 模擬授業の授業実演・授業の振り返り
8. 小学校外国語教育の課題と展望

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『新編 小学校英語教育法入門』（樋口忠彦他編、研究社）

配本テキスト：『We Can! 1』『We Can! 2』（平成29年12月 文部科学省）

《事前課題》

上記の項目についてテキストの関連ページを読んでおきましょう。

《学生持参品》

英和辞書（電子辞書、オンライン検索可）

《学生に対する評価》

受講態度、授業課題および単位認定試験等により総合的に評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：中学校英語科教員

科目名	理科指導法	担当教員	畑 宗平
科目コード	20022	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト	購入本	本学にて購入手続き
実施方法	対面		

〈授業の到達目標及びテーマ〉

小学校理科の目標にそった問題解決学習の考え方、科学的態度を実践的に学ぶ。実験・観察を通して、子どもたちに発見する喜びを体感させることの大切さを学ぶ。見通しを持って様々な実験（マイクロスケール実験等）を体験することで、実感を伴った理解を意図した理科授業のすすめ方を身につける。実験模擬授業を実施することにより、ICT機器及び情報通信技術を有効活用した理科授業の展開の仕方とプレゼンテーションの効果的なスキルを習得する。

〈到達目標〉

1. 新しい学力観と生きる力、小学校理科の目標や三観点評価の内容を説明できる。
2. やる気を起こさせる導入の工夫方法を習得する。
3. 小学校理科の特性に応じたICT機器及び情報通信技術の効果的な活用法を理解し、模擬授業設計で実践的な活用ができる。
4. 理科の問題解決学習の流れで「粒子・エネルギー」「生命・地球」の実験を行うことができる。
5. 理科の問題解決学習の流れで実験を伴う模擬授業を効果的に行うことができる。

〈授業計画〉

テキストによる通信授業とスクーリングによる面接授業

【印刷教材】

- 1：学習指導要領（小学校理科）及び理科の目標
- 2：物理・化学領域の学習教材と指導例
- 3：生物・地学領域の学習教材と指導例
- 4：学習指導案作成と学習指導の展開
- 5：単元学習指導計画作成の考え方
- 6：導入の工夫～意外性と認知的葛藤～
- 7：問題解決学習と理科学習の評価

【面接授業】

- 第1回：理科の目標～学習指導要領とその変遷、学習指導案の書き方、問題解決学習、三観点評価～
- 第2回：理科指導法～意外性のある実験と内発的動機付けについて実践を通して学ぶ、素朴概念・誤概念、認知的葛藤と概念転換、日常知と科学知の融合～
- 第3回：理科教育におけるICT機器の活用法（ICT機器及び情報通信技術の有効活用を含む）
- 第4回：模擬授業の実践と授業評価①
（小学校3年生の単元内容領域実験）
- 第5回：模擬授業の実践と授業評価②
（小学校4年生の単元内容領域実験）
- 第6回：模擬授業の実践と授業評価③
（小学校5年生の単元内容領域実験）
- 第7回：模擬授業の実践と授業評価④
（小学校6年生の単元内容領域実験）
- 第8回：理科指導法のまとめと振り返り
単位認定試験

〈テキスト・購入本〉

配本テキスト：『理科指導法』

参考書等：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編

〈学生に対する評価〉

【印刷教材】

学習状況の確認：レポートの課題において専門的知識の理解、獲得及び思考表現により判定し評価する。

【面接授業】

項目	割合	評価基準
授業態度	20%	模擬授業への主体的参加度と他者評価能力。
課題	20%	学習指導案・板書計画・発問計画・実験プリント・ワークシート等が教材のねらいにそって作成できるか。
模擬授業	30%	模擬授業の構築・実践能力を備えているか。
単位認定試験	30%	4領域の教材に対する知識・理解力があるか。
特記事項	各項目の評価割合を基に100点満点で評価し、60点以上を合格とする。	

〈実務経験のある教員による授業科目の配置〉

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：高等学校教諭（理科）の実務経験を活かし、教材の系統性の視点から理科をとらえ、実験・観察を含む実践的な理科指導法を解説する。

科目名	音楽科指導法	担当教員	山本 千紗
科目コード	20025	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

初等教育における音楽の位置付けを理解し、子供が音楽をより深く味わい楽しむことができる授業づくりを考える力を身につける。

《授業計画》

1. オリエンテーション、事前課題実技試験
2. 音楽活動を通じた共通事項の指導法
3. 音楽科の指導内容（歌唱・器楽）、教師用指導書表現CD及び動画等の活用
4. 音楽科の指導内容（音楽づくり・鑑賞）、ICTの活用
5. 学習指導案作成と評価の方法
6. 模擬授業①
7. 模擬授業②
8. 音楽科教育に必要な教師の音楽的能力、ICTの活用

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『音楽科指導法』

購入本：小学校学習指導要領解説 音楽編（平成29年文部科学省）

参考図書：『新しい小学校音楽科の授業をつくる』（ミネルヴァ書房） 2018年3月発行

ISBN：978-4-623-08170-7

《事前課題》

- ①小学校の歌唱共通教材第1学年「うみ（ト長調）」の弾き歌いを事前課題実技試験の課題曲とする。前奏をつけて弾き歌いすること。指定の調で演奏すること。伴奏は教科書のとおりでなくても可。簡易伴奏やコード伴奏でも可。
 - ②小学校歌唱共通教材の中から、各学年1曲、計6曲を自分で選び、右手で旋律を弾けるように練習してくること。ただし、第1学年の「うみ」は選択肢から除外する。
 - ③ソプラノリコーダーの運指を確認し、「星に願いを」を練習してくること。（配本テキスト『音楽科指導法』pp.20～22）
 - ④レポートに課している指導案を作成してくること。（合格している必要はない）指導案を基に模擬授業を行う。必要なものを用意してくること。
- ※①②③の事前課題に取り組む前に、右記二次元コードより動画を視聴してください。楽譜の読み方や練習の方法を解説しています。試験に合格するためのポイントも述べていますので、経験者の方も必ず最後まで視聴してください。



《学生持参品》

- ・五線紙
- ・指導案（提出して頂きます）
- ・ソプラノリコーダー（100円ショップで購入したものは不可）
- ・鍵盤ハーモニカ唄口（YAMAHA ピアニカP-32E用の卓奏用パイプ）

《連絡事項》

スクーリング「音楽」で、「音楽科指導法」の事前課題について取り組んでいます。

《学生に対する評価》

事前課題実技試験50%、模擬授業50%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：本学以外の大学でも「音楽科教育法」を担当。音楽教室でのリトミッククラスの指導経験やピアニストとしての様々な演奏活動を持つ。

科目名	図工科指導法	担当教員	井上 龍彦
科目コード	20026	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト	購入本	本学にて購入手続き
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

図工科（図画工作）の教育目的と内容を理解し、学習指導要領に基づいて、「A表現」「B鑑賞」、「共通事項」も含め、理解を深める。理論的な面と実践的な教材研究も交えながらポイントを押さえ、学習指導の力を身につけてもらう。指導案作成や模擬授業なども状況に合わせて行う。技術的なことも大事であるが、個々の発想、アイデアなどがあふれる表現活動になるようイメージしながら指導（導入、授業展開）を考えてほしい。指導する上でしっかりと教材に触れ、自ら体験することが大事なので、教える側の目線で考えながら製作も行う予定である。

《授業計画》

1. 図工の歴史の変遷、教科書、指導要領等
2. 学習指導要領について
3. 造形遊びについて、演習課題
4. 絵に表す 説明
5. 立体・工作に表す 説明 演習課題
6. 指導計画、評価について
7. 指導案、模擬授業等について、課題作成
8. 模擬授業（情報通信技術の利用も含む）

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『図工科指導法』

配本テキスト：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編』文部科学省（日本文
教出版）

その他：プリント配布

《事前課題》

自分自身が図工で製作したものを思い出して、メモしておいてください。（作品があれば見ながらどのようなイメージでつくったのか思い出してください。）

《学生持参品》

作業ができる服装、色鉛筆セット（8色程度）、カラーペン（8色程度）等、濃い目の鉛筆（2B、4B等）はさみ、カッターナイフ、のり

《学生に対する評価》

受講態度（10%）、実技課題や演習（60%）、筆記物等（30%）を勘案し、総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：短大（児童教育学科）兼任講師、大学短大部（児童教育学科）兼任講師

科目名	体育科指導法	担当教員	柳本 有二
科目コード	20027	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	(初日：遠隔) 9:00~18:00+ (二日目：対面) 9:00~13:00		

〈授業の到達目標及びテーマ〉

講義前半は遠隔により「よい授業」とは何か？その構造と諸条件を理解し（順次授業レポートを書く、講義後半は、対面による模擬授業とふりかえり（授業改善）をとおして、実践的な力を身につける。なお、受講生の人数によって適宜内容を変更することがある。

〈到達目標〉

- ・小学校学習指導要領体育の目標・内容が理解できる。
- ・「よい体育授業」を行うための基礎的条件と内容的条件が説明できる。
- ・「教材づくり」が、授業構想の中で重要な柱となることを説明できる。
- ・体育指導と学習評価および「体育授業の評価」の視点と内容を説明できる。
- ・指導案作成および模擬授業の運営（計画準備・実施・評価）ができる。

〈授業計画〉

1. 小学校学習指導要領体育の目標・内容/体育科の授業計画
2. 「よい体育授業」の基礎的条件と内容的条件/模擬授業Video 視聴
3. 教材づくりの視点と内容/体育指導と学習評価
4. 指導案の書き方/体育授業で求められる教師の能力と省察力/体育の授業評価
5. 模擬授業の意義と効果的な進め方/模擬授業準備/ICT活用の視点と実際
6. 模擬授業（授業者・児童役・観察役・ビデオ係・記録）とふりかえり①
7. 模擬授業（授業者・児童役・観察役・ビデオ係・記録）とふりかえり②
8. 模擬授業と「よい体育授業」について

〈テキスト・購入本〉

配本テキスト：「体育科教育法」

配本テキスト：「小学校学習指導要領解説 体育編（東洋館出版）」

〈参考資料〉

- ・アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）
- ・「今、なぜ「一斉学習」なのか 一相互啓発をめざした「よい授業」の追究—東京学芸大学附属世田谷小学校編（東洋館出版）
- 印刷資料として配布します。

〈事前課題〉

大学から事前に郵送する（受講申請者に配布します。）「アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）（テキスト）」「今、なぜ「一斉学習」なのか 一相互啓発をめざした「よい授業」の追究—（プリント配布）」を事前に目を通しておいてください。

〈学生持参品〉

二日目の対面では、運動のできる服装、体育館シューズ、タオル、水分補給、マスク

録画・再生機能（ビデオ）アプリの入ったタブレットまたはスマートフォン（用意できる方のみ）

注：モニター側の入力端子はHDMIです。

大学から事前に郵送する（受講申請者に配布します。）「アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）（テキスト配布）」、「今、なぜ「一斉学習」なのか 一相互啓発をめざした「よい授業」の追究—（プリント配布）」を遠隔授業の際は手元に準備を、対面授業の際は必ず持参するようにしてください。

〈学生に対する評価〉

単位認定試験（30%）模擬授業（50%）授業態度（20%）

〈連絡事項〉

「体育科指導法」は、印刷・面接科目です。

印刷（レポート）：抱江 賢治

面接（スクーリング）：柳本 有二

〈実務経験のある教員による授業科目の配置〉

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：東京学芸大学附属世田谷小学校教諭

科目名	特別支援演習	担当教員	小河 晶子
科目コード	20090	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

1. 発達障がいおよび軽度知的障害の幼児および児童に対する主な療法について学び、さらに症状別の対応について学ぶ。
2. インクルーシブ教育、障がいのあるこどもの就学先について

《授業計画》

- 第1回 インリアルアプローチについて
 第2回 行動療法について
 第3回 TEACCHプログラムについて
 第4回 感覚統合療法について①：感覚統合とは、触覚、前庭覚、固有覚のはたらきについて
 第5回 感覚統合療法について②：触覚過敏、重力不安、低反応、低緊張について
 第6回 感覚統合療法について③：ラテラルリティと両測統合の問題、ボディイメージの問題、運動企画の問題について
 第7回 感覚統合療法について④：感覚統合療法のまとめ
 第8回 インクルーシブ教育、障がいのあるこどもの就学先について

《テキスト・購入本》

参考書：感覚統合Q & A 子ども理解と援助のために（土田玲子監修・石井孝弘、岡本武己著 共同出版社）

本学にて購入手続き：『特別支援論Ⅱ』 姫路大学教育学部通信教育課程 令和元年12月1日
 小河晶子・西本佳子・奥村真司

※「特別支援論」、「特別支援論Ⅱ」履修者は配本テキストです。

《事前課題》

特にありません。

《学生持参品》

特にありません。

《学生に対する評価》

授業態度 30%
 単位認定試験 70%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：神戸市総合児童センター療育部門発達クリニックにて発達障がい児への臨床指導および保護者への教育相談業務に従事

実習関係科目

科目名	ページ
教育実習事前・事後指導（幼稚園）	77
教育実習事前・事後指導（小学校）	78
養護実習事前・事後指導	79
教職実践演習（幼・小）／教職実践演習（幼・小・中・高）／教職実践演習	80
教職実践演習（養護）	81
保育実習論Ⅰ	82
保育実習論Ⅱ	83
保育実習論Ⅲ	84

科目名	教育実習事前・事後指導 (幼稚園)	担当教員	平松 美由紀 藤重 育子
科目コード	20056/20085	履修方法	面接 (事前・事後レポート有)
単位数	1単位	実施期	1期・2期(事前) 3期・4期(事後)
使用テキスト	配本テキスト・	購入本	本学にて購入手続き
実施方法	〈事前指導〉対面		〈事後指導〉対面

《授業の到達目標及びテーマ》

教育実習の事前と事後に行う教育実習に関する指導を通して、教育実習の目的の達成をより確かなものとする。

1. 幼稚園実習に備えて、実習についての知識、技能、態度（心構え）を習得する。
2. 保育指導案の作成、実習記録の記入の方法を学ぶ。
3. 実習終了後、自分の実践を振り返り、反省点や課題を明確にして保育の実際について理解を深める。
4. 園内業務を理解し、保育環境の重要なことを知り、実務実習を進んで行く。

《授業計画》

1. 教育実習の目的・意義・授業計画の説明
2. 教育実習全体の流れ／実習内容等の概略
3. 幼稚園の基礎知識／幼稚園教諭の資質と役割について
4. 実習記録の書き方／指導案作成の意義や目的について
5. 指導案の書き方と教材研究／保育実技と技能習得
6. 年齢別指導案作成・模擬保育
7. 実習事前指導
8. 実習事後指導／自己評価と今後の課題

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『教育実習事前・事後指導（幼稚園）』

配本テキスト：『幼稚園教育要領解説』文部科学省

そのほか、授業中に適宜指示する。

《事前課題》

学生持参品欄を参照

《学生持参品》

【事前指導】 模擬保育（15分～20分）の保育案として、手遊び・クラスでのまとまった遊び等の教材研究をしておくこと。保育対象年齢、指導内容は各自想定すること。

【事後指導】 実習簿

《学生に対する評価》

レポート、授業への関心・意欲・態度をもとに総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

- 【平松】 1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：公立幼稚園教諭勤務経験あり
- 【藤重】 1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

科目名	教育実習事前・事後指導 (小学校)	担当教員	榎並 雅之 板東 克則
科目コード	20086	履修方法	面接 (事前・事後レポート有)
単位数	1単位	実施期	1期・2期(事前) 3期・4期(事後)
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	〈事前指導〉対面		〈事後指導〉対面

《授業の到達目標及びテーマ》

教職に関する科目の「教育実習事前・事後指導（小学校）」は小学校教育実習へ向けて、その心構えの形成、教育実習の目的の理解、実践的指導力の向上及び教育実習後の教育実践体験の省察が目標となる。

〈到達目標〉

1. 小学校における教育実習に対する心構えをもち教育実習の内容を理解する。
2. 教育環境の整備、授業の準備、学習指導の方法等、教育活動、学習指導の在り方を理解する。
3. ICT機器を用いた指導方法、学習形態等を理解し、情報通信技術を授業構成に活用しようとしている。
4. 小学校教師の役割と責任を理解し、教育活動の実践的な認識を深める。

《授業計画》

スクーリングによる面接授業

- 第1回：教育実習記録の記入方法及び留意点の説明
 - 第2回：教育実習実施要項の説明（趣旨、学習指導及び生徒指導の留意点等）
 - 第3回：授業構想及び模擬授業の構想
 - 第4回：学習指導案の作成及び模擬授業の準備
 - 第5回：模擬授業及び事後検討会の実施
 - 第6回：学校・学級経営についての指導
 - 第7回：(事後指導) 教育実習の省察
 - 第8回：(事後指導) 各自の省察をもとにグループ討議（指導の深化）
- 単位認定試験

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『教育実習事前・事後指導（小学校）』

購入本：長瀬善雄編著『教育実践の理論と方法』教育出版、2017

《事前課題》

【事前指導】学習指導案の作成（別途、文書で指示）

《学生持参品》

【事前指導】学習指導案（別途、文書で指示）

【事後指導】実習簿

《学生に対する評価》

レポート、模擬授業、授業への関心・意欲・態度をもとに総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【榎並】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：公立中学校及び国立大学附属小学校において教諭として勤務

【板東】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：公立小学校教諭、公立特別支援学校教諭、小学校教頭、校長、公立幼稚園園長、総合教育センター指導主事として勤務。

科目名	養護実習事前・事後指導	担当教員	齋藤 充子
科目コード	50020	履修方法	面接 (事前・事後レポート有)
単位数	1単位	実施期	1期・2期(事前) 3期・4期(事後)
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	〈事前指導〉遠隔		〈事後指導〉対面

《授業の到達目標及びテーマ》

養護実習事前指導では、実習に対する課題意識や目的意識を持たせるため、実習の意義（理論や知識及び技術の再確認）及び、実習中の諸注意（教員としての言動）を理解させ、事後指導では、実習の体験を次の学びに活かすため、理論と実践の相互関係に焦点を当て、養護教諭としての資質向上を図る。

《到達目標》

1. 学校での養護実習の意義を理解し、実習に向けての心構えを持つことができる。
2. 学校の組織や養護教諭の職務・専門性について説明できる。
3. 養護実習を行う上で必要とされる知識と技能について説明できる。
4. 養護実習を行う上での教育課題とその対応について述べるができる。
5. 実習体験をより効果的にするために、養護実習で学んだことを振り返り、今後の課題につなげることができる。

《授業計画》

【事前指導 1～8 遠隔授業（オンライン）】

1. 養護実習の意義、展開、内容、学校の組織と運営、関係機関・教職員の職務の理解
2. 生徒理解と指導のあり方、特別活動の実際、学校安全、保健教育等、教育課題への対応、保健指導の実際
3. 養護教諭の執務計画、学校保健管理と学校安全管理における養護教諭の役割
4. 実習に対する具体的な対応（1）学習指導案、学習指導要領の保健領域にかかる事項、養護教諭の専門性を生かした保健教育と授業法
5. 実習に対する具体的な対応（2）子どもの発達特性及び健康診断の理論と方法
6. 保健室来室児童生徒への対応（1）健康相談活動と保健指導の実際
7. 保健室来室児童生徒への対応（2）救急処置
8. 実習生としての心得、実習記録簿等の記入

【事後指導 9～10 対面授業】

9. 養護実習を終えての振り返り、保健教育や専門分野の振り返り
10. 養護実習の成果と今後の課題の明確化

《テキスト・購入本》

配本テキスト：「養護実習事前・事後指導」

購入本：静岡県養護教諭研究会編著「養護教諭の活動の実際 第3版」東山書房 2019年

参考書・参考資料等：学校保健・学校安全実務研究会編「新訂版 学校保健実務必携（第5次改訂版）」第一法 2020年

《事前・事後課題》

【事前指導】学習指導案の作成（別途、文書で指示）

【事後指導】養護実習での学び（課題レポート等、別途、文書で指示）

《学生持参品》

【事前指導】養護実習簿

【事後指導】養護実習簿、課題レポート等

《受講注意事項》

【「養護実習事前指導」：オンライン授業】

- ・配本テキスト、購入本、実習簿、指導案の用紙、事前課題を手元に準備してください。
- ・スマートフォンでの参加は不可とします。
- ・出欠確認の際は、カメラON、マイクONにしてください。
- ・事前に課する課題（学習指導案の作成）は、必ず指定様式を使用しデータで通信課へ提出してください（データ提出以外は不可）。
- ・提出した課題を用いて各自が発表しますので指定期日までに必ず提出してください。
- ・提出のない場合は、本授業に参加することはできませんので注意してください。
- ・授業中に新たに課するレポートの提出方法等については、授業において提示します。

【「養護実習事後指導」：対面授業】

- ・配本テキスト、購入本、実習簿を持参してください。
- ・養護実習の学びを発表用PPT（PowerPoint）にまとめて当日持参してください。
- ・発表時間は一人約5分です。
- ・発表内容には次のことを含めてください。
①実習校の紹介 ②実習期間 ③実習での活動 ④特に学んだこと3点

《学生に対する評価》

授業への関心・意欲・態度（発言）、指導案の作成と模擬授業、課題レポート、小テストをもとに総合的に評価する。

*本スクーリングは、養護実習のための事前・事後指導である性格上、可能な限り養護実習の直前に受講することが望ましい。（実習実施要件科目取得期限内）

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：看護師・養護教諭・看護教諭としての勤務経験を有し、大学で養護教諭養成関連科目の教育指導に従事

科目名	教職実践演習(幼・小)／ 教職実践演習(幼・小・中・高)／ 教職実践演習	担当教員	榎並 雅之 板東 克則 小河 晶子 平松美由紀
科目コード	20084／20076／20093	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	3期・4期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

専門分野で学んだ学修知と教育実習等で得られた教育指導力及び保育指導力、生徒指導力等の実践知の更なる統合を図り、教員としての使命感や責任感に裏付けされた確かな実践的指導力を身に付ける。加えて、人間関係を結ぶ力や他者に説明できる表現力、物事の解決策を見出せる問題解決力、他者と心を通わせられる共感力等の能力を培い、「組織人としての教員」の在り方についても学ぶ。また、各校種間における系統や連携を十分意識し、教育現場での問題をより多角的に捉える能力や、ICT機器等を用いた情報通信技術の活用を教育においてどのように実現するのかを具体的に創造する能力についても学修する。具体的な目標として

①学校・幼稚園教育についての理解 ②幼児児童生徒の理解 ③教師としての使命感や責任感、教育的愛情について ④社会性や対人関係能力の重要性 ⑤教育実践の個々のレベルアップ（教材開発、表現技術、授業・保育の構想・展開力、学級経営力等）を図る。⑥教育における情報通信技術の活用について教育現場の状況把握を行い、具体的な活用方法を考察する。

《授業計画》

- 第1回：求められる資質・能力の理解
 - 第2回：履修カルテを用いた省察
 - 第3回：省察内容をグループで交流し資質・能力を観点として焦点化
 - 第4回：発達障がい理解と実践的対応の考察
 - 第5回：小学校の学習指導における専門性の深化
 - 第6回：幼稚園の保育・教育指導における専門性の深化
 - 第7回：生徒指導に関する専門性の深化
 - 第8回：総括（自己の資質・能力に関わる方向性の考察）
- 単位認定試験

《テキスト・購入本》

特になし

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

- ・「履修カルテ」、「教育実習簿」

《学生に対する評価》

- ・レポート、専門領域の指導力、授業への関心・意欲・態度をもとに総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：(榎並)有 (板東)有 (小河)有 (平松)有
2. 実務経験の内容：(榎並)公立中学校及び国立大学附属小学校において教諭として勤務。(板東)公立小学校教諭、公立特別支援学校教諭、小学校教頭、校長、公立幼稚園園長、総合教育センター指導主事の経験有。(小河)神戸市総合児童センター療育部門発達クリニックに勤務。発達障がい児への臨床指導および保護者への教育相談業務従事。(平松)公立幼稚園教諭として勤務。

科目名	教職実践演習(養護)	担当教員	久保 昌子
科目コード	20045	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	3期・4期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

①これまでの学修や養護実習での学びを統合させ、養護教諭の具体的役割の自覚を強くする、②学校現場で児童生徒に十分対応していける資質・能力及び養護教諭としての使命感・責任感・教育的愛情・社会性や対人関係能力・連携力を備えるに至ること、またそれを確かなものとするために現時点での自己課題を明確にすることができる、③子ども理解や健康問題の解決のための支援、保健管理・保健教育等、養護教諭としての確かな実践力・指導力の重要性を認識し備えるに至ることができる、④養護教諭としての医学的知識・看護能力を生かし、救急処置ができることを目標とする。

《授業計画》

1. 「教職実践演習(養護)」を学ぶ意義の確認
2. 学校保健活動の推進
3. 保健教育の実際(模擬授業・相互評価)
4. 養護におけるアセスメント
5. 学校における看護的ケア
6. 子ども理解、養護活動の実際(保健管理、健康相談、保健組織活動)
7. 保健室経営(保健室経営計画案の作成)
8. まとめ(養護教諭に求められる資質・能力)

《テキスト・購入本》

購入本：静岡県養護教諭研究会編著『養護教諭の活動の実際 第3版』東山書房 2019年

《事前課題・学生持参品》

指導案、教材等を作成し持参すること(養護実習で作成したもの可)
「履修カルテ」「養護実習簿」

《服装》

動きやすい服装(スニーカー、運動靴、ポロシャツ、ジャージ等)

《学生に対する評価》

授業課題(50%)、最終試験(50%)により評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：小学校、中学校、高等学校の養護教諭としての勤務経験有。大学で養護教諭養成関連科目の教育指導に従事

科目名	保育実習論Ⅰ	担当教員	和田 真由美 藤重 育子
科目コード	40041	履修方法	面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

保育実習論Ⅰは、保育実習を行うための事前準備を行う科目となります。実習において学びを深められるよう、実習に関するさまざまな知識と技術を得ること、実習に必要なマナーと倫理観を身につけることを目的とします。

授業の到達目標は、①保育実習について理解し、実習に向けての準備に関する知識を得る、②保育所、施設の概要や保育士の仕事、援助や支援の在り方について知り説明できる、③実習記録、指導案等の書き方を知る、④実習において必要なマナーと倫理観を身につける、⑤実習終了後に自分の保育を振り返り、反省点を明確にして保育の実践に関する学びを深める方法を知る、の5つです。

《授業計画》

1. 保育実習Ⅰ（保育所、施設）について理解し、実習課題を考える。
2. 実習に行くまでの流れと準備物を知る（実習依頼、オリエンテーション等）。
3. 保育所の役割と保育士の仕事を知る。
4. 保育所実習の1日の流れを知る。
5. 保育所実習における観察の視点と実習記録の書き方を学ぶ。
6. 子どもの発達過程と遊びを知る。
7. 保育技術を習得する（絵本の読み聞かせ、手遊び、表現遊び、紙芝居など）。
8. 指導案の立て方を学ぶ。
9. 施設の機能と施設保育士の仕事について知る（児童養護施設、乳児院）。
10. 施設の機能と施設保育士の仕事について知る（障がい児施設等）。
11. 施設実習の1日の流れを知る。
12. 施設実習における観察の視点と実習記録の書き方を学ぶ。
13. 施設実習における利用者への支援方法と配慮事項を学ぶ。
14. 実習におけるマナーと倫理を学ぶ。お礼状の書き方を知る。
15. 保育の振り返り、自己評価、省察について学ぶ。

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『保育実習論』戸江茂博・松島京ほか

購入本：『保育所保育指針解説』厚生労働省／編（フレーベル館）2018年

購入本：『改訂版 幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド』小櫃智子・守巧・佐藤恵・小山朝子（わかば社）2023年

購入本：河合高鋭・石山直樹編「保育士をめざす人のための施設実習ガイド」（みらい）

ISBN：9784860155032

《事前課題》

- ①『保育所保育指針解説』（2018年）の全ページを読む。
- ②子どもへの読みみかせに向いていると思う絵本を1冊選ぶ。

《学生持参品》

靴下、動きやすい服装（スカート丈の短いものは避ける）

事前課題②で選んだ絵本

※教科書がない場合は基本的にスクーリングの受講を認めません。必ず持参ください。

《学生に対する評価》

授業内での課題、授業態度を総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【和田】1. 実務経験の有無：無

【藤重】1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

※保育実習Ⅰ終了者が受講対象です。
 学習(修)便覧で受講要件を満たしているか確認してから受講申請を行ってください。
 原則、保育実習Ⅱ開始直前のスクーリングを受講してください。(実習実施要件単位取得期限までに)

科目名	保育実習論Ⅱ	担当教員	和田 真由美
科目コード	40042	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本	本学にて購入手続き	
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

保育実習論Ⅱは、保育所での実習を行うための事前準備を行う科目となります。保育実習において学びを深められるよう、実習に関するさまざまな知識と技術を得ること、実習に必要なマナーと倫理観を身につけることを目的とします。保育実習Ⅱでは、保育実習Ⅰでの学びを踏まえ、さらに保育の技術や子ども理解を深めていきます。

授業の到達目標は、①実習のために必要な準備を行う、②保育の実際における指導・援助の在り方を学ぶ、③指導案を立案できる、④実習において必要なマナーと倫理観を身につける、⑤実習終了後に自分の保育を振り返り、反省点を明確にして保育の実践に関する学びを深める方法を知る、の5つです。

《授業計画》

1. 保育実習Ⅱについて理解し、実習課題を考える。
2. 子どもの発達と遊びについて学ぶ。
3. 環境構成と保育者の援助について学ぶ。
4. 教材研究を行う。
5. 指導案を立てる。
6. 模擬保育を行う。
7. 模擬保育の評価・反省を行い、保育を行う上での配慮事項を確認する。
8. 保育の振り返り、自己評価、省察について学ぶ。

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『保育実習論』戸江茂博・松島京ほか

購入本：『保育所保育指針解説』厚生労働省／編（フレール館）2018年

購入本：『改訂版 幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド』小櫃智子・守巧・佐藤恵・小山朝子（わかば社）2023年

《事前課題》

4歳児クラス20名、30～40分の指導案を書いてくる。用紙は大学から取り寄せてください。

《学生持参品》

靴下、動きやすい服装（スカート丈の短いものは避ける）
 作成した指導案

《学生に対する評価》

授業内での課題（模擬保育を含む）、授業態度を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

※保育実習Ⅰ終了者が受講対象です。
 学習(修)便覧で受講要件を満たしているか確認してから受講申請を行ってください。
 原則、保育実習Ⅲ開始直前のスクーリングを受講してください。(実習実施要件単位取得期限までに)

科目名	保育実習論Ⅲ	担当教員	藤重 育子
科目コード	40043	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

保育実習Ⅲのための事前指導を行う。授業の到達目標は、①実習のために十分な準備を行うこと、②現場における子ども(利用者)の活動や保育士の業務や援助のあり方を学ぶこと、③実習終了後、自分の援助を振り返り、反省点を明確にして援助の実際について深めることである。

《授業計画》

1. 保育実習Ⅲの意義と留意事項
2. 児童福祉施設等(保育所以外)の役割と機能
3. 施設における支援の実際(1)受容と共感、子どものニーズと子ども理解
4. 施設における支援の実際(2)個別支援計画の作成と実践
5. 施設における支援の実際(3)家族への支援と対応、専門職・地域との連携
6. 施設における支援の実際(4)保育士の多様な業務と職業倫理
7. 実習実施の理解と実習課題の設定、オリエンテーション等について
8. 実習記録(施設)の書き方

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『保育実習論』

購入本：河合高鋭・石山直樹編「保育士をめざす人のための施設実習ガイド」(みらい)
 ISBN：9784860155032

《事前課題》

購入本の自身の実習に係る該当ページを読んでおくこと。

《学生持参品》

『保育所保育指針解説』

テキスト・購入本

※教科書がない場合は基本的にスクーリングの受講を認めません。必ず持参ください。

《学生に対する評価》

参加態度、授業中の課題で総合的に評価します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

教科科目・幼稚園教職科目

科 目 名	ページ
保育内容（環境Ⅰ）	85
保育内容（環境Ⅱ）	86
保育内容（健康Ⅰ）	87
保育内容（健康Ⅱ）	88
保育内容（人間関係Ⅰ）	89
保育内容（人間関係Ⅱ）	90
保育内容（表現）	91
保育内容（言葉）	92
保育の表現技術（造形）／造形表現	93
体育	94
図画工作Ⅱ ※令和4年度3年次編入生・令和3年度以前入学生対象	95
音楽Ⅲ（声楽）	96
音楽Ⅱ（ピアノ）	97
音楽Ⅳ（器楽）	98
保育の表現技術（言語）／言語表現	99
保育の表現技術（合奏）	100
こどもと音楽表現Ⅰ（ピアノ）／保育の表現技術（ピアノ）／音楽表現（ピアノ）第1段階	101
こどもと音楽表現Ⅰ（ピアノ）／保育の表現技術（ピアノ）／音楽表現（ピアノ）第2段階	102
保育の表現技術（声楽）／音楽表現（声楽）	103
保育の表現技術（身体）／身体表現	104
書写	105
図画工作 ※令和5年度以降入学生・令和4年度1年次入学生・ 令和4年度科目等履修生対象	106
音楽	107

科目名	保育内容(環境Ⅰ)	担当教員	川淵 博祥
科目コード	30091	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

乳児から幼児への時期には、自己とは異なる身の回りの事象との関わりを認識し始める。この講義では、特に、自然事象について考え、「それらを子ども達がどのように捉え、その後の生活においてどのような関わりを持つか」について、教える側としての認識と知識を確認する。

保育所・幼稚園・認定こども園の環境のねらいを知り、具体的な指導場面を想定しての保育を構想する。

《授業計画》

基本的には、講義形式が中心となるが、適宜、課題演習形式や情報機器、戸外での観察・採集など参加型授業も行う。

1. 発達段階と環境：発達段階と環境との関わり。小学校とのつながり。新旧の環境領域の比較
2. 植物と環境：植物との関わりを理解する
3. 動物と環境：動物との関わりを理解する
4. 学校園外の植物等の観察や採集を行う
5. 身近な自然環境：四季の自然を生かす
6. 指導計画、模擬保育を通じた評価を行う
7. 自然と生活の関係について考える
8. まとめ

《テキスト・購入本》

配本テキスト：幼稚園教育要領解説（平成30年3月）

※幼稚園、保育士コース以外の履修者は当日プリントを配付します。

適宜プリントを配付する。

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

受講態度 20%

提出物 30%

単位認定試験 50%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：小学校教諭、県・市教育委員会管理指導主事(幼稚園教育等担当)等、附属小学校副校長、小学校校長として勤務

科目名	保育内容(環境Ⅱ)	担当教員	大嶋 健吾
科目コード	30096	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

子どもは周囲の環境から多様な影響を受け様々なことを学んでいく。本講では「ひと・もの・こと」をはじめとした、子どもを取り巻く環境について理解を深めていくとともに、子どもの身近な環境について考え、環境を通して行う保育について学ぶとともに、子どもへの最適な社会環境を追求する。

《授業計画》

まず、幼稚園教育要領や保育所保育指針、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領に示されている内容の概要から乳幼児期の教育・保育における基礎的な知識と技術の理解、習得を目指す。保育実践記録を読み込みながら、子どもがどう主体的・自発的に身近な環境に関わることで遊びや活動につながっていくのか、保育者として子どもにとってより良い環境構成・再構成とは何か、果たすべき役割とは何かについて考える。

1. 保育・幼児教育の基本と領域「環境」とは
2. 環境を通して行う保育とは
3. 子どもの身近な環境：物的環境と関わって遊ぶ
4. 子どもの身近な環境：自然を取り入れて遊ぶ～自然の特性を活かして～
5. 子どもの身近な環境：生き物とのかかわりを通した子どもの学び
6. 子どもの身近な環境：文字や標識、数や図形への関心
7. 子どもの身近な環境：生活のなかでの情報に興味や関心を持ち遊びへとつなげる
8. 海外における保育環境と現代社会における課題と子どもを取り巻く環境

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『幼稚園教育要領解説』文部科学省／著（フレーベル館）

配本テキスト：『保育所保育指針解説』厚生労働省／編（フレーベル館）

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

授業態度30%＋授業内レポート20%＋単位認定試験50%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：保育士としての勤務経験有

科目名	保育内容(健康Ⅰ)	担当教員	抱江 賢治
科目コード	30092	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うために必要な基本的知識、内容、方法を理解、習得する。

〈到達目標〉

- ・「健康」概念の変遷とこどもの置かれている「健康」状態と課題が説明できる。
- ・幼稚園教育要領における領域「健康」のねらいと内容を説明できる。
- ・こどもの発育・発達について、身体的・精神的・社会的側面から説明できる。
- ・こどもを取り巻く環境の現状と環境（人的・物的）整備の視点を説明できる。
- ・幼児期に習得したい基本的生活習慣と食育について、内容と方法が説明できる。

《授業計画》

1. 健康に関する世界の流れ／人間の権利と健康／こどもの健康の今日的課題
2. 幼稚園教育の指導計画と評価について／領域「健康」のねらいと内容
3. こどもの身体的発達の実際①（筋・骨格系／神経系／循環器系・消化器系／発達を促す視点と取組み）
4. こどもの身体的発達の実際②（運動系（上肢・手／下肢・足の指／土踏まず／発達を促す視点と取組み））
5. こどもの精神的発達と社会的発達の実際／発達を促す視点と取組み
6. こどもを取り巻く環境の現状と課題
7. 基本的生活習慣（食事／睡眠／排泄／清潔／衣服の着脱）
8. 食育と栄養

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『幼稚園教育要領解説（平成30年3月）』文部科学省（フレーベル館）

配本テキスト：『保育所保育指針解説（平成30年3月）』厚生労働省（フレーベル館）

配本テキスト：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）』内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館）

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

※必要に応じて印刷資料を配布します。

参考図書：『保育者をめざすあなたへ 子どもと健康（第3版）』（2025）勝木洋子監修（みらい）

《事前課題》

特になし

《学生に対する評価》

単位認定試験（80％）授業態度（20％）

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：生涯学習・青少年教育団体（NPO法人YMCA）にて、チャイルドケアセンター（名称。こども園にあたるもの）の設立（施設整備、行政手続き、指導者採用等）及びその運営管理（募集・広報、保育現場における子どもたちへの指導、保護者対応、地域連携、指導者トレーニングを含む、等）に副園長として従事

科目名	保育内容(健康Ⅱ)	担当教員	抱江 賢治
科目コード	30097	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うために必要な基本的知識、内容、方法を理解、習得する。

〈到達目標〉

- ・「遊び」の概念を理解したうえで、こどもの「遊び」の発達について説明できる。
- ・乳幼児期から児童期にかけての運動発達について説明できる。
- ・伝統的行事や園における年間行事について説明できる。
- ・虐待の内容を説明でき、いのちの大切さを育む教育・保育を考えることができる。

《授業計画》

1. 「遊び」について①（「諸説」紹介／教育・保育における「遊び」の重要性／「遊ばれる」ことから「遊ぶ」ことへ）
2. 「遊び」について②（「遊ぶ」ことを学ぶ（ふり遊び／空想遊び／役割遊び／ごっこ遊び））
3. 運動遊び①（生活の中に見る動き（基本的な動作）／幼児期運動指針／乳児期～幼児期～児童期の運動発達）
4. 運動遊び②（運動指導の在り方と教育・保育者の役割／事例紹介）
5. 模擬保育提案（指導案作成の視点／模擬保育／ふりかえり）
6. 伝統行事と園行事
7. 安全教育と安全管理（事故や病気・ケガの特徴／感染症／救命処置と応急処置／育むべき基本的な力／備えと避難行動／事例紹介）
8. 虐待といのちの教育（虐待の種類と内容／こどもに及ぼす影響／法律／「生」と「死」／いのちを学ぶ園の環境構成）

※視聴覚教材・情報機器端末の有効利用について紹介します。

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『幼稚園教育要領解説（平成30年3月）』文部科学省（フレーベル館）

配本テキスト：『保育所保育指針解説（平成30年3月）』厚生労働省（フレーベル館）

配本テキスト：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）』内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館）

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

※必要に応じて印刷資料を配布します。

参考図書：『幼児期における運動発達と運動遊びの指導』（2014）杉原 隆・河邊貴子編著（ミネルヴァ書房）

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

運動のできる服装、体育館シューズ、タオル、水分補給物、マスク

※2期は寒さ対策のため、上に羽織るものが必要です。

《学生に対する評価》

単位認定試験（70%） 模擬保育（10%） 授業態度（20%）

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：生涯学習・青少年教育団体（NPO法人YMCA）にて、チャイルドケアセンター（名称。こども園にあたるもの）の設立（施設整備、行政手続き、指導者採用等）及びその運営管理（募集・広報、保育現場における子どもたちへの指導、保護者対応、地域連携、指導者トレーニングを含む、等）に副園長として従事

※原則、人間関係Ⅰを受講してから、人間関係Ⅱを受講してください。

科目名	保育内容(人間関係Ⅰ)	担当教員	平松 美由紀
科目コード	30093	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

幼稚園教育要領、保育所保育指針における領域「人間関係」のねらい・内容・内容の取扱い（配慮事項）を理解して、実践展開に向けての構想力を育む。

乳幼児期の人間関係がどのように育っていくかを学び、子どもの自立心や人とかかわる力を養うために必要となる保育・教育の実践方法や援助方法についての理解を深めることを目標とする。

《授業計画》

- 第1回：オリエンテーション 「こどもと人間関係」についての目標・概要を理解する
領域「人間関係」がめざすもの
- 第2回：人間関係とは -現代社会の中で-
- 第3回：生態学的環境として関係をとらえる
領域「人間関係」の基礎知識
- 第4回：発達年齢の特徴から考える -0・1・2歳児の人とのかかわり-
- 第5回：発達年齢の特徴から考える -幼児期の遊びや生活における人とかかわり-
- 第6回：幼児期の協同性・道徳性・規範意識の芽生えと育ち（ICTによるドキュメンテーション作成）
- 第7回：乳幼児期の人間関係の広がり -家庭～園～地域の関係性の中で-
- 第8回：幼児期に育みたい資質・能力と人間関係 -乳児期・幼児期・学童期の育ちのつながりを考える-

《テキスト・購入本》

- 配本テキスト：幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館
配本テキスト：保育所保育指針解説 厚生労働省 フレーベル館
配本テキスト：幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府 文部科学省 厚生労働省 フレーベル館
※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。
- 購入本：『体験する・調べる・考える 領域人間関係』 田宮縁著 萌文書林
※「こどもと人間関係」履修者は配本テキストです。

（参考書・参考資料等）

無藤 隆監修 岩立京子編者代表『事例で学ぶ 保育内容 領域人間関係』萌文書林、講義の中で適宜プリントを配布する。

《事前課題》

幼稚園教育要領及び保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「人間関係」のねらい及び内容を把握しておくこと。

《学生持参品》

動きやすい服装

《学生に対する評価》

受講態度及び単位認定試験の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：公立幼稚園教諭勤務経験有

※原則、人間関係Ⅰを受講してから、人間関係Ⅱを受講してください。

科目名	保育内容(人間関係Ⅱ)	担当教員	平松 美由紀
科目コード	30098	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

- 領域「人間関係」におけるねらいと内容について理解を深めるとともに、生活場面における幼児のさまざまな「人との関わり」とその育ちについて学んでいく。
- 教育の場で、一人一人が大切にされ、また互いに豊かな関わり合いがもてるような集団を形成するには、どのような課題があるのかを、保育における人間関係を様々な側面から考察し、現場での実践やその振り返りの際の幅広い視点を得ることが目標である。

《授業計画》

- 第1回：幼児教育の基本 幼稚園教育要領及び保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「人間関係」を理解する
- 第2回：乳幼児期の発達と領域「人間関係」
- 第3回：人との関わりが育まれる遊び（指導計画作成、模擬保育）①（ICT活用）
- 第4回：人との関わりが育まれる遊び（指導計画作成、模擬保育）②（ 〃 ）
- 第5回：個と集団の育ちを考える－関わり合いを生かす援助－
- 第6回：幼児の協同的な活動を考える－ふれあい遊び－（保育の評価）
- 第7回：地域の中の園として－様々な人との関わり－（ 〃 ）
- 第8回：人との関わりを育む保育者の役割と小学校との連携
今日的課題・まとめ

《テキスト・購入本》

- 配本テキスト：幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館
 - 配本テキスト：保育所保育指針解説 厚生労働省 フレーベル館
 - 配本テキスト：幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府 文部科学省 厚生労働省 フレーベル館
- ※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

《学生持参品》

動きやすい服装。

《学生に対する評価》

受講態度及び単位認定試験の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：公立幼稚園教諭勤務経験有

科目名	保育内容(表現)	担当教員	藤重 育子
科目コード	30099	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

- 領域「表現」の基本的な知識を理解する。
- 子どもの「表現」をより豊かに育む援助方法を学ぶ。
- 実践を通して、保育者自身の表現力を身につける。

《授業計画》

1. 子どもの感性と表現①(領域「表現」)
2. 子どもの感性と表現②(身体的、造形的、音楽的表現)
3. 子どもの感性と表現③(他領域との関連)
4. 領域「表現」と小学校教科等のつながり
5. 保育実践①(手遊び、わらべうた)
6. 保育実践②(素話、シアター)
7. 保育指導案作成と模擬保育
8. 幼児の表現意欲を高める保育者の援助、まとめ

《テキスト・購入本》

購入本：『アクティベート保育学11 保育内容「表現」』（ミネルヴァ書房）ISBN978-4-623-08860-7

《事前課題》

廃材を利用した玩具を2つ(乳児用・幼児用)作り、その遊び方と予想される子どもの反応をまとめてくる(様式は自由)。

《学生持参品》

テキスト、動きやすい服装、課題で作製した玩具とレポート。大学ノート(B5版罫線付き)1冊(もしくは、過去に藤重の担当科目で「手遊びノート」を作成した人はそのノートを持参)。
※教科書がない場合は基本的にスクーリングの受講を認めません。必ず持参ください。

《学生に対する評価》

受講態度及び実践、レポートなどを総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

※入学年度によって履修方法が異なります。入学年度の開講科目一覧を確認してください。

科目名	保育内容(言葉)	担当教員	藤重 育子
科目コード	31095	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本	本学にて購入手続き	
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

- ・領域「言葉」の保育内容を学び、保育の中でどのように達成していくのかを子どもたちの遊びの姿や保育指導の事例等から理解を深める。
- ・乳幼児の言葉の発達、言葉を育む保育環境を理解し、保育者としての知識や実践力を身につけることができる。
- ・保育実践に活かす力をつけるため、児童文化財の研究を行う。その際グループワークや制作活動を取り入れ保育者としての表現力や実践力を身につける。

《授業計画》

- 第1回：保育内容(言葉)の目標と内容を理解
- 第2回：月齢ごとの言葉の発達の特徴理解
- 第3回：児童文化財の扱い方、事例研究①
- 第4回：児童文化財の扱い方、事例研究②
- 第5回：保育内容の他領域との関係
- 第6回：小学校「国語」への連携についての理解
- 第7回：言葉の育ちにかかわる諸課題
- 第8回：学習のまとめ

《テキスト・購入本》

購入本：『新 保育ライブラリ・保育の内容・方法を知る 保育内容 言葉』小田豊・芦田宏（北大路書房）ISBN978-4-7628-2631-3

配本テキスト：「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館

配本テキスト：「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

《事前課題》

乳児／幼児対象の絵本を1冊ずつ選択し、あらかじめ練習しておくこと。

《学生持参品》

購入本、事前課題で選んだ絵本(乳児用・幼児用)を持参。大学ノート(B5版罫線付き。もしくは、過去に藤重の担当科目で「手遊びノート」を作成した人はそのノートを持参)。のり・はさみを含む文具。

※教科書がない場合は基本的にスクーリングの受講を認めません。必ず持参ください。

《学生に対する評価》

授業参加度及び演習成果(事前準備、提出物含める)など総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

科目名	保育の表現技術(造形)／ 造形表現	担当教員	井上 龍彦
科目コード	20100/24100	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

こどもにとって造形活動とは何か？好きなものや、やりたいことなど子どもにとって遊びがものごとの発見であり、体験でもあるので、大きな意味をもっている。こどもは発達と共に感性も広がりを見せ、いろいろなことに興味を持ち、体験してゆく。子どもたちは、無限の可能性を持っており、いかにしてひとつでも多くの可能性を引き出す手助けができるか？この授業では上記のことを踏まえ、幼稚園、保育所（こども園）での表現（造形表現）におけるこどもの発達段階も交えながら、製作を行い、模擬保育も含めて助言方法や技術的なことを身につけてもらう。

《授業計画》

1. 人と造形表現について
2. 造形教育の変遷、発達段階と表現活動について
3. 幼稚園教育要領、保育所保育指針について
4. 描画材料について、課題演習
5. 設定保育・保育案について
6. 模擬保育 グループワーク、製作
7. 模擬保育 グループでの発表（情報通信技術を利用）
8. 身近な素材でのおもちゃづくり 課題演習

《テキスト・購入本》

- 参考図書として「保育をひらく造形表現」榎 英子（萌文書林）、「幼児造形の基礎」樋口一成（萌文書林）
 ・購入本：『幼稚園教育要領解説』文部科学省／著（フレーベル館）
 ・購入本：『保育所保育指針解説書』厚生労働省／編（フレーベル館）
 ※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。
 その他：プリント配布

《事前課題》

季節に関連する園の行事や、それらに関する表現について図書等で見ておくようにしてください。

《学生持参品》

制作作業が行いやすい服装、スティックのり、濃いめの鉛筆、カラーペン（8色程度）、折り紙（色紙）、はさみ、カッターナイフ等、セロテープ

《学生に対する評価》

受講態度（10%）、模擬保育も含む実技課題（70%）、小問題（20%）等を勘案して総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：短大（児童教育学科）兼任講師、大学短大部（児童教育学科）兼任講師

科目名	体育	担当教員	柳本 有二
科目コード	34094	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	(初日：遠隔) 9:00~18:00+ (二日目：対面) 9:00~13:00		

《授業の到達目標及びテーマ》

本授業では、講義前半は、体育の概念および子どもの身心の発育特性や運動生理学的特性を理解する。また、子どもが主体的に身体活動を行うことができるための実践的な指導方法を理解する。

講義後半では、体育およびオリンピックの歴史の変遷からこれからの体育の在り方について理解する。

なお、受講生の人数によって、適宜内容を変更することがある。

《授業計画》

1. オリエンテーション。
2. 体育の基本について
3. 子どもたちの特徴（ライフステージ別運動方法など）
4. 子どもたちの運動生理学的解説（子どもの発育発達など）
5. 子どもたちの運動生理学的解説（子どもの体力・運動能力など）
6. 具体的な各運動系の授業づくり（例：マット運動・体づくり運動系（ACP））
7. 体育およびオリンピックの歴史の変遷について
8. 全体のまとめ

《テキスト・購入本》

《参考資料》

- ・「今、なぜ@「一斉学習」なのか相互啓発をめざして」東京学芸大学附属世田谷小学校編（東洋館出版）
印刷資料として配布します。

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

《学生に対する評価》

受講態度（授業レポートなど）および単位認定試験の結果を総合して評価する。

《連絡事項》

「体育」は、印刷・面接科目です。担当は、以下のとおりです。

印刷（レポート）：抱江 賢治

面接（スクリーニング）：柳本 有二

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：東京学芸大学附属世田谷小学校教諭

令和4年度3年次編入生・令和3年度以前入学生対象

科目名	図画工作Ⅱ	担当教員	井上 龍彦
科目コード	30090	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

本講義は、小学校の図画工作（幼稚園の造形も含む）の教材研究を行う科目である。しかし、単なる図画工作の教材だけではなく、子どもの絵の表現の発達の道筋をたどりながら、幼児・児童に即した造形表現の教材を視野に入れて、子どもが楽しく造形活動が出来る教材のあり方、支援の仕方、指導のあり方についても考えに入れながら、理論と実技の両面から実践的に研究をする。

講義の中では、子どもの表現や発達をイメージしながら、しかも図画工作・造形の基礎・基本が身につく、実際に役立つような講義と教材研究を展開する。

実技においても単に製作するのではなく、子どもの表現、発達、発想を常にイメージし、教育の現場に立ったときを考えながら製作活動をすることを希望する。

《授業計画》

1. 小学校「図画工作」の教材研究について
2. 身近な素材での教材製作
3. 発達段階と表現の変遷について
4. 複数で表現するおもしろさ 課題制作
5. 色画用紙を使った表現指導について
6. 色画用紙を使つての工作課題
7. 紙パックを使つての課題制作
8. 名画・名作の鑑賞・子どもの造形表現の鑑賞等

《テキスト・購入本》

特になし

必要に応じてプリントを配布する。

《事前課題》

4. の課題に関連する「魚、や「動物、などのイラスト等を描いてもらうので、1~2種類、考えておくこと。(例：カレイ、鯛、犬、象など。)

《学生持参品》

作業等ができる服装

やわらかい鉛筆（4B等）、色鉛筆（8色程度）・カラーペン（8色程度）、色紙セット、のり、はさみ、カッターナイフ等、1リットル紙パック一つ（そのままの形で使用のため、平面にしないこと）、水彩絵の具セットを持っている人は持参下さい。

《学生に対する評価》

受講態度（10%）及び授業課題、筆記物等（90%）の結果を通して総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：短大（児童教育学科）兼任講師、大学短大部（児童教育学科）兼任講師

科目名	音楽Ⅲ(声楽)	担当教員	白石 愛子
科目コード	30106	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔(オンライン)		

《授業の到達目標及びテーマ》

小学校学習指導要領音楽の内容における「呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能」のもと、この授業では声楽における姿勢・呼吸・発声についての基本的な技能・知識を学び、演習することで歌唱技術を高め、歌唱指導の充実へと繋げていく。また音楽解釈をもとに歌唱表現を深め、曲の特徴にふさわしい楽曲表現ができることが目標である。

《授業計画》

1. 幼稚園教育要領と小学校学習指導要領の内容について
2. 歌唱基礎(1) 姿勢と呼吸
3. 歌唱基礎(2) 発声器官
4. 歌唱基礎(3) わらべうた、唱歌、童謡について
5. 歌唱基礎(4) 小学校歌唱共通教材について
6. 歌唱実践(1) 歌唱を通した様々な表現(重唱、合唱)
7. 歌唱実践(2) 歌唱を通した様々な表現(弾き歌い)
8. 歌唱実践(3) 歌唱を通した様々な表現(音楽劇)

《テキスト・購入本》

購入本：声楽教本(森田百合子著、教育芸術社出版、2011)

参考図書：幼稚園教育要領(文部科学省)、小学校学習指導要領(文部科学省)

《事前課題》

特になし。

《学生持参品》

筆記用具、飲み物、クレヨンもしくは色鉛筆

購入本を必ず持参すること。

《学生に対する評価》

授業態度20%、授業内課題30%、歌唱実技試験50%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：小学校非常勤講師、高等学校非常勤講師(音楽)。国内外の演奏会にて声楽ソリストとして活動し、オーストリア(ウィーン)にてプロの合唱団に雇用され、演奏活動をおこなった。

科目名	音楽Ⅱ(ピアノ)	担当教員	山本 千紗
科目コード	30105	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

幼児の調和のとれた心身の発達を促すものは、教師・保育者の意図的・計画的な指導によることを踏まえ、幼児の発達や学びの過程に合った教材を精選する知識と、保育者として幼児の成長を促す音楽的活動を創造する力を身につけることを目的とする。

〈到達目標〉

1. 幼稚園教育要領、保育所保育指針における領域「表現」のねらい及び内容を理解する。
2. 幼児の発達や学びの過程を理解し、それぞれの段階に合った教材を精選する知識を身につける。
3. 保育・幼児教育における音楽の位置付けについて理解し、幼児の成長を促す音楽的活動を創造する力を習得する。

《授業計画》

1. ピアノの基礎的奏法の習得①(ピアノ曲)
2. ピアノの基礎的奏法の習得②(弾き歌い)
3. ピアノの基礎的奏法の確認と復習①(姿勢・運指)
4. ピアノの基礎的奏法の確認と復習②(平易な伴奏法)
5. コード(和音)の理解
6. 読譜力の強化①(拍と音程の認識)
7. 読譜力の強化②(曲想の認識)
8. 筆記試験および事前課題による実技試験、総括

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『音楽Ⅱ(ピアノ)』

参考図書：『幼稚園教育要領』(文部科学省)『保育所保育指針』(厚生労働省)

参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』(内閣府・文部科学省・厚生労働省)

《事前課題》

バイエル48番、バイエル58番、バイエル66番、弾き歌い「むすんで ひらいて」(ハ長調)または「ふしぎなポケット」(ト長調)の4曲。全て配本テキストに掲載あり。

配本テキストP.95に弾き歌い教材の取り組み方を記載しているので、確認すること。

《学生持参品》

筆記用具、五線紙

《学生に対する評価》

事前課題40%、単位認定試験60%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：本学以外の大学でも「音楽科教育法」を担当。音楽教室でのリトミッククラスの指導経験やピアニストとしての様々な演奏活動を持つ。

科目名	音楽Ⅳ(器楽)	担当教員	杉山 雄一
科目コード	30107	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

この授業では音をイメージし、楽器によって発音することで、さまざまな表現をしていく。特にヴァイオリンを用い、弦楽器特有の表現方法を習得しながら、多様な音色による幅広い表現を追求し、こどもの表現についての理解を深める。

- ・ヴァイオリンによるさまざまな表現法について理解し、習得する。
- ・こどもが「音楽によって自らを表現する楽しさを感じ、喜びを味わう」ことを支援する力を身につける。

《授業計画》

1. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」①〈ヴァイオリンの性質の理解〉
2. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」②〈運弓と音質〉
3. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」③〈運指の学習〉
4. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」④〈わらべ歌による表現〉
5. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」⑤〈移弦による表現の多様性〉
6. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」⑥〈童謡による表現〉
7. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」⑦〈ヴァイオリンのアンサンブル〉
8. こどもの発達と弦楽器を通した「表現（音楽）」⑧〈まとめ〉

《テキスト・購入本》

授業を進める上で必要に応じて適宜楽譜などの資料を配布する

《事前課題》

ヴァイオリンの概要（どんな楽器か、どのような演奏方法があるか、など）について予習すること。

《学生持参品》

筆記用具 五線紙

《学生に対する評価》

授業態度（20%）、課題提出（20%）、単位認定試験（60%）

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：大阪シンフォニカー（現大阪交響楽団）首席ヴィオラ奏者、明石フィルハーモニー管弦楽団演奏委員として勤務経験有。高等学校教員非常勤講師（音楽科）として勤務経験有

※原則、保育内容(言葉)を受講してから、保育の表現技術(言語)／言語表現を受講してください。

科目名	保育の表現技術(言語)／ 言語表現	担当教員	藤重 育子
科目コード	20098 / 24098	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

乳幼児期の保育・教育において育みたい資質・能力について理解し、幼稚園教育要領・保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「言葉」のねらい及び内容について、背景となる専門領域と関連させて理解を深める。また、乳幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、具体的な指導場面を想定しながら保育を構想する力を身に付ける。

1. 幼稚園教育要領に示された保育内容の領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。
2. 各領域との関連のなかで、領域「言葉」を捉える視点を身に付ける。
3. 幼児の発達や学びの過程を理解するとともに、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する力を身に付ける。
4. 模擬授業の実施とその振り返りを通して、保育を実践する力を身に付ける。

《授業計画》

1. 領域「言葉」、言葉を豊かにすることば遊び
2. こどもの言葉を育む児童文化財・言葉と歌、手あそび
3. 保育教材研究（絵本・紙芝居）
4. 保育教材研究（ペープサート）
5. 保育教材研究（手作りシアター①）
6. 保育教材研究（手作りシアター②）
7. 季節に合ったお話 書き言葉、言葉を豊かにする保育環境
8. 現代における言葉の諸問題

《テキスト・購入本》

配本テキスト：「幼稚園教育要領解説」（平成30年 文部科学省）

配本テキスト：「保育所保育指針解説」（平成30年 厚生労働省）

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

購入本：『新 保育ライブラリ・保育の内容・方法を知る 保育内容 言葉』小田豊・芦田宏（北大路書房）※保育内容(言葉)で使用したものです。

《参考書・参考資料等》（スクーリングに持参する必要はありません）

- ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（平成30年 内閣府・文部科学省・厚生労働省）
- ・『言葉と表現力を育む児童文化』川勝泰介・浅岡靖央・生駒幸子編著、萌文書林

《事前課題》

絵本を1冊選んで持ってくる（選んだ理由を紙に書いてくる※書式は自由）。

《学生持参品》

動きやすい服装、事前課題の絵本、（はさみ、のり）を含む筆記用具、大学ノート（B5版罫線付き）1冊（もしくは、過去に藤重の担当科目で「手遊びノート」を作成した人はそのノートを持参）。テキスト※教科書がない場合は基本的にスクーリングの受講を認めません。必ず持参ください。

《学生に対する評価》

模擬保育を含む実技演習、受講態度をもとに総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

科目名	保育の表現技術(合奏)	担当教員	杉山 雄一
科目コード	20099	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

本授業では、こどもの表現活動の立場から音楽をとらえる。そのために、1つ1つの楽器を使った表現に始まり、それらを重ね合わせる表現、つまり合奏について様々な角度からアプローチし、考察する。

ダルクローズ・コダーイ・オルフの音楽教育を踏まえこどもの表現活動について理解すること、また楽器を使った表現について習熟することが到達目標である。

《授業計画》

1. こどもと音楽表現：こどもの発達と「表現（音楽）」について考え、理解する
2. ダルクローズの音楽教育：身体を使った表現とリズムについて学び、実践する
3. コダーイの音楽教育：わらべ歌やリズム唱による音楽表現の効果について学ぶ
4. オルフの音楽教育：オルフ楽器について学び、合奏を実践する
5. 編曲法：こどもの「表現（音楽）」を念頭に置いた編曲法を習得する
6. 指揮法：こどもの「表現（音楽）」をサポートできる指揮について考え、実践する
7. 合奏の実践：様々な表現法を試み、音色を探求しながら合奏する
8. 成果発表と総括：合奏実践の成果発表を行い、楽器を通じたこどもの「表現（音楽）」について、またこどもと音楽との関わりについてまとめる

《テキスト・購入本》

授業を進める上で必要に応じて適宜楽譜などの資料を配布する

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

筆記用具

《学生に対する評価》

授業態度（20%）、課題提出（20%）、単位認定試験（60%）

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：大阪シンフォニカー（現大阪交響楽団）首席ヴィオラ奏者、明石フィルハーモニー管弦楽団演奏委員として勤務経験有。高等学校教員非常勤講師（音楽科）として勤務経験有

科目名	こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)/保育の表現技術(ピアノ)/音楽表現(ピアノ)第1段階	担当教員	渡邊 君佳 山本 千紗
科目コード	30035/20096/24096	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	5期～10期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

幼児の調和のとれた心身の発達を促すものは、教師・保育者の意図的・計画的な指導によることを踏まえ、幼児から伸び伸びとした表現を引き出すピアノ演奏について学ぶ。保育・幼児教育における音楽の位置付けを理解し、保育者として幼児の成長を促す音楽的活動を創造する力を身につけることを目的とする。

＜到達目標＞

1. 幼稚園教育要領、保育所保育指針における領域「表現」のねらい及び内容を理解する。
2. 幼児の発達や学びの過程と、保育・幼児教育における音楽との関わりについて理解を深める。
3. 保育実践において表現領域から幼児の成長を促す援助のあり方を習得する。

《授業計画》

幼児教育要領、保育所保育指針の領域「表現」のねらい及び内容を踏まえ、幼児期における音楽的活動について学習する。第1段階では、ピアノの基礎的奏法を習得した上で、教師・保育者に求められる豊かな音楽表現能力について学習する。第2段階では、幼児教育（初等教育との関連を含む）における表現活動の意味・目的を理解した上で、幼児の発達や学びの過程についての知識を深めるとともに、幼児の心身の発達および成長を促す音楽的活動を創造する力とその指導法を習得する。

1. 事前課題による実技試験、ピアノの基礎的奏法の確認①
2. 豊かな表現を目指した弾き歌い①
3. 音楽の基礎的知識の習得
4. 幼児から伸び伸びとした表現を引き出すピアノ奏法①（ピアノの特殊奏法、図形譜の理解と工夫）
5. 創作表現の発表、第2段階に向けて事前課題の練習方法の確認

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『保育の表現技術（ピアノ）』

その他：適宜、資料を配布

参考図書：『幼稚園教育要領』（文部科学省）『保育所保育指針』（厚生労働省）

参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（内閣府・文部科学省・厚生労働省）

《事前課題》

pp.50～51参照

配本テキストP.105に弾き歌い教材の取り組み方を記載しているので確認すること。

《学生持参品》

五線紙

《学生に対する評価》

事前課題80%、単位認定試験20%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【山本】1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：本学以外の大学でも「音楽科教育法」を担当。音楽教室でのリトミッククラスの指導経験やピアニストとしての様々な演奏活動を持つ。

【渡邊】1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：専門学校（保育系）の講師として勤務経験有

科目名	こどもと音楽表現Ⅰ(ピアノ)/保育の表現技術(ピアノ)/音楽表現(ピアノ)第2段階	担当教員	山本 千紗 渡邊 君佳
科目コード	30035/20096/24096	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	5期～10期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

幼児の調和のとれた心身の発達を促すものは、教師・保育者の意図的・計画的な指導によることを踏まえ、幼児から伸び伸びとした表現を引き出すピアノ演奏について学ぶ。保育・幼児教育における音楽の位置付けを理解し、保育者として幼児の成長を促す音楽的活動を創造する力を身につけることを目的とする。

＜到達目標＞

1. 幼稚園教育要領、保育所保育指針における領域「表現」のねらい及び内容を理解する。
2. 幼児の発達や学びの過程と、保育・幼児教育における音楽との関わりについて理解を深める。
3. 保育実践において表現領域から幼児の成長を促す援助のあり方を習得する。

《授業計画》

幼児教育要領、保育所保育指針の領域「表現」のねらい及び内容を踏まえ、幼児期における音楽的活動について学習する。第1段階では、ピアノの基礎的奏法を習得した上で、教師・保育者に求められる豊かな音楽表現能力について学習する。第2段階では、幼児教育（初等教育との関連を含む）における表現活動の意味・目的を理解した上で、幼児の発達や学びの過程についての知識を深めるとともに、幼児の心身の発達および成長を促す音楽的活動を創造する力とその指導法を習得する。

1. 事前課題による実技試験、ピアノの基礎的奏法の確認②
2. 豊かな表現を目指した弾き歌い②
3. 音楽の基礎的知識の確認
4. 幼児から伸び伸びとした表現を引き出すピアノ奏法②（絵本題材として）
5. 筆記試験、幼児のための音楽的活動とその援助に必要な保育者の音楽的能力

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『保育の表現技術（ピアノ）』

その他：適宜、資料を配布

参考図書：『幼稚園教育要領』（文部科学省）『保育所保育指針』（厚生労働省）

参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（内閣府・文部科学省・厚生労働省）

《事前課題》

pp.50～51参照

配本テキストP.105に弾き歌い教材の取り組み方を記載しているので確認すること。

《学生持参品》

五線紙

《学生に対する評価》

事前課題80%、単位認定試験20%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

- 【山本】 1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：本学以外の大学でも「音楽科教育法」を担当。音楽教室でのリトミッククラスの指導経験やピアニストとしての様々な演奏活動を持つ。
- 【渡邊】 1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：専門学校（保育系）の講師として勤務経験有

科目名	保育の表現技術(声楽)／ 音楽表現(声楽)	担当教員	白石 愛子
科目コード	20097/24097	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

領域「表現」における「音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。」のもと、本授業では自然な発声と正しい音程で、楽しみながら歌唱表現する能力を身につけることを目標とする。また保育の場で歌われる子どもの歌を習得し、それを子どもの音楽的表現の発達に合わせて指導する力を培う。

《授業計画》

1. 保育における領域「表現」と領域「環境」の内容と子どもの発達
2. 発声の基本と読譜について
3. 歌における様々な音楽表現 (1) わらべうた、生活の歌、季節の歌、愛唱歌
4. 歌における様々な音楽表現 (2) 歌とリズム楽器
5. 歌における様々な音楽表現 (3) 弾き歌い
6. 歌における様々な音楽表現 (4) 視覚的教材による歌唱活動の導入
7. 歌による表現と指導のあり方 (1) 音楽遊びにおける指導案の作成
8. 歌による表現と指導のあり方 (2) 模擬保育の実践とまとめ

《テキスト・購入本》

購入本：『幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育』（神原雅之／鈴木恵津子著、教育芸術社出版、2019年）

参考図書：「幼稚園教育要領」（文部科学省）、「保育所保育指針」（厚生労働省）、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（内閣府・文部科学省・厚生労働省）

《事前課題》

購入本：『幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育』の pp.6～29を読んてくること。

《学生持参品》

筆記用具、飲み物

※購入本を必ず持参すること

《学生に対する評価》

受講態度20%、授業内課題30%、歌唱実技試験50%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：小学校非常勤講師、高等学校非常勤講師（音楽）。国内外の演奏会にて声楽ソリストとして活動し、オーストリア（ウィーン）にてプロの合唱団に雇用され、演奏活動をおこなった。

科目名	保育の表現技術(身体) /身体表現	担当教員	柳本 有二
科目コード	20101 / 24101	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

本授業は、子どもを対象とした表現・運動遊びを計画・実践するために必要な実践力量形成を目的とする。そのため、講義前半では、こどもの運動特性理解したうえで、種々の表現・運動遊びを実際に行い、それらの指導上の留意点などについて説明する。また、講義後半では、ACP教本を参考に、実践力を高める表現・運動遊びを計画・実践し、お互いに評価しあうことも行う。

なお、受講生の人数によって、適宜内容を変更することがある。

《授業計画》

1. 子どもの運動特性について
2. 表現・運動遊びの提案①
3. 表現・運動遊びの提案②
4. 表現・運動遊びの提案③
5. 発表に向けた準備
6. 表現・運動遊びの発達①
7. 表現・運動遊びの発達②
8. まとめ

《参考資料》

- ・アクティブ・チャイルド・プログラム (ACP)
 - ・「今、なぜ「一斉学習」なのか ―相互啓発をめざした「よい授業」の追究― 東京学芸大学附属世田谷小学校編 (東洋館出版)
- 印刷資料として配布します。

《事前課題》

大学から事前に郵送する (受講申請者に配布します。)「アクティブ・チャイルド・プログラム (ACP) (テキスト)」「今、なぜ「一斉学習」なのか ―相互啓発をめざした「よい授業」の追究― (プリント配布)」を事前に目を通しておいてください。

《学生持参品》

運動できる服装, 体育館シューズ

大学から事前に郵送する (受講申請者に配布します。)「アクティブ・チャイルド・プログラム (ACP) (テキスト配布)」「今、なぜ「一斉学習」なのか ―相互啓発をめざした「よい授業」の追究― (プリント配布)」を遠隔授業の際は手元に準備を、対面授業の際は必ず持参するようにしてください。

《学生に対する評価》

授業態度および単位認定試験の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：東京学芸大学附属世田谷小学校教諭

科目名	書 写	担当教員	小路 英樹
科目コード	30088	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対 面		

《授業の到達目標及びテーマ》

正しく整えて、読みやすく書くという言語としての機能性の上になつている「書写」という教科を指導するにあたり、こども一人ひとりの特性を生かした適切な指導が出来る力を養い、また教員としての資質向上を目標とする。講義の前半では臨書を中心とした、基本的な用筆、運筆による点画や線質の表し方を習得し、講義後半では、小筆を使用して「かな」等に取り組み、字形構成の把握や、字源などにもふれ、文字教育を発展させる「書写」の使命を理解する。

《授業計画》

字形の認知、また筆使いの習得の為、用筆、形態美、線の鋭さ、点画の厳しさなど、極楷とも言われる楷書の代表的な「九成宮醴泉銘」の臨書を中心に行う。毛筆→書道→芸術という発想になりがちではあるが、毛筆→硬筆→日常文書という発展を考え、正しく、整えて速く書く能力を習得し、文字活動を円滑に営むことのできる基礎力を充実させる。また、適切に表現する能力を育てるとともに、板書や報告書等、小学校教員として必要となる「文字を美しく書く」という実践力を養い、応用性を身につけさせる。

1. 書写教育並びに、臨書および古典「九成宮醴泉銘」の説明
2. 「九成宮醴泉銘」の臨書
3. 書写の基礎知識ならびに授業の基本展開
4. 「添削」の仕方
5. 文字、「漢字」「かな」の成り立ち説明
6. 「かな、漢字仮名交じり文」の練習
7. 「採点、評価」の仕方
8. まとめ

《テキスト・購入本》

購入本：『国語科書写の理論と実践』 全国大学書写書道教育学会編 萱原書房
 その他：配布プリント
 参考図書・参考資料：「高等学校書道教科書」

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

書道用具一式（中筆、小筆、硯、半紙100枚、墨汁、文鎮、下敷き）

《学生に対する評価》

受講態度（20%）及び提出物（80%）の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：高等学校教諭（書道）として勤務経験有

令和5年度以降入学生・令和4年度1年次入学生・令和4年度科目等履修生対象

科目名	図画工作	担当教員	井上 龍彦
科目コード	34089	履修方法	印刷教材・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

図画工作は、初等教育の科目であるが、内容的には中学・高等学校の美術・技術に相当するものである。人は美を追求するという本能を持っており、人類の誕生から現在に至るまでの長い道のりの中で、いろいろなものを原始的な表現から最新のテクノロジーにより生まれるものへと進化しながら創り出してきている。この流れはある意味、子どもが生まれてから大人になるまでに行う絵画・造形表現の成長過程に似たところがある。この科目では、幼児造形・初等教育に携わる人として絵画・造形表現の基礎技法、知識を学び、実技も行いながら身につけてもらう。

《授業計画》

1. 美術・造形分野について
2. 色彩、色について説明、課題説明
3. 色彩課題 制作
4. 構成の原理について説明、課題説明
5. 構成課題 制作
6. モダンテクニックについて説明、課題説明
7. 演習課題制作、作品制作
8. 美術・造形表現の変遷（鑑賞）、まとめ

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『図画工作Ⅰ』
 その他：プリント配布

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

作業ができる服装、スティックのり、折り紙（色紙）セット（色数が多い方が好ましい）、濃いめの鉛筆（2Bや4B）、はさみ、カッターナイフ等、パス（クレパス）、クレヨンセットを持っている人は持参下さい。ポスターカラーセットを持っている人は持参下さい。

《学生に対する評価》

受講態度（10%）、実技課題（80%）、筆記物等（10%）を勘案し、総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：短大（児童教育学科）兼任講師、大学短大部（児童教育学科）兼任講師

科目名	音楽	担当教員	山本 千紗 白石 愛子
科目コード	34008	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト	購入本	本学にて購入手続き
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

音楽科教育に必要な知識・技能を学び、演習を通して、児童の成長を促す音楽的活動を創造する力を身につける。

前半は、リズムアンサンブルの実践やピアノの基礎的奏法の習得を行う。児童の音楽活動のためのピアノ奏法を学び、ピアノの基礎的な演奏技術を身につける。

後半は、小学校学習指導要領音楽の内容や歌唱共通教材について理解を深め、「呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能」のもと、声楽における姿勢・呼吸・発声についての基本的な技能・知識を学び、演習することで歌唱技術を高め、歌唱指導の充実へと繋げていく。

《授業計画》

1. ICTを活用した読譜力の強化（拍と音程の認識）
2. ピアノの基礎的奏法の習得①（姿勢・運指）
3. ピアノの基礎的奏法の習得②（旋律奏）
4. ピアノの基礎的奏法の習得③（弾き歌いに向けて）
5. 歌唱基礎①（小学校学習指導要領）
6. 歌唱基礎②（姿勢、呼吸、発声）
7. 歌唱実践①（小学校歌唱共通教材）
8. 歌唱実践②（重唱・合唱）

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『音楽科指導法』

参考図書：幼稚園教育要領（文部科学省）

小学校学習指導要領（文部科学省）

《事前課題》

特に無し

《学生持参品》

筆記用具、五線紙、飲み物、鍵盤ハーモニカ唄口（YAMAHA ピアニカ P-32E 用の卓奏用パイプ）

《学生に対する評価》

受講態度30%、授業内課題40%、歌唱実技試験30%

《連絡事項》

「音楽（34008）」は印刷・面接科目です。担当は以下の通りです。

印刷（レポート）：渡邊 君佳

面接（スクーリング）：（授業計画1～4）山本 千紗，（授業計画5～8）白石 愛子

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【山本】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：本学以外の大学でも「音楽科教育法」を担当。音楽教室でのリトミッククラスの指導経験やピアニストとしての様々な演奏活動を持つ。

【白石】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：小学校非常勤講師，高等学校非常勤講師（音楽）。国内外の演奏会にて声楽ソリストとして活動し，オーストリア（ウィーン）にてプロの合唱団に雇用され，演奏活動を行った。

領域科目

科目名	ページ
こどもと表現Ⅰ	109
こどもと表現Ⅱ	110
こどもと表現Ⅲ	111

科目名	こどもと表現Ⅰ	担当教員	藤重 育子
科目コード	30111	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

- ・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「表現」のねらい及び内容について、他領域と関連づけながら理解を深める。
- ・生活や遊びの中での幼児の気づきや、豊かな感性や表現の育ちを支えるような表現活動を展開することができる。
- ・様々な表現の基礎的知識・技能を理解し、幼児の表現活動を豊かにすることができる。
- ・聴く・見る・感じる・考えることを通して保育者自身がイメージを豊かに表現することができる。

《授業計画》

- 第1回：領域「表現」のねらい及び内容の理解
- 第2回：子どもの発達と表現
- 第3回：環境に合わせた子どもの表現
- 第4回：音遊び・歌遊び・わらべうた・言葉遊びの実践と総合的な表現の準備
- 第5回：総合表現（劇表現・グループワーク）の実践①
- 第6回：総合表現（劇表現・グループワーク）の実践②
- 第7回：総合表現（劇表現・グループワーク）の実践③
- 第8回：表現をめぐる諸問題

《テキスト・購入本》

配本テキスト：幼稚園教育要領・解説書 文部科学省 フレーベル館

配本テキスト：保育所保育指針解説書 厚生労働省 フレーベル館

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

購入本：『アクティベート保育学11 保育内容「表現」』（ミネルヴァ書房）ISBN978-4-623-08860-7

《事前課題》

手遊びやわらべうた遊びから4つをとりあげ、それぞれのねらいや発達段階に合わせたポイントをまとめてくる（様式は自由）。

《学生持参品》

テキスト、動きやすい服装。はさみ、のりを含む筆記用具、大学ノート（B5版罫線付き）1冊（もしくは、過去に藤重の担当科目で「手遊びノート」を作成した人はそのノートを持参）。事前課題のレポート。

※教科書がない場合は基本的にスクーリングの受講を認めません。必ず持参ください。

《学生に対する評価》

受講態度及び単位認定試験の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

科目名	こどもと表現Ⅱ	担当教員	井上 龍彦
科目コード	30112	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

こどもと表現Ⅱの求める内容について幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を中心に理解し、幼児にとって大事な五感から得られるものを活かした製作活動を行いながら体得していく。

幼児が興味を持ちながら、楽しく個々の個性を發揮できるようにイメージしながら、助言方法を身につけるため、いろいろな素材、技法を体験する。技術的なことや発想（アイデア）など発達段階も理解しながら学んでもらう。表現（造形）という領域にとどまらず、他の領域との関連も含め、大きな視野をもって取り組んでほしい。

《授業計画》

- 1：人と造形表現について
- 2：造形教育の変遷、発達段階と表現活動について
- 3：五感と造形表現（実技課題）
- 4：モダンテクニック技法の応用1（実技課題）
- 5：モダンテクニック技法の応用2（実技課題）
- 6：季節・行事と関連した表現（実技課題）
- 7：描画材料について（実技課題）
- 8：身近な素材でのおもちゃづくり（実技課題）

《テキスト・購入本》

参考図書：『幼児造形の基礎』（樋口一成著 萌文書林）

「図画工作Ⅰ」（井上龍彦著 姫路大学）

幼稚園教育要領解説 文部科学省（フレーベル館）

保育所保育指針解説 厚生労働省（フレーベル館）

※レポート科目「図画工作」を受講している人は「図画工作Ⅰ」の教科書を持参ください。

《事前課題》

ご自身が保育所・幼稚園等で作ったものについて、どのような思い出があるかをふりかえり、幼児期のモノづくり、表現についてイメージを持っておいてください。また、季節や行事と園での活動との関連なども調べておいてください。

《学生持参品》

柔らかい鉛筆（2～4B等）、色鉛筆セット（8色程度）、カラーペンセット（8色程度）、のり、はさみ、カッターナイフ等、折り紙セットなど

《学生に対する評価》

受講態度（10%）、実技課題、筆記物など（80%）、課題、作品説明等（10%）の総合評価。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：短大（児童教育学科）兼任講師、大学の短大部（児童教育学科）兼任講師

科目名	こどもと表現Ⅲ	担当教員	山本 千紗 白石 愛子
科目コード	30113	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト	購入本	本学にて購入手続き
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

領域「表現」において求められる豊かな感性や表現する力、創造性について理解し、こどもの表現活動を支えていく支援について考える。様々な表現活動の実践から知識・技能を養い、協働して取り組む活動を通してより豊かな表現力を身につける。

《到達目標》

- (1) こどもの発達段階を理解し、様々な表現を感じる、聴く、楽しむことを通して、豊かにイメージすることができる。
- (2) 領域「表現」に関する様々な表現活動を通して知識・技能を培い、豊かな表現力へと繋げていくことができる。
- (3) 協働して表現することを通し、他者の表現を受容し、多様な表現のあり方について共感し、創造性へと繋げていくことができる。

《授業計画》

1. オリエンテーション / 領域「表現」のねらい及び内容 / こどものリズム感覚を養う遊び
領域「表現」のねらい及び内容について理解する。こどものリズム感覚を養う遊びを体験することを通して、遊びの展開例を考える。
2. 音に合わせた自由表現におけるピアノ演奏の工夫 / 鍵盤ハーモニカの奏法
こどもが音からイメージし自由表現できるように支援するためのピアノ演奏を工夫し、実践する。
鍵盤ハーモニカの奏法を確認し、ポジション移動、指ひろげ、指くぐり、指またぎを理解する。
3. こどもの身体表現のための律動曲
律動にふさわしい音楽の特徴を理解し、演奏する拍子、速さ、強弱、音色、音域などを研究し、実践する。
4. 豊かな表現を目指した弾き歌い
どのように表現したいかを考え、イメージを持って演奏する方法を学ぶ。
5. 発達段階を考慮した歌の選曲について
音域・リズム・歴史的背景等の視点から理解を深めていく。
6. 豊かな表現のために
絵本を題材とした音楽表現について協働して考えていく。
7. 協働して表現する
絵本を題材とした音楽表現について発表する。
8. ICTの活用と総括
発表を録画で振り返ることにより、表現の可能性やこどもの表現活動に対する支援について深めていく。

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『保育の表現技術（ピアノ）』

参考図書：『幼稚園教育要領』（文部科学省）

『保育所保育指針解説』（厚生労働省）

『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（内閣府文部科学省・厚生労働省）

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

筆記用具、五線紙、鍵盤ハーモニカ唄口（YAMAHA ピアノ P-32E用の卓奏用パイプ）、飲み物

《学生に対する評価》

受講態度20% 授業内課題30% 授業内レポート10% 実践発表40%

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【山本】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：本学以外の大学でも「音楽科教育法」を担当。音楽教室でのリトミッククラスの指導経験やピアニストとしての様々な演奏活動を持つ。

【白石】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：小学校非常勤講師、高等学校非常勤講師（音楽）。国内外の演奏会にて声楽ソリストとして活動し、オーストリア（ウィーン）にてプロの合唱団に雇用され、演奏活動を行った。

養護・保育等科目

科 目 名	ページ
看護学Ⅰ	113
看護学Ⅱ	114
乳児保育Ⅱ	115
こどもの食と栄養	116
社会的養護Ⅱ	117
養護概説	118
看護演習（1単位）	119
看護演習（2単位）	120
こどもの理解と援助	121
保育総合演習	122
こどもの健康と安全	123
子育て支援	124

科目名	看護学Ⅰ	担当教員	藤田 美知枝
科目コード	50022	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

看護学Ⅰは、学校看護概論として位置づけ、看護の概念および養護教諭として必要な学校看護の基礎を学ぶことを目的とする。

授業は、講義を中心とし、健康観、看護の対象理解、学校看護における連携、養護実践と倫理、法的側面などについて学習する。

看護・看護学についての学びを通して、養護教諭としての専門性を高める。

《授業計画》

1. 養護と看護の考え方
2. 学校看護の考え方
3. 健康・病気・ウェルネスの考え方
4. 子供の成長発達の理解
5. 家族・学校・地域の理解と支援
6. 学校看護における社会資源
7. 学校看護における倫理と重要な側面
8. 授業総括

《テキスト・購入本》

【令和3年度以前入学生】

配本テキスト：『ナーシンググラフィカ 基礎看護③ 基礎看護技術』

購入本：『養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護－すべての子供の健康実現を目指して－』

編著：遠藤伸子 池添志乃 籠谷恵 ISBN：978-4-8278-1588-7

【令和4年度以降入学生】

配本テキスト：『養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護－すべての子供の健康実現を目指して－』

《学生服装・持参品》

特になし

《学生に対する評価》

単位認定試験及び授業への取り組み状況により総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：看護師としての勤務経験有

科目名	看護学Ⅱ	担当教員	大川 実枝子
科目コード	50023	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

教育の場における看護的実践力を養うことを目的として授業を展開する。養護教諭の活動過程および養護診断を支えるフィジカルアセスメントの知識・技術、こどもに多い急性期症状の対応と援助、慢性疾患のあるこどもと家族の理解と支援について学ぶ。

《授業計画》

1. 学校看護概論
2. 養護教諭の活動過程：ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメント
3. 学校看護技術
4. 急性期にあるこどもと家族の理解と援助
5. 慢性疾患のあるこどもと家族の理解と支援
6. 特別な支援を要するこどもと家族の理解と援助
7. 学校における医療的ケア児の支援
8. 総括

《テキスト・購入本》

【令和3年度以前入学生】

配本テキスト：『ナーシンググラフィカ 基礎看護③ 基礎看護技術』

購入本：『養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護－すべての子供の健康実現を目指して－』

編著：遠藤伸子 池添志乃 籠谷恵 ISBN：978-4-8278-1588-7

※購入済の場合、前の版でも可。

【令和4年度以降入学生】

配本テキスト：『養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護－すべての子供の健康実現を目指して－』

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

単位認定試験及び授業への取り組み状況により総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：看護師・養護教諭としての勤務経験を持ち、大学で看護師・養護教諭養成関連科目の教育指導に従事。

科目名	乳児保育Ⅱ	担当教員	國光 みどり
科目コード	40058	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

1. 3歳未満児の発育・発達のプロセスや特性を踏まえた援助や関わりについて、実践的に理解する。
2. 養護及び教育の一体性を踏まえた3歳未満児の遊びや生活の環境構成等具体的な保育の保育方法について、実践的に理解する。
3. 乳児保育における援助・配慮の実践について具体的に理解する。
4. 乳児の健康・安全危機管理を踏まえた保育の実践を理解する。
5. 乳児保育における様々な連携を理解する。

《授業計画》

授業計画 スクーリングによる面接授業

1. 子どもの主体性の尊重と自己の育ち
2. 個々の子どもに応じた援助、受動的・応答的な関わり
3. 0歳児の発育・発達を踏まえた生活と遊びの実践
4. 1～3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と遊びの実践（手作りおもちゃの立案、製作①）
5. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と遊びの実践（手作りおもちゃ製作②、発表・評価）
6. 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮
7. 乳児保育における具体的な連携
8. 子育て支援に関する事例研究

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『乳児保育Ⅰ』

※「乳幼児保育」「乳児保育Ⅰ」配本テキスト。「乳児保育Ⅱ」のみ履修している学生は本学にて購入手続きを行ってください。

配本テキスト：厚生労働省：『保育所保育指針解説』（最新版）（フレーベル館）

※幼稚園・保育士コースの履修者以外は購入本となります。

※その他講義内において適宜資料配布を行います。

《事前課題》

1. 配本テキスト第3章を熟読し、3歳未満児の発育・発達及び乳児の遊びと環境のあり方を理解してください。
2. 「1.」をふまえ、自分自身がスクーリング時に「手作りおもちゃ」を制作するための資料収集をしてください。図書館等で著書や保育雑誌を借りることができます。また、インターネットによる検索で様々な情報を得ることもできます。インターネットによる情報についてはそのまま使用するのではなく、自分自身が対象とした子どもの発達を考慮し、インターネットの情報に必ずアレンジを加えてください。
3. 「手作りおもちゃ」の条件
 - 1) 必ず布を用いること。
 - 2) 色合いは子どもが認識しやすい原色（赤・黄・水・緑等）を使用する。※色落ちしない素材を選ぶ。
 - 3) 清潔を保つことのできるおもちゃ。（汚れたら洗濯することができる等）
 - 4) ボタン・飾り等がはずれたり取れたりして子どもが誤飲する事が無いよう安全面の配慮と工夫をする。

《学生持参品》

事前課題で収集した資料を基にし、授業内（2時間程度）に完成できるよう計画し、必要な資料、材料及び用具を忘れないよう持参してください。

《学生に対する評価》

スクーリングにおける受講態度や提出物、単位認定試験結果等を総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：幼稚園に14年、幼保連携型認定こども園に2年の実務経験有。

科目名	こどもの食と栄養	担当教員	木村 恵子
科目コード	40033	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

授業概要： 子どもの栄養、食生活は生涯にわたる健康と生活の基礎を築くことを理解する。健康な生活の基本として食生活の意義や基本的な栄養の正しい知識を習得する。食育の基本と内容について学び、保育・教育の場で食育が実践できるようにする。また、子どもを取り巻く近年の食生活上の問題や発育・発達、健康状態への影響などを幅広く学ぶことにより、保育の実際に即応できる応用力を養う。

- 到達目標
- ①栄養・食品について、正しく説明ができる。
 - ②子どもの発育段階に応じた食生活を理解し、食生活の支援ができる。
 - ③食育の重要性を理解し、日常の保育の中で実践できる。
 - ④子どもの食育の担い手として、自らも望ましい食生活が実践できる。
 - ⑤特別な配慮を要する子どもの食と栄養について正しく理解し、適切な対応ができる。

《授業計画》

1. 子どもの健康と食生活の意義、食育の重要性
2. 栄養に関する基本的知識、食事摂取基準、献立作成・調理の基本
3. 妊娠・授乳期の栄養と食生活：授乳期の栄養・食生活、母乳分泌
4. 乳児期の授乳・離乳の意義と食生活：乳汁栄養、離乳の進め方
5. 幼児期の心身の発達と食生活：食機能の発達、食生活の特徴、間食、食行動上の問題と対応、保育所給食
6. 学童期・思春期の心身の発達と食生活：心身の特徴と食生活、食生活上の問題への対応、学校給食と栄養教育（食育）
7. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養：疾病および体調不良の子どもへの対応、食物アレルギーのある子どもへの対応
8. 食育の基本と内容、食育の実践（演習：食育媒体の作成）

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『こどもの食と栄養』

参考図書：堤ちはる、土井正子編著『子育て、子育てを支援する こどもの食と栄養(第11版)』萌文書林 2024
飯塚美和子他編『最新子どもの食と栄養』学建書院 2024
岩田章子、寺嶋昌代編『新時代の保育双書 新・子どもの食と栄養』みらい 2021
小川雄二編著『子どもの食と栄養演習 第6版』建帛社 2022

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

マーカーペンおよび色鉛筆（カラー8色程度）

《学生に対する評価》

課題レポート、食育だよりの作成・発表および単位認定試験により評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：行政機関（保健センター）において、乳幼児健診・離乳食講習会等の母子保健関連業務に従事。大学で教員として栄養・保育・養護関連の科目を講義。地域のボランティア対象セミナーにおける講師。

科目名	社会的養護Ⅱ	担当教員	原田 理子
科目コード	40060	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

1. 子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解できる。
2. 施設養護及び家庭養護の実際について理解できる。
3. 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解できる。
4. 社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解できる。
5. 社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について理解できる。

《授業計画》

- 1 <社会的養護における子どもの理解> 子どもの権利条約／子どもの権利擁護
- 2 <施設養護の特性と生活の実際> 子どもの状態に応じた施設の特性や生活等の実際について
- 3 <社会的養護の内容> 日常生活支援／治療的支援／自立支援
- 4 <家庭養護の生活特性及び実際> 里親制度／ファミリーホーム／家庭の養護の高機能化の推進
- 5 <アセスメントと個別支援計画の作成> 自立と自立支援計画
- 6 <社会的養護に関わる専門的技術> 社会的養護における保育の専門性
- 7 <社会的養護における家庭支援> 家庭支援をすることはどういうことか
- 8 <社会的養護の課題と展望> 社会的養護の課題と将来像

《テキスト・購入本》

参考文献：『実践に活かす社会的養護Ⅱ』ミネルヴァ書房2023

※復習などの際に必要と思えば自分で購入してください。購入必須ではありません。

《事前課題》

社会的養護Ⅰの復習をしてください。子どもの権利に関する最近の報道等を調べておきましょう。

《学生持参品》

プリントを配布するので、それらを整理するためのファイル等

《学生に対する評価》

学習態度、単位認定試験の結果を総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	養護概説	担当教員	久保 昌子
科目コード	50018	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

①学校教育の役割を理解し、養護教諭の位置づけを説明することができる、②「養護」の概念、養護教諭の職務及び専門性について述べることができる、③対象となる子どもについて多面的に理解し、課題解決に向けた支援方法を述べることができる、④養護教諭としての基本的・応用的知識・技術、職務遂行に必要な資質・能力について理解し、専門職としての養護教諭観を示すことができる。

《授業計画》

1. 養護の本質と概念、教育に果たす養護教諭の役割
2. 子どもの健康課題と養護教諭の歴史的変遷
3. 養護教諭の専門的機能
4. 保健室の機能
5. 保健管理
6. 保健教育
7. 健康相談
8. 保健室経営と組織活動

《テキスト・購入本》

配本テキスト：編集代表 采女智津江『新養護概説』少年写真新聞社
参考図書：編集代表 三木とみ子『新訂 養護概説』ぎょうせい 2018年

《事前課題》

学生送付品欄参照

《学生送付品》

「養護概説スクーリング受講にあたって」自分の考えをまとめたレポートを作成し送付する。（字数は任意）

《学生に対する評価》

受講状況
レポート提出（本学所定のレポート用紙を使用すること）
授業内テスト等の総合所見により評価を行う。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：小学校、中学校、高等学校の養護教諭としての勤務経験有。大学で養護教諭養成関連科目の教育指導に従事

※本スクーリングは、養護実習事前・事後指導(事前)スクーリング受講前に受けることが望ましい。

令和5年度以降入学生・令和4年度1年次入学生・令和4年度科目等履修生対象

科目名	看護演習（1単位）	担当教員	大川 実枝子
科目コード	54024	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

養護実践で必要とされる基本的な看護技術に関する知識・技術の修得を目的として授業を展開する。養護教諭の職務として求められる看護の在り方や役割について理解を深め、実践力に繋げる。

《授業計画》

- 1：学校看護と基礎看護技術（養護教諭に必要な看護技術）
- 2：日常生活を支える技術
- 3：学校・保健室の環境調整技術
- 4：感染予防を推進する技術
- 5：フィジカルアセスメントの技術
- 6：学校救急処置で必要な知識と技術（1）一次救命処置
- 7：学校救急処置で必要な知識と技術（2）止血法、包帯・固定法等
- 8：医療的ケア児を支援する技術、総括

《テキスト・購入本》

購入本：『養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護』遠藤伸子ほか2名、東山書房
 ※令和4年度以降入学生「看護学Ⅰ」「看護学Ⅱ」履修者は配本テキストです。

《学生持参品》

- ・実技演習に適した服装
- ・包帯（幅5cm程度）
- ・三角巾（応急手当用、105cm×105cm×150cm程度）

《学生に対する評価》

単位認定試験及び授業への取り組み状況により総合的に評価する

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：看護師・養護教諭としての勤務経験を持ち、大学で看護師・養護教諭養成関連科目の教育指導に従事

令和4年度3年次編入生・令和3年度以前入学生対象

科目名	看護演習（2単位）	担当教員	大川 実枝子
科目コード	50024	履修方法	面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

養護実践で必要とされる基本的な看護技術に関する知識・技術の修得を目的として授業を展開する。養護教諭の職務として求められる看護の在り方や役割について理解を深め、実践力に繋げる。

《授業計画》

1. 学校看護と基礎看護技術（養護教諭に必要な看護技術）
2. 援助関係を形成する技術
3. 日常生活を支える技術
4. 安全・安楽に関する技術
5. 学校・保健室の環境調整技術
6. 感染予防を推進する技術（1）学校における感染予防・対策
7. 感染予防を推進する技術（2）スタンダードプリコーション、滅菌物の取り扱い等
8. 活動・運動を支援する技術
9. 生命活動を支える援助技術
10. フィジカルアセスメントの技術
11. 学校救急処置に必要な知識と技術（1）一次救命処置
12. 学校救急処置に必要な知識と技術（2）止血法、包帯・固定法
13. 学校救急処置に必要な知識と技術（3）学校における救急処置の実際
14. 医療的ケア児を支援する技術
15. 総括

《テキスト・購入本》

購入本：『養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護』遠藤伸子ほか2名、東山書房
 ※令和4年度以降入学生「看護学Ⅰ」「看護学Ⅱ」履修者は配本テキストです。

《学生持参品》

- ・実技演習に適した服装
- ・包帯（幅5cm程度）
- ・三角巾（応急手当用、105cm×105cm×150cm程度）

《学生に対する評価》

単位認定試験及び授業への取り組み状況により総合的に評価する

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：看護師・養護教諭としての勤務経験を持ち、大学で看護師・養護教諭養成関連科目の教育指導に従事

科目名	こどもの理解と援助	担当教員	小河 晶子 藤重 育子
科目コード	40053	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

1. 保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について述べることができる。
2. こどもの体験や学びの過程において子どもを理解する上での基本的な考え方が説明できる。
3. 子どもを理解するための具体的な方法が挙げられる。
4. こどもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について述べることができる。

《授業計画》

- (1) こども理解の意義
- (2) こどもの遊びと生活を捉える
- (3) 「理解」から「援助」につなぐ記録の視点、省察、評価
- (4) 地域・家庭との連携を理解する
- (5) 就学前施設での子どもの理解の深化と進化
- (6) こども理解に基づく発達援助：発達の課題に応じた援助と関わり
- (7) こども理解に基づく発達援助：特別な配慮を要するこどもの理解と援助
- (8) こども理解に基づく発達援助：発達の連続性と就学への支援

《テキスト・購入本》

本学にて購入：姫路大学教育学部通信教育課程テキスト「特別支援論Ⅰ」、「特別支援論Ⅱ」、「発達心理学」（小河の授業で使用）

※「特別支援論Ⅰ」「特別支援論Ⅱ」「発達心理学」「特別支援論」履修者は配本テキストです。

購入本：『コンパス 子ども理解-エピソードから考える理論と援助-』（建帛社）

ISBN 978-4-7679-5132-4（藤重の授業で使用）

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

購入本、大学ノート（B5版罫線付き）1冊（もしくは、過去に藤重の担当科目で「手遊びノート」を作成した人はそのノートを持参）。のり・はさみ等の文具（藤重の授業で使用）。

※教科書がない場合は基本的にスクーリングの受講を認めません。必ず持参ください。

《学生に対する評価》

受講態度及び試験等により、総合的に評価します。

試験は各担当教員の最終時に実施します。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【小河】1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：神戸市総合児童センター療育部門発達クリニックにて発達障がい児への臨床指導および保護者への教育相談業務に従事

【藤重】1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

科目名	保育総合演習	担当教員	藤重 育子
科目コード	40056	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

保育の基本を理解するとともに、保育を総合的に捉える視点を学ぶ。また、保育に関する今日的な課題について事例を通して学び、保育現場での対応を考える。さらに、子どもの遊びを豊かにするための保育技術の習得を目指す。

《授業計画》

1. 保育の基礎を学ぶ① — 保育の仕事と役割
2. 保育の基礎を学ぶ② — 養護の重要性と環境を通しての保育
3. 保育の基礎を学ぶ③ — 保育の計画と実践、評価
4. 保育の現代的課題 — 保育現場の現代的な課題について事例を通して学ぶ
5. 保育の知識と技術① — 様々な遊びを知る
6. 保育の知識と技術② — 様々な遊びに関する環境構成と援助を考える
7. 保育の知識と技術③ — 保育実践に必要な技術の習得に励む
8. まとめと試験

※受講人数により、変更する場合があります。

《テキスト・購入本》

配本テキスト：厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館 2018年
「幼稚園教育要領解説」
※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

《事前課題》

2歳頃の子どもと5歳頃の子どもがそれぞれ作って遊べるおもちゃを1つずつ製作する。
それぞれのねらいと特徴をレポートする（様式は自由）。

《学生持参品》

テキスト、動きやすい服装、事前課題で製作したおもちゃ2つとレポート、大学ノート（B5版罫線付き）1冊（もしくは、過去に藤重の担当科目で「手遊びノート」を作成した人はそのノートを持参）。
※教科書がない場合は基本的にスクーリングの受講を認めません。必ず持参ください。

《学生に対する評価》

参加態度40%、実技演習30%、レポート課題30%の総合評価

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

こどもの保健を履修してからの受講が望ましい。

科目名	こどもの健康と安全	担当教員	藤田 美知枝
科目コード	40059	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

子どもの命を守り、健やかな育ちを支援する保育実践に必要な保健に関する知識・技術を修得することを目的として、保健的観点に基づく保育の環境整備、保育における保健的対応、健康・安全管理の実施体制等について具体的に理解する。

〈到達目標〉

1. 保健的観点をふまえた保育環境整備や援助について述べるができる。
2. 健康・安全管理の実施について述べるができる。
3. 体調不良や傷害が発生した場合の対応について述べるができる。
4. 感染症の予防と対策について述べるができる。
5. 保育における保健的対応について述べるができる。
6. 健康および安全管理の実施体制について述べるができる。

《授業計画》

- 1回：保健的観点を踏まえた保育環境と援助
- 2回：保育における健康と安全管理
- 3回：子どもの体調不良等に対する適切な対応
- 4回：救急処置および救急蘇生法
- 5回：感染症対策
- 6回：保育における保健的対応
- 7回：健康および安全管理の実施体制
- 8回：授業のまとめ

《テキスト・購入本》

購入本：『子どもの健康と安全』

編集：遠藤郁夫/三宅健太

執筆：伊藤昭治/稲坂恵/遠藤郁夫/太田由紀枝/甲斐純夫/勝保すみれ/三宅健太
大学建書院 ISBN 978-4-7624-0890-8

《事前課題》

- ・乳幼児の成長・発達について理解しておくこと。

《学生持参品》

- ・購入本
- ・動きやすい服装

《学生に対する評価》

- ・単位認定試験・受講態度により総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：看護師としての勤務経験有

科目名	子育て支援	担当教員	藤重 育子
科目コード	40061	履修方法	面接
単位数	1単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談・助言・情報提供等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解し身につける。

子育て支援の意義や役割について理解し、保育者としての子育て支援の基本姿勢について関心を持ち、子育て支援の意義や役割、基本姿勢など、支援の実際を学ぶ。

子育て支援の必要性、また重要視される背景について理解し、保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、子育て支援の実施について、事例を通して具体的に理解する。

《授業計画》

1. 保育士として子育て支援にかかわるために
2. 保育の専門性と子育て支援
3. 保育所を利用している保護者に対する子育て支援
4. 社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働
5. 保育士の行う子育て支援とその実際（内容・方法・技術）
6. 地域の子育て家庭に対する支援
7. 子どもの虐待の予防と対応
8. 多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解

《テキスト・購入本》

購入本：『保育者のための子育て支援セミナー』（建帛社） ISBN：978-4-7679-5106-5

配本テキスト：厚生労働省（編）『保育所保育指針解説』フレーベル館 ISBN：978-4-577-81448-2

※幼稚園、保育士コースの履修者以外は購入本となります。

《事前課題》

厚生労働省（編）『保育所保育指針解説』フレーベル館 第4章「子育て支援」を必ず読んでおくこと。

《学生持参品》

『保育所保育指針解説』、テキスト・購入本、のり・はさみなどの文具、大学ノート（B5版罫線付き）1冊（もしくは、過去に藤重の担当科目で「手遊びノート」を作成した人はそのノートを持参）。

※教科書がない場合は基本的にスクーリングの受講を認めません。必ず持参ください。

《学生に対する評価》

受講態度及び授業課題、単位認定試験の結果を総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：有
2. 実務経験の内容：特別支援学校において教員として勤務有

養成課程科目

図書館司書・司書教諭

科目名	ページ
図書館情報技術論	125
情報サービス演習	126
図書館情報資源概論	127
情報資源組織演習	128
情報メディアの活用	129

科目名	図書館情報技術論	担当教員	戸邊 俊哉
科目コード	70003	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	遠隔（オンライン）※希望する場合、対面での受講も可		

《授業の到達目標及びテーマ》

図書館業務に必要とされる基礎的な情報技術を習得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子書籍等について解説し理解を深めてもらう。そして新たに導入されていく情報技術を漠然と使用するだけでなく、自分でその仕組みや特徴を理解して使用できるようになっていくことを目標とする。それにより今後も進歩する技術に対応できるようになるとともに、情報社会にふさわしい司書になることを目指す。

また、図書館の情報技術とも親和性が高い日常利用している情報技術を演習問題に取り入れて関連付けることで、理解を深めていくことも目標とする。

《授業計画》

1. 「図書館情報技術論」の位置づけ、情報技術の重要性を理解する
2. 国立国会図書館のオンラインサービスを利用する
3. 検索エンジンの仕組みを理解する①
国立国会図書館のインターネット資料収集保存事業と岡崎市立中央図書館事件を参考に
4. 検索エンジンの仕組みを理解する②
情報の整理と保存の仕方について（転置索引を知る）
5. 図書館業務システムの現状を理解する
6. 図書館と電子書籍の関係を理解する① 電子書籍の仕組みを理解する
7. 図書館と電子書籍の関係を理解する② 電子書籍と著作権の問題を理解する
8. まとめ

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『図書館情報技術論』

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《その他》

図書館情報技術論受講者は「遠隔（オンライン）」、「対面」いずれの方法での受講も可能です。希望する受講方法を「遠隔授業受講申請書その他連絡、質問等」欄へ記入もしくは入力してください。

《学生に対する評価》

受講態度、提出物及び単位認定試験の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	情報サービス演習	担当教員	田中 伸樹
科目コード	70008	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・購入本・本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

情報化社会の中であって、従来から図書館資料を収集保存し利用提供してきた実績がある図書館の、情報拠点としての役割はますます大きくなる。この授業では情報サービスの設計をはじめ、これまでの情報サービスの中心であった（今後も情報サービスの中心を担う）レファレンス・サービスや情報検索サービスについて、質問の受付から回答にいたる過程を演習形式で行い、実践できる能力を養う。さらに、これから図書館の情報サービスとして重要性を増す、新たな情報技術を活用した情報発信型サービスについて、代表的なサービスであるパスファインダー（調べ方案内）などを作成することによって、今までの質問・回答という受け身的な情報サービスだけでなく、図書館側から情報を発信していくという、より発展した情報サービスを実践できる能力を身につける。

《授業計画》

まず、図書館全体としてどのように情報サービスやレファレンス・サービスを進めていくのか、取り巻く環境を考えて、具体的事例に基づいて検討することからはじめ、レファレンス・サービスの実践において重要なレファレンス・インタビューの理解を深める。その他、情報検索の実際を、国立国会図書館サーチや国立情報学研究所のデータベース CINI-Books、CINI-Research など種々のデータベースを利用して実践する。レファレンス・サービスについては、印刷資料であるレファレンス・ブックを評価したうえで、利用者からの質問を想定し、回答に使用する適切な情報源（印刷資料・電子資料）について考察し、また実践する。さらなる情報サービスについては、国立国会図書館のレファレンス協同データベースや「調べ方案内」などを参考にして「パスファインダー」を作成し、発信型情報サービスについて理解を深める。

1. 情報サービスの設計（レファレンスサービス体制づくり）情報源の種類（印刷媒体資料と電子情報源）
2. レファレンスコレクションの整備（レファレンスブックの評価と館内作成の二次資料）レファレンスサービスの技法と実際（レファレンスインタビューと事例集の作成）
3. 情報検索の技法と実際①（情報検索システムと検索方法図書・雑誌の所蔵検索）情報検索の技法と実際②（雑誌記事索引、新聞記事索引、新聞の所在）
4. 情報検索の技法と実際③（統計、法令、その他のデータベース）各種情報源の適正・迅速な選択① 事実検索－言葉、歴史情報を調べる
5. 各種情報源の適正・迅速な選択② 事実検索－地理情報・地名、人名・団体を調べる
各種情報源の適正・迅速な選択③ 事実検索－事典・年鑑・図鑑・白書・便覧・統計・法令を調べる
6. 各種情報源の適正・迅速な選択④ 文献検索－図書
各種情報源の適正・迅速な選択⑤ 文献検索－雑誌
7. 各種情報源の適正・迅速な選択⑥ 文献検索－新聞
8. 発信型情報サービスの理解 パスファインダーの作成 情報サービスの評価

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『情報サービス論及び演習』（学文社）中西 裕・松本直樹・伊藤民雄著
※平成26以前入学生は購入本となります。
その他：印刷プリント

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

受講に取り組む態度、提出物および単位認定試験等において総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	図書館情報資源概論	担当教員	田中 伸樹
科目コード	70009	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト・	購入本	本学にて購入手続き
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

21世紀に入るとともに、図書館は膨大な情報の量とそれを担うメディアの多様化に直面している。メディア総体を対象とする図書館においては、印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源の類型と特質、歴史、生産、流通、選択、収集、保存についての正確な知識が求められる。本授業では図書館業務に必要な情報資源に関する知識等の基本を学ぶことを通じて、図書館と情報資源の在り方を考える能力を身につける。

《授業計画》

1. 印刷資料・非印刷資料の類型と特質（図書・雑誌・新聞、主要な一次・二次資料、資料の歴史含む）
電子資料、ネットワーク情報資源の類型と特質
2. 地域資料の特質、身近な図書館の例
行政資料（政府刊行物）、灰色文献の流通と収集の方法
3. 情報資源の生産（出版）
情報資源の流通と再販制度、商品と図書の違い
4. 図書館業務と情報資源に関する知識
コレクション形成の理論 価値論と要求論含む
5. 資料の選択・収集、コレクションの評価
コレクション形成の方法（選択ツールの利用、選定、評価）
6. 人文・社会科学分野の情報資源とその特性
科学技術分野、生活分野の情報資源とその特性
7. 資料の受入・除籍・保存・管理
資料の装備・補修・排架・展示・点検
8. 図書館情報資源の拡大
まとめ・到達度確認

《テキスト・購入本》

配本テキスト：『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 図書館情報資源概論 8』
その他：Webからの実例の提示も行います。

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

特になし

《学生に対する評価》

単位認定試験80%、面接授業20%の基準により、総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	情報資源組織演習	担当教員	田中 伸樹
科目コード	70011	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト ・ 購入本 ・ 本学にて購入手続き		
実施方法	対面		

《授業の到達目標及びテーマ》

図書館では、従来より、分類や目録といった一定の規則に基づく組織化が行われている。これと同時にメディアの多様化に伴い、従来からの方法では情報資源全般の組織化が到底不可能となってきたており、図書館の現場では新しい手法による組織化が種々考えられてきた。メタデータ及び記述範囲としてのRDA等の考え方である。

本授業では、多様な情報資源に関する書誌データの作成、主題分析、分類作業、統制語の適用、メタデータの作成等の演習を通して、情報資源組織業務について実践的な能力を養成する。

《授業計画》

1. 書誌データ作成の実際
主題分析
2. 分類作業の基礎及びその実際
分類作業Ⅰ
3. 分類作業Ⅱ
分類作業Ⅲ
4. 統制語の適用
件名標目及びシソーラスの運用
5. 集中化・共同化による書誌データの作成
データ管理・検索システムの構築
6. メタデータについて
情報資源組織におけるメタデータ
7. Marc21、ダブリンコアとRDA
情報資源組織の今後
8. まとめ・到達度確認

《テキスト・購入本》

すべてプリント配布による。

《事前課題》

特になし

《学生持参品》

NDC（日本十進分類法）を貸与します。

《学生に対する評価》

到達度テスト、単位認定試験により総合的に評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

1. 実務経験の有無：無

科目名	情報メディアの活用	担当教員	長谷 浩也 津下 哲也
科目コード	70020	履修方法	印刷・面接
単位数	2単位	実施期	1期・2期
使用テキスト	配本テキスト	購入本	本学にて購入手続き
実施方法	遠隔（オンライン）		

《授業の到達目標及びテーマ》

情報化社会において我々が利用できるメディアは多様であり、学校教育においてどのメディアを利用すればより効率的な学習に資するのを知る必要があります。このような状況において、学校における情報メディアのスペシャリストとして司書教諭が求められてきています。また、学校図書館の登録業務自体も情報化が進められており、学校図書館の専門職務を担う教員である司書教諭には図書館と情報メディアの取り扱いに関する知識も求められています。本科目ではこのような情報化社会にふさわしい司書教諭になることを目標としています。

授業では従来の印刷媒体である図書の利用だけではなく、特にコンピュータやネットワーク情報資源などの利用方法・特徴について演習を踏まえつつ理解するとともに、どのようにそれを学校教育に活用していけばよいのを知ることを目標としています。

《授業計画》

1. 学校図書館の現状及び求められているもの
2. 学校図書館と情報メディア教育
3. 情報メディアの特性と活用
4. 情報検索（検索の仕組み、効果的な検索方法）
5. 学校図書館からの情報発信
6. 学校図書館メディアと著作権
7. 学校図書館業務と情報メディアの活用（HPの仕組みと演習）
8. まとめ（成果物の発表）、単位認定試験

《テキスト・購入本》

配本テキスト：「情報メディアの活用」

《事前課題》

Google classroom（科目）を使用してオンライン授業を実施するため、学生に配布している Google アカウントで事前に Google classroom（科目）や Gmail にログインをしておくこと。

事前のオンライン面談（オリエンテーション）で、パソコン環境、インターネット環境、ソフトウェア環境の確認を行いますので、ご参加下さい。

《学生持参品》

WindowsOS、ChromeOS、IOSのいずれかを搭載したパソコン（カメラ付き）を準備すること。講義の実施は原則オンラインですが、環境が整わない、操作にとっても不安がある等、やむをえない事情がある場合には、本学に来学し、情報処理教室のPC環境にて受講することも可能です。来学を希望される場合、通信事務室まで事前に個別にご相談ください。

《学生に対する評価》

受講態度、成果物及び単位認定試験の結果を総合して評価する。

《実務経験のある教員による授業科目の配置》

【長谷】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：小学校教諭、教育委員会指導主事として勤務。国語科教育や読書活動を推進。

【津下】 1. 実務経験の有無：有

2. 実務経験の内容：岡山県公立小学校教諭。ICTを活用した授業や活用推進、校務の情報化を推進。

XI . 各種手続き用紙について

スクーリング欠席届	1枚
納入経費返還願	1枚
本校スクーリング 健康調査書	1枚
上司宛スクーリング依頼状（礼状）送付願	1枚
諸経費納入整理票（3連綴り）	1枚

※上記書類が不足する場合は、該当ページをコピーして利用してください。

スクーリング欠席届

(令和 年 月 日)

学籍番号			
氏名			
所属学校名 (該当者のみ記入)			
現住所	〒	—	電話番号 (携帯)

受講申込みをしましたが、私事のため欠席しますので、 次のとおり受講料の返金をお願いします。			
欠席する科目	欠席する期日	受講会場	
例) スポーツ (実技)	8/10 ~ 8/12	姫路大学	
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
	/ ~ /		
上記の科目の受講時期	本校	期	
受講時期中の欠席届の提出 ※どちらかをチェックして下さい。	<input type="checkbox"/> 初回→「経費返還願」を提出してください。		
	<input type="checkbox"/> 2回目以降→「経費返還願」の提出は不要です。		
※欄は記入不要です。			
※受付		※係	※事前連絡 ・なし ・あり / FAX・メール

(この線で切り取って使用してください。)

※ご記入いただいた住所氏名等の個人情報は、本手続き処理以外には使用いたしません。
 ※返金の際、内訳の通知はおこないませんので、各自本控えを保管してください。

納入経費返還願

さきに貴大学教育学部通信教育課程に経費を納入いたしましたが、このたび納入経費を返金くださるようお願い申し上げます。

学籍番号			
フリガナ			
氏名			
返還金の振込銀行 および口座番号	銀行 信用金庫		
	支店		
	普通預金(総合口座)		} いずれかに○印 口座番号 _____
	当座預金		
口座 名義 人	フリガナ		
	氏名		
※本人名義でない口座の場合は続柄を記入してください。			続柄：

※口座名義および口座番号は間違いのないよう記入してください。

令和 年 月 日

姫路大学 教育学部
通信教育課程長 殿

住 所 〒

氏 名

電話番号

受 付

受 付

(この線で切り取って使用してください。)

(持病のある方など、事前に提出した方がよい方のみ提出してください。)

本校()期スクーリング 健康調査書

本校スクーリング中の健康管理の為あなたの健康について調査します。

下記の事項について、記入してください。

- 現在治療している病気がありますか。あればその病名と治療法を記入してください。
① はい 病名() 例：高血圧
治療法() 例：薬を飲んでいる。薬品名
② いいえ
- 以前治療していた病気やその症状が今でもおこることがありますか。あればその病名・症状及び対処法を記入してください。
① はい 病名・症状() 例：腰痛
対処法() 例：コルセット装着
② いいえ
- 治療はしていないが、かかりやすい病気やおこしやすい症状がありますか。あればその病名・症状及び対処法を記入してください。
① はい 病名・症状() 例：頭痛
対処法() 例：冷やす。薬を飲む。
② いいえ
- その他、健康上の不安や悩みがありましたら、記入してください。

()

学籍番号		氏名	
所属学校名 (該当者のみ記入)			
スクーリング期間中の 連絡先	宿舎名		
	電話	()	どちらかにご記入ください
	携帯番号		
受講日			
受講科目			

※ 各科目ごとに1枚記入してください。不足する場合は各自コピーをしてご利用ください。

※ ご記入いただいた住所・氏名等の個人情報、本手続処理以外には使用いたしません。

(この線で切り取って使用してください。)

上司宛スクーリング依頼状(礼状)送付願

(令和 年 月 日提出)

学 籍 番 号				
氏 名				
現 住 所	〒 -			
電 話 番 号				
この度、スクーリングに出席するにあたり、大学より下記の通り依頼状(礼状)を送付して下さるようお願いします。				
送 付 先	勤務先の住所	〒 - TEL() -		
	勤務先名称 (会社名など)			
	上司の職名と氏名	職名	氏名	
発行希望書類	希望する内容にチェックをつけてください。		発行手数料	返信用封筒
	<input type="checkbox"/> 依頼状の発行を希望する		500円	1通
	<input type="checkbox"/> 礼状の発行を希望する		500円	1通
	<input type="checkbox"/> 依頼状・礼状の両方の発行を希望する		1000円	2通
発行を希望する実施期		本校 期		
※スクーリング受講日については、受講申請をもとに記入します。				
※欄は記入不要です。				
※受付		※係		

(この線で切り取って使用してください。)

※ ご記入いただいた住所・氏名等の個人情報は、本手続処理以外には使用いたしません。

姫路大学

通信教育課程

〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町2042番2
TEL 079-247-7393 (直通)
TEL 079-247-7301 (代表)
FAX 079-247-7394
E-mail kyoiku@koutoku.ac.jp